

上田市文化財調査報告書第 82 集

常入遺跡群

下町田遺跡Ⅱ

信州大学遺伝子実験施設建設に係る常入遺跡群下町田遺跡第 2 次発掘調査報告書

2000.3

信 州 大 学
上 田 市
上田市教育委員会

上田市文化財調査報告書第 82 集

常入遺跡群

下町田遺跡Ⅱ

信州大学遺伝子実験施設建設に係る常入遺跡群下町田遺跡第 2 次発掘調査報告書

2000.3

信 州 大 学
上 田 市
上田市教育委員会

序

本年度、上田市は市制施行80周年を迎えました。

80年前の大正8年(1919年)は蚕糸業が空前の活況を迎えていました。蚕糸業は近代日本の基幹産業であり、上田地方はこの一大中心地として知られていました。またこの頃、上田は教育・知識水準の高まりが頂点に達し、全国的に知られた文化都市でもありました。

蚕糸業が飛躍的に発展した江戸時代末期に、物資と人々の交流が格段に盛んになったことによりもたらされた広い視野と知識は、大正時代になると、豊かな経済力を背景に大きく実を結びました。上田で生まれた文化運動は県内外の各地に広がり、日本の教育、文化に大きな影響を与えました。

例えば、市制施行の前年の大正7年(1918年)、山本鼎が自由画運動をおこし、その翌年農民美術練習所を開所しました。個性尊重の芸術教育は、わが上田から日本中に広がりました。さらに、大正10年(1921年)信濃自由大学(のち上田自由大学)が横町の神職合議所を会場に設立されました。これは、地方の一般の人々が仕事に就きながら自由に大学教育を受ける機会を得られるよう、上田の青年達が自主的に企画し運営した教育機関です。

これらは近代上田の基礎作りに功績があっただけでなく、全国的にも注目される業績を残しており、ひいては世界的にもみても先進的な理念に基づいた運動であったといえるのです。

80年後の今日、21世紀を目前にしてわが国の社会は様々な分野で国際化に向かっていきます。このような中において、私たち教育に携わる者は、ある重大な使命と希望を抱いております。自国や故郷の自然や文化を深く理解し誇りを持って語ることでできる人を一人でも多く育てたい、このように思っているのです。

埋蔵文化財は過去の人々の生活を知ることのできる貴重な情報源であり、私たちの郷土の歴史を解き明かさすかがえのない財産です。この生きた教材を生涯学習の中で活用していくことが、現代に生きる私たちの生活を豊かにするものと確信しております。

このたび、信州大学繊維学部において、遺伝子実験施設を建設するに際し、建設地に所在する「下町田遺跡」を発掘調査し、その結果をここに御報告します。いうまでもなく、繊維学部は明治44年(1911年)に設立されて以来、日本の発展に大きく貢献してきました。同時に、先にも申し上げたように近代上田の文化・産業の繁栄の象徴というべきでもあります。このようなところで、文化財の発掘調査を行うことに意味深いものを感じずにはおれません。大学関係者ならびに施工者各位に文化財保護の理念を深く御理解いただき、調査は順調に進捗し、弥生時代後期から古墳時代初頭に比定される良好な集落遺跡の一部が確認されました。衷心から関係各位に御礼申し上げ、序といたします。

平成12年3月

上田市教育委員会教育長 我妻忠夫

例 言

- 1 本書は、長野県上田市常田三丁目15番1号信州大学繊維学部構内における、信州大学遺伝子実験施設の建設に伴う、常入遺跡群下町田遺跡の発掘調査報告書である。
- 2 調査は、信州大学の委託に基づき、上田市（上田市教育委員会事務局文化課）が実施した。
- 3 現地での調査は、平成11年4月8日から6月10日まで実施し、整理作業・報告書作成作業は、平成12年3月まで実施した。
- 4 遺構の実測は、須齋千恵子、井沢光子、市村みつ子、大井敬子、山本万里が行った他、空中写真測量、図化を株式会社協同測量に委託して行った。また、遺構実測の基準となる国家座標によるグリッドの杭打ち、基準点、水準点の設置も同社に委託して実施した。
- 5 遺物の整理及び報告書の作成作業は、久保田敦子の指示のもとに市村みつ子、井沢光子、大井敬子、山本万里、丸田由紀子が行った。また、遺物の実測の一部は、小川忠博に写真撮影を委託して、原寸大に焼き付けたものを基礎に図化、トレースした。
- 6 遺構の写真は、中沢徳士が撮影した。航空写真は、株式会社協同測量に委託して撮影した。
- 7 遺物の写真の一部は、小川忠博に委託したほか、久保田敦子が撮影した。
- 8 本調査にかかわる資料は上田市教育委員会が保管している。
- 10 本調査にあたり多くの方々や諸機関の御指導と御協力をいただいた。また、五十嵐幹雄先生、山岸猪久馬先生、中谷進先生、川口剛先生には学術上の御教示をいただいた。心より感謝する次第である。

凡 例

遺構

- 1 遺構は、次のように略号で表した。また、番号は1996年の調査からの連番とした。
 竪穴住居址（SB-） ビット（P-） 竪穴住居址内の柱穴（P）土坑（SK-）
- 2 遺構の実測図については、次のとおりである。
 - （1） 国家座標の北を頁の上とした。例外の場合は、方位を示した。
 - （2） 原図1/20、縮小1/3とした。詳細な図が必要な場合は、原図1/10、縮小1/3とした。
 - （3） 縮尺は、図版に図で表している。
 - （4） 標高の単位はmである。
 - （5） 網点は、焼土を表す。
- 3 遺構の記述については次のとおりである。
 - （1） 長さの単位は、mである。
 - （2） 主軸方位は国家座標による北と住居址の軸線との角度で示した。
 - （3） 竪穴住居址の壁高、土抗、ビットの深さは、検出面からの深さを示した。ただし、住居址内の周溝およびビットの深さは住居址の床面からに深さを示した。
- 4 土層の色調は、『新版標準土色帖』（農林水産省農林水産技術会議事務局監修・財団法人日本色彩研究所色票監修1990）を用いた。
- 4 遺構の写真の縮尺は任意である。

遺物

- 1 遺物実測図については、次のとおりである。
 - （1） 原図1/1、縮小1/3である。
 - （2） 網点は、赤色塗彩を施した範囲を示す。
- 2 遺物観察表については、次のとおりである。
 - （1） 法量の単位はcm、gである。
 - （2） 「胎」を胎土、「焼」を焼成、「色」を色調とした。
 - （3） （ ）内の数値は、土器については推定値、石器については残存値を示す。
 - （4） 土器の色調は上記の『新版標準土色帖』を用いた。
- 3 遺物の写真の縮尺は任意である。

目次

序

例言

凡例

目次

第一章 調査の経緯.....	1
第1節 調査に至る経過.....	1
第2節 調査の体制.....	1
第3節 調査日誌.....	2
第4節 調査の方法.....	3
第二章 遺跡の環境.....	5
第1節 自然的環境.....	5
第2節 歴史的環境.....	7
第3節 遺跡の層序.....	12
第三章 調査の結果.....	13
第1節 調査の概要.....	15
第2節 遺構と遺物.....	15

写真図版

第一章 調査の経緯

第1節 調査に至る経過

平成10年11月、信州大学（以下「大学」という。）は、平成11年度において繊維学部敷地内に遺伝子実験施設を建設するにあたり、埋蔵文化財の有無についての照会を、上田市教育委員会事務局（以下「事務局」という。）に行った。

照会地は、繊維学部の敷地を中心に広がる「常入遺跡群」の範囲にあり、この遺跡群では過去に、2回の発掘調査が行われているほか、表採遺物についての論放も行われている。

昭和25年（1950）、五十嵐幹雄氏は、『信州大学繊維学部保存の彌生式土器』（『信濃』第2巻12号 信濃史学会1950年）の中で、「…上田市には彌生式から祝部式にかけての大きな遺跡が三箇処あるが、当遺跡はその一であって…」と評価した。また、昭和41年（1966）には、五十嵐氏を団長として小林幹雄氏、川上元氏らによって繊維学部内の桑園で学術発掘調査を行い、古墳時代中期から後期の住居址と土師器を発掘した。さらに、平成8年（1996）には、大学院棟の建設工事に伴う発掘調査が行われ、1,000㎡の調査範囲から、弥生時代後期の住居址10件とこれに伴う遺物が良好な状態で発掘されている。（「下町田遺跡」上田市教育委員会1997年）

これらの経過から、常入遺跡群は、弥生時代後期から古墳時代にかけての上田地域における標式的な遺跡と評価され、特に遺跡群内の下町田遺跡については、注目されたのである。

事務局ではこれらの経過もふまえ、遺跡の存在は確実なもの、調査に先立ってその性格を把握するため、平成10年12月11日に試掘調査を実施した。この結果、弥生時代後期から古墳時代初期にかけての遺構と遺物が濃密に検出され、大学と再度遺跡の保護協議を行い、工事に先立ち遺跡の発掘調査を行い、遺跡の記録保存をはかることとした。

第2節 調査の体制

常入遺跡群下町田遺跡第2次発掘調査に係る体制は、以下のとおりである。調査事務は上田市教育委員会事務局文化課が行った。

教育長	我妻忠夫
教育次長	内藤正則
文化課長	川上元
文化財係長	細川修

主 査 平 林 祐 蔵 (担当者)
中 沢 徳 士 (担当者)
塩 崎 幸 夫
久保田 敦子 (担当者)

主 事 西 沢 和 浩 (平成 11 年 9 月 30 日退任)
清 水 彰
小 笠 原 正

嘱 託 須 齋 千 恵 子 (担当者)

調査作業員（順不同、敬称略）

石巻賢志、小林哲三、小柳治雄、佐野和男、春原観樹、高桑豊治、中島昭吾、中村清春、名川真由美、西沢勝、東山唯夫、東山恒子、細尾好子、溝木重雄、村田宣子、横沢生枝、横沢昇、井沢光子、市村みつ子、大井敬子、丸田由紀子、山本万里

第3節 調査日誌（抄）

平成 11 年

- 4月8日 調査地区設定。表土剥着手。
- 4月9日 表土剥と併せて、遺構検出作業始める。
- 4月12日 本日より調査作業員を投入して作業を行う。朝、注意事項や安全確認、勤務形態等を説明する。包含層から多量に弥生土器が出土する。
- 4月13日 表土剥終了する。引き続き遺構検出作業を行う。
- 4月14日 本日から(株)共同測量社が基準点測量等の作業を開始する。
- 4月15日 弥生土器片が多数出土する。
- 4月16日 農業用のごみ穴跡などの攪乱が激しく、遺構検出の確認に手間取る。
- 4月19日 引き続き遺構検出作業を行う。
- 4月20日 調査区の東南部の農業用ごみ穴を掘り上げる。
- 4月21日 弥生時代の竪穴住居址が確認される。
- 4月22日 弥生時代後期の竪穴住居址数カ所確認する。
- 4月23日 攪乱が激しく遺構の確認が困難である。
- 4月26日 本日より遺構掘り上げ作業に着手する。
- 4月28日 第 25 号住居址の床面が遺構検出面から 1m の深さで確認される。予想より深くて驚く。明日から、ゴールデンウィークの連休になるため、シート等をかぶせ遺跡の保護を行う。

- 5月6日 第24号住居址ほぼ完掘する。
- 5月10日 本日より、調査作業員を増員する。
- 5月11日 遺構の切り合いが激しく、苦勞する。
- 5月12日 暑い日である。
- 5月13日 調査作業員を増員する。
- 5月14日 調査作業員を増員する。排土置き場を整理する。
- 5月17日 調査作業員を増員する。風があり、作業しやすい日であった。
- 5月25日 信州大学の学生三人が調査に参加する。
- 5月26日 山岸猪久馬先生来訪。
- 6月1日 暑い日である。
- 6月4日 昨日より梅雨に入ると発表あり。遺構掘り上げ及び調査範囲内の清掃を行う。
- 6月7日 現地説明会を開く。信州大学の学生や先生が訪れる。
- 6月9日 正午より測量用航空撮影を行う。
- 6月10日 遺構掘り上げ作業。午後より機材を撤収して現地での調査を終了する。

この後、上田市天神二丁目の埋蔵文化財整理室で遺物の洗浄、注記、接合、図化及び現地調査で得た各種資料の整理並びに報告書の作成作業を行い、平成12年3月に報告書を刊行して調査を終了した。

第4節 調査の方法

1 遺跡名

遺跡名は、1977年に刊行された上田市教育委員会『上田市の原始・古代文化』に記載されている「下町田」とした。従来は、1977年の長野県教育委員会『長野県市町村遺跡分布地図』及び1979年の上田市教育委員会『上田市文化財分布地図』の名称によっていたが、1996年の第1次調査のときに「下町田」の名称を用いたので引き続きこれを用いた。

2 遺跡略号

遺跡略号として、Shimo-machi-daの「SMD」を付し、第2次調査を示すローマ数字「II」を組み合わせて「SMD-II」とした。各種の記号や遺物の注記等にこの略号を用いた。

3 座標とグリッドの設定

下町田遺跡第1次発掘調査で用いたものと連続したグリッドを設定し、遺物の取り上げと測量等に

用いた。これは、国家座標に従い、 3×3 m の方眼をはり、方眼の交点に記号を与えたものである。記号は、任意の地点を原点 0 とし、そこから方向を示すために東・西・南・北に E・W・S・N を、距離を示すために 3m を 1 単位とした 1・2・3・4…の数字を与え、この両者の組み合わせによって表した。例えば、原点 0 から南に 12m、東に 36m の地点のグリッドは S 4 E 1 2 となる。原点 0 の地点は、国家座標第Ⅶ系の $X=43,218.000$ 、 $Y=-21,096.000$ である。

4 調査方法

調査範囲は、試掘調査の結果に基づき、建物の範囲とした。また、調査に際しては、表土の排除はバックホーを用い、その後の遺構検出、遺構掘り上げはすべて人手によった。

5 遺構測量

遺構の平面実測は、上のグリッドを基準に簡易遭り方を用いて行った。更に測量用の空中写真の撮影と図化作業を委託して実施した。

第二章 遺跡の環境

第1節 自然的環境

常入遺跡群下町田遺跡のある上田市は、長野県の東部に位置し、上田盆地を中心に展開している。この地方は、典型的な内陸性の気候で、年間平均降水量が1,000mm前後ときわめて少ない。このため、湧水地や川筋を中心に開発が進展している。

上田盆地に接して西方に塩田平の盆地があり、これらはともに三角形で、周辺はそれぞれ第三系の基盤に囲まれている。また、両盆地の境界を千曲川が北西に流下していて、常入遺跡群が所在するのはその右岸である。

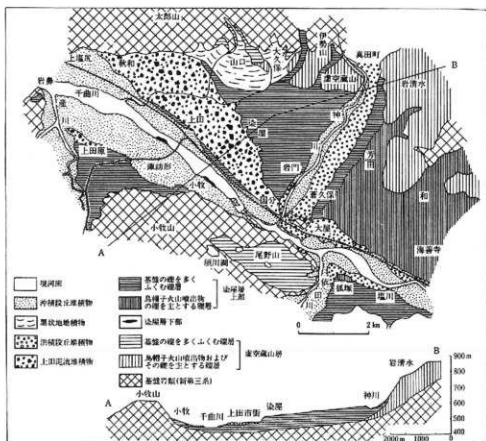
上田盆地の地形は、北方を底辺とする逆三角形を呈し、一辺はほぼ10kmである。北方の基盤は太郎山山地で、南面は急峻な斜面で上田盆地に接している。南西方の基盤は小牧山山地である。東方の高まりは基盤ではなく第四系の烏帽子岳火山となっている。また、盆地の東縁には神川が南西に流下している。

この地域の主な平坦面は、高位から虚空蔵山面、染屋面、上田城面があり、さらに低位には千曲川および神川によって形成された段丘面がある。虚空蔵山面から上田城面までは東方に高く、千曲川に向かって傾斜し、また、北方の太郎山山地からは南方に傾斜している。したがって、現在の上田盆地は上田城を中心とする盆状の地形となっている。また、虚空蔵山面、染屋面は西方に傾斜し、上田城面はほとんど水平である。すなわち古い面ほど勾配が大きい。これは古い面ほど上部が上昇したことを示している。なお、虚空蔵山面、染屋面は虚空蔵山の東方で神川に切られている。

上田盆地付近の地質構造は、基盤の第三系が落ち込み、これを埋めて第四系が堆積している。また、盆地の東方は第四紀の烏帽子岳火山の高まりがある。

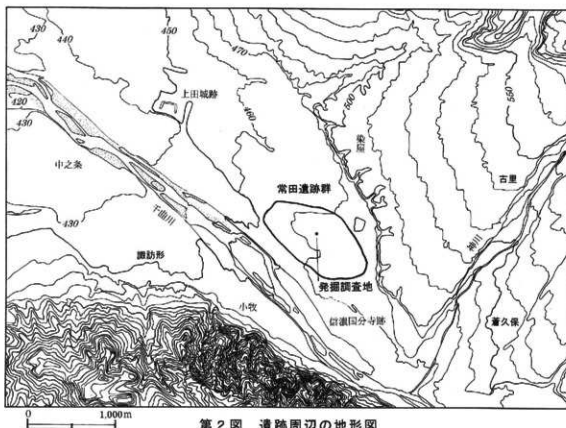
この付近の第三系は中新世の内村層・別所層・青木層及び鮮新世の小川層である。これらのうち、北方の太郎山山地のものは、大部分は内村層で、この山地の東部の伊勢山付近には別所層が分布する。山地東部の伊勢山付近の別所層は、黒色頁岩からなり、小牧山山地の基盤は青木層及び小川層で、北西部に青木層が、また南東部に小川層が分布している。上田盆地の北西部の泉田山塊を形成する基盤は、主に別所層の黒色頁岩であるが、このなかにヒン岩の岩脈が貫入している。上田盆地の地下には別所層及び青木層が分布するものと推定される。これは太郎山の内村層と小牧山の青木層の分布地域の間が上田盆地となっているからである。

平地に分布する第四系は、虚空蔵山層、染屋層、上田泥流堆積物に区分される。虚空蔵山層は、最下位層で時代は更新世中期である。虚空蔵山面の分布地域で、岩清水、虚空蔵山、太郎山の麓の久保の尾根を構成して分布する。染屋層は、染屋台の平坦面下を構成する地層で、下部層と上部層に区分される。上田泥流堆積物は、千曲川右岸で上田城面を覆う。分布は大部分が上田盆地に限られてい



第1図 上田盆地の地質図

(植村武・山田哲雄編『日本の地質4 中部地方I』共立出版株式会社)より



第2図 遺跡周辺の地形図

るが、千曲川沿いの上流にも点々と分布し、小諸懐古園裏の崖から更に塩名田塚原の段丘崖まで追跡される。

このような自然的環境の中で下町田遺跡は、上田城面に位置し、地質学では第四系上田泥流堆積物の上面にあたる。これらの地形と地質について以下に更に詳しく述べる。

上田城面は上田盆地の中央部に分布し、千曲川河床と築屋面の間に存在している。上田泥流は千曲川に添って上流に分布するが、広い面を形成するのはここだけである。比高は上田城付近からこの上流にかけて最も大きく約8mから10mであるが、この上流では神川に切られ、下流では秋和付近で小さく1mから2mである。大部分は上田泥流堆積物で、この上位を覆う堆積物はないが、下位には礫層があり、これを不整合に覆っている。

この面を覆う上田泥流堆積物は、火山性泥流堆積物である。火山性泥流堆積物は現在の火山学名は「岩宵なだれ」と呼ばれている。好露頭は上田城の下の崖で、この特徴は千曲川上流の塩名田までずっと同じである。5~20cm大の安山岩の角礫がまばらに火山灰のマトリックス中に存在する。安山岩にはいろいろな種類があり、どの種が多いというのではない。火山岩体の大崩壊によって大規模な泥流が発生し、途中の諸種の火山岩を取り込んだと思われる。特に、2~3m大の巨石岩塊が存在するが、この岩質は崩れそうであるが、崩れないでここまで運ばれてきたということは、この岩塊は流下中にあまり変化を受けなかったのではないかと考えられる。

第2節 歴史的環境

下町田遺跡は、常入遺跡群に包括される8遺跡の中の一遺跡である。

上田城面の西端と東端、すなわち秋和地区とこの常入地区には、弥生時代から平安時代の遺跡が集中している。中心部には近世上田城の遺構が散見できるが、それ以外の遺跡については、市街地化のためもあり、不明である。

<縄文時代>

太郎山山麓に縄文時代前・中・後期の遺跡が分布する。中でも、太郎山に源を発する黄金沢扇状地扇端にある八幡裏遺跡群の思川遺跡は、上田地方を代表する該期遺跡の一つとして上げられる。思川遺跡は、昭和27年に病棟の改築に伴って五十嵐幹雄氏によって発掘調査が行われた。調査では明確な遺構は確認されなかったものの、中期から後期にかけての土器や石器とともに、ニホンジカやイノシシを中心とする相当量の動物遺存体が出土した。その後平成6年に国立長野病院の建設工事に伴い約8,000㎡が調査された八幡裏遺跡第2次発掘調査では、柄鏡形敷石住居址を含む住居址7軒と土壇、集石遺構などが検出された。中でも土壇から検出された屈葬人骨は、遺存状態もよく、貴重な調査例となった。出土した遺物は、中期の加曾利E式、後期の称名寺式、堀之内式、加曾利B式などの土器



第3图 周边遺跡分布图 (1:20,000)

番号	遺跡名	所在地	時代	備考
44	熱泰寺遺跡	住吉字熱泰寺	縄文	
52	染屋台条理遺跡	上野・住吉・古里・国分	平安	1985年から数回にわたる調査
53	向田古墳	古里字向田	古墳	半壊
54	国分遺跡群	国分字古城・堂浦・屋敷	弥生～平安	
56	国分寺周辺遺跡群	国分字仁王堂・明神前他	縄文～平安	1994年から県埋文センター調査
57	常入遺跡群	常入字堀之内	縄文～平安	下町田遺跡ほか7遺跡
58	金井裏遺跡	上田字金井裏・蟹原	縄文～平安	1985. 1996年上田市調査
62	雁堀遺跡	上田字雁堀	弥生・平安	
63	西丘遺跡	上田字西丘	平安	
64	八幡裏遺跡群	緑ヶ丘字思川・大星前他	縄文～平安	1994・1996年上田市調査
65	海野遺跡	中央・大手	弥生・平安	
66	上田城跡	中央・中央西・大手・北大手	近世	
84	六句古墳	小牧字六句	近世	
86	初太郎古墳	小牧字花水	近世	
95	洪取田遺跡	諏訪形字洪取田・中堰	縄文	
96	中沢遺跡	諏訪形字中沢	平安	
428	小牧遺跡	小牧字城山	近世	
457	染屋城遺跡	古里字英	近世	

第1表 周辺遺跡一覧表

のほか、石器類、土偶、大珠、獣骨など多岐にわたっている。その後、平成8年度に行われた国立長野病院看護婦宿舎建設に伴う同遺跡の第3次発掘調査でも、中期後葉から後期前葉の上器を伴う3軒の敷石住居址が確認されている。

その他、住吉の熱泰寺遺跡では、長島の矢出沢川右岸の畑地から縄文時代の石錐が採集されている。また、国分寺周辺遺跡群の浦沖遺跡は、昭和24年に発掘調査が行われ、中後期に属すると思われる住居址が検出されている。平成6年度・7年度に行われた市道踏入大屋線及び北陸新幹線建設に伴う発掘調査では、遺構の検出はなかったが前期から後期の土器片が多く出土した。

<弥生時代>

弥生時代の遺跡としては、上田盆地では前・中期の遺跡は僅かしか確認されていない。八幡裏遺跡は数少ない該期遺跡のひとつで、大正14年に上田温泉電軌北東線の敷設工事が行われた際に、中期栗林Ⅱ式期の壺形土器2点と大型蛤刃石斧が出土している。このように表採や工事中の出土例はあるものの、遺構を伴った例としては確認されていない。

後期では、国分寺周辺遺跡群が平成6年度と7年度に市道踏入大屋線及び北陸新幹線建設に伴って発掘調査され、後期箱清水式期から古墳時代前期の集落と溝が確認された。また、国分遺跡群の上沢沖遺跡からも箱清水式が表採されている。

今回調査した常入遺跡群は、第二次大戦前から上田盆地の弥生時代の一大遺跡と確認されていたが、平成8年度の信州大学繊維学部構内における研究棟の建設に伴い、1,000㎡の発掘調査が行われ、10軒の竪穴住居址が確認されている。

また、上田地籍の北小学校の東方、黄金沢扇状地の扇央に位置する雁堀遺跡から箱清水式土器が表採されている。

<古墳時代>

古墳時代になると、太郎山麓に前方後円墳の二子塚古墳、方墳の大蔵京古墳が築造されている。

二子塚古墳（上田市指定文化財）は、定型化した前方後円墳としては東信地方で唯一の古墳である。墳丘は後世の改変が激しいが、現在の規模は中軸の全長約51m、前方部の長さ約26m、最大幅約25m、高さ約5m、後円部の長さ約25m、最大幅約39m、高さ約6mを測る。古墳の北側には周濠の一部とみられる窪みがあり、墳丘から表採された円筒埴輪片により6世紀前半の築造と推定されている。本古墳の周囲にはかつて4～5基の円墳が存在していたと伝えられるが、現存するのは北西部の円墳1基のみである。これらの古墳は、二子塚古墳の陪塚と言われていたが、時期的に異なるため現在では否定されている。

大蔵京古墳（上田市指定文化財）は、一辺が32～35mの方墳で、高さは5～8mを測る。墳丘上から表採された土師器により、4世紀末から5世紀前半の築造と推定されており、現在確認されている

県内最古の方墳で、上小地区では最古の古墳である。

風呂川古墳は、墳丘は失われていたが、平成4年に財団法人長野県埋蔵文化財センターによって北側周濠の一部が調査された。周濠の幅は4.0～5.5m、調査面からの深さは約1.5mを測る。北東辺の北隅寄りには、掘り残しが一箇所設けられ、その西側から石組みとともに多数の土師器が出土した。古墳の規模は、一辺が25～30mの方墳と推定され、築造年代は、一括出土した土師器により5世紀第2四半期と推定されている。

後期古墳についても、この山麓に6基ほど散見できるが、いわゆる群集墳的な古墳群は確認されていない。しかし、1987年の下水道工事中に見えられた豊原古墳のように、墳丘ごと太郎山から押し出した土砂によって埋もれているケースもあり、地表では確認できない古墳の存在も想定できる。

また、神科地区には、染屋面の段丘端に向田古墳がある。これは、半壊しているが、墳丘の径7.5m、高さ1.6mの円墳と思われる。

集落遺跡としては、太郎山麓に多く分布しているが、発掘調査が実施された例は少なく、その様相は明確ではない。平成8年度に発掘調査された八幡裏遺跡群第4次調査では、該期の住居址が7軒検出されたほか、国立長野病院の敷地の北側にある段丘の上面を調査した平成6年度の第1次調査でも古墳時代後期の住居址が1軒確認されている。

平成6・7年度に、国分寺周辺遺跡群が市道踏入大屋線及び北陸新幹線建設に伴って発掘調査され、130軒の中・後期の住居址が検出された。特に5世紀後半から6世紀代の遺構密度は非常に高く、集落分布は短期で変容していることが確認された。また、国分遺跡群の幾つかの遺跡からもこの期の土器が表採されている。

また、今回調査した常入遺跡群には、この期の大きな集落があることが知られている。1966年に五十嵐幹雄氏らによって、この遺跡群中の本書で扱う下町田遺跡に隣接する西町田遺跡で発掘調査が実施され、上田盆地における古墳時代後期の標識的遺跡として評価されている。

<奈良・平安>

奈良・平安時代の遺跡もこの地域に広く分布している。これまでの調査結果からはきわめて密度の薄い遺跡しか確認されていなかったが、近年の発掘調査により次第に明瞭となってきた。

八幡裏遺跡からは、第2次と第4次調査で15軒の住居址を検出した。

市道踏入大屋線及び北陸新幹線建設に伴って平成6・7年度に発掘調査された国分寺周辺遺跡群からは、奈良時代の住居址が35軒、平安時代の住居址が27軒検出された。

この時代、信濃国分寺遺跡は周知のとおりであるが、問題は、国府所在地である。信濃国の国府が、松本平に移る以前は、国分寺の所在する上田地域であったろうことは推論されてきたが、未だに結論を得られない状況である。この下町田遺跡周辺の信州大学繊維学部構内は、染屋台や塩田平と並び有力な候補地として注目を集めている。しかし、今回の調査及び第1次調査では、残念ながら国府関係

の資料は出土しなかった。また、令制東山道も上田盆地を通過し、そのルートについて地名からの研究は深まっているが、考古学的な確証はいまだに得られていない。

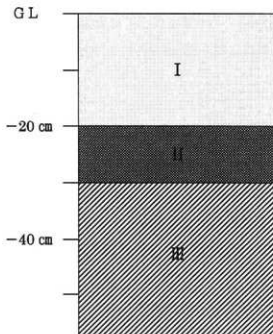
<中世以降>

中世以降は、「常田荘」が八乘院御領として営まれたものの、中心は千曲川左岸の塩田平の塩田北条氏仏教文化に移った感がある。しかし、戦国時代の真田氏の上田城築城と城下町形成により再び上田盆地の中心地となり、近世から近代にかけては、「蚕都」として栄え、今回調査を行った信州大学繊維学部は、その象徴なのである。

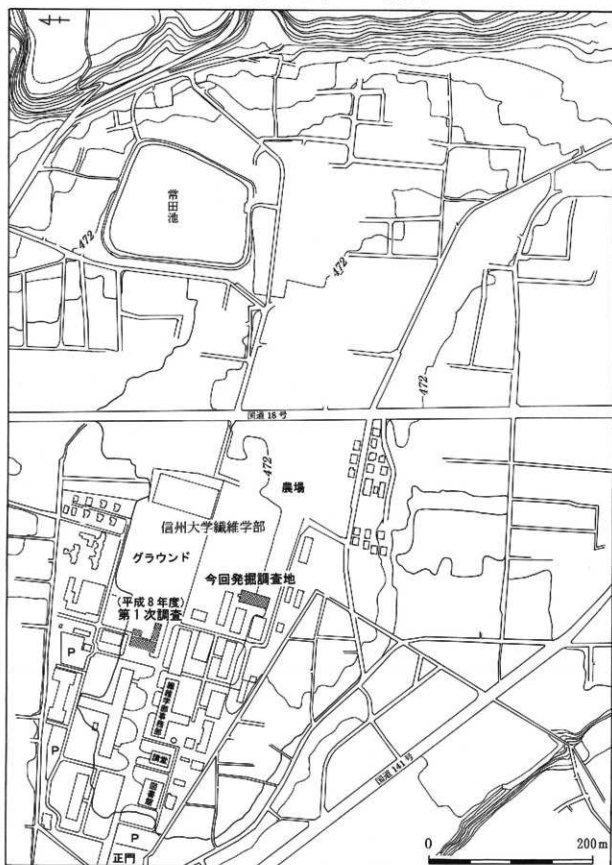
第3節 遺跡の層序

今回調査した下町田遺跡の標準土層は、下図のとおりである。調査地区は、大学の附属農場として使われていた場所の一角で、表土は耕作土である。

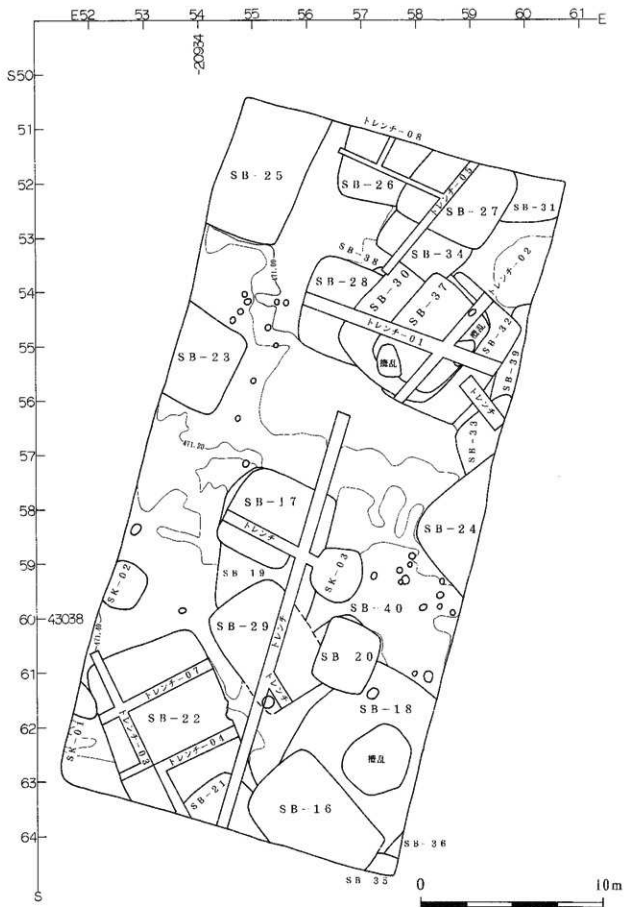
- I層 耕作土。厚みは、20 cm～40 cmあり、小石混じりのふかふかした暗褐色土である。
- II層 硬くしまりの良い層で、I層よりやや暗い黒褐色を呈している。
- III層 地山の明るい黄橙色の砂礫層で、地表から30 cm～40 cmの深さから始まる。これは千曲川火山泥流と呼ばれる層である。本調査で検出された竪穴遺構はこの層で確認され、この層を掘りこんでいる。



第三章 調査の結果



第4図 調査地位置図



第5図 遺構全体図

第1節 調査の概要

今回の調査で検出された遺構は、弥生時代後期から古墳時代前期の竪穴住居址 25 軒と土坑 3 基とピット群である。

遺物は、千曲川流域を中心として広がる箱清水式土器が多量に出土した。さらに、半数以上の住居址からこれとともに東海、北陸地方の外来系土器を出土した。

竪穴住居址の平面形態は、隅丸長方形を呈するものと隅丸方形を呈するものが見られる。また、周溝がある住居址や床の一部に高まりがある住居址があった。炉が確認された住居址は半数以下であるが、北側の支柱穴間に位置するものが多い。形態は地床炉のほか、石囲い炉、土器敷き炉が見られる。竪穴住居址の検出密度は平成 8 年の第 1 次調査より濃く、地形も勘案すると、この調査地域はこの集落跡の中心部に該当する可能性もあると考えられる。

今回の調査により、弥生時代後期から古墳時代初頭にかけて、上田盆地川東地区において最大規模の集落がここに営まれていたことが伺われる。

第2節 遺構と遺物

竪穴住居址の平面形態については、隅丸長方形の住居址が第 16 号 (第 6 図)、18 号 (第 8 図)、19 号 (第 9 図)、22 号 (第 13 図)、25 号 (第 16 図)、29 号 (第 21 図)、40 号竪穴住居址 (第 29 図) 等である。隅丸方形の住居址については、第 17 号 (第 7 図)、27 号 (第 17 図)、30 号竪穴住居址 (第 19 図) が見られる。

このうち、周溝がある住居址は、第 17 号 (第 7 図)、23 号 (第 12 図)、24 号 (第 14 図)、25 号 (第 16 図)、27 号 (第 17 図)、30 号竪穴住居址 (第 19 図) である。第 17 号 (第 7 図)、19 号竪穴住居址 (第 9 図) にはベッド状遺構があり、第 16 号 (第 6 図)、22 号竪穴住居址 (第 13 図) は壁の一部に階段状の立ち上りが見られた。

炉については、第 16 号竪穴住居址 (第 6 図)、18 号 (第 8 図)、19 号 (第 9 図)、20 号 (第 10 図)、21 号 (第 11 図)、22 号 (第 13 図)、24 号 (第 14 図)、25 号竪穴住居址 (第 16 図) 等のものが北側の支柱穴間に位置している。形態は、地床炉が第 16 号 (第 6 図)、21 号 (第 11 図)、24 号 (第 14 図)、25 号 (第 16 図)、第 30 号竪穴住居址 (第 19 図) で、石囲い炉は第 18 号 (第 8 図)、22 号竪穴住居址 (第 13 図) で、土器敷き炉は第 19 号 (第 9 図)、30 号 (第 19 図)、40 号竪穴住居址 (第 29 図) に見られる。

遺物は、箱清水式土器の壺、甕、高環、鉢、深鉢、蓋、甌が遺構や包含層から多量に出土した。またこれらのほか、紡錘車が第 21 号 (第 37 図) と 22 号竪穴住居址 (第 38 図) から、土器片を加工した土製円盤が第 19 号竪穴住居址 (第 35 図) から、ミニチュア土器が第 16 号 (第 32 図)、25 号 (第

41 図)、26 号 (第 42 図)、27 号 (第 43 図)、29 号 (第 45 図) 及び、33 号住居址等 (第 49 図) から出土した。第 19 号竪穴住居址出土の鉢 (第 35 図 63) の底部内面にはベンガラが付着していた。

これらに伴って、東海地方、北陸地方に系譜が求められる外来系土器の壺、甕、高坏等が出土した。東海系の土器が出土している住居址は、第 17 号 (第 33 図)、20 号 (第 36 図)、23 号 (第 39 図)、27 号 (第 43 図)、28 号 (第 44 図)、30 号 (第 46 図)、32 号 (第 48 図)、34 号 (第 50 図)、37 号竪穴住居址 (第 52 図) である。北陸系の土器が出土している住居址は、第 17 号 (第 33 図)、20 号 (第 36 図)、22 号 (第 38 図)、23 号 (第 39 図)、24 号 (第 40 図)、25 号 (第 41 図)、26 号 (第 42 図)、27 号 (第 43 図)、28 号 (第 44 図)、30 号 (第 46 図)、32 号 (第 48 図)、34 号 (第 50 図)、37 号竪穴住居址 (第 52 図) 及び第 1 号土坑 (第 55 図) 等である。そのうち、第 20 号、23 号、27 号、28 号、30 号、32 号、34 号、37 号竪穴住居址は、箱清水式土器は僅かしか出土しなかった。

石器は、石包丁が第 16 号竪穴住居址から、石戈と推定される石器片が第 32 号竪穴住居址から、打製石斧が第 26 号と 40 号竪穴住居址から、砥石が第 30 号竪穴住居址ほかから出土した。その他、打製石鏃、くぼみ石、磨石等も出土した (写真図版 49～51)。

1 竪穴住居址

第 16 号竪穴住居址 (挿図番号第 6 図)

本住居址は、調査地区の南端に位置する (S63E56、S63E57、S64E55、S64E56、S64E57、S64E58、S65E56、S65E57、S65E58グリッド)。住居址の南西側は未調査である。第 18 号竪穴住居址、第 21 号竪穴住居址、第 35 号竪穴住居址と重複して、それらを切っている。

規模は、北東の壁が 7.4m、北西の壁が 5.0m で、平面形は隅丸長方形を呈する。主軸方向は N43°W である。検出面から床までの壁の高さは 0.54m～0.56m である。床面積は未調査の部分があるため不明であるが、調査した部分の大きさは 26.772 ㎡である。床の標高は 470.80m である。

床面は全体的に堅緻に締まっている。床面上には、炭化物の分布があった。柱穴は 5 つ確認された。そのうち、P1、P2 および P5 は主柱穴と思われる。炉は地床炉で、主柱穴間に位置する。炉床は橙褐色に被熱している。南東の壁の一部が、約 2m に渡って階段状を呈している。

遺物は、覆土中および床面 (第 32 図 4～6、17、27、29) から出土した。

第 17 号竪穴住居址 (挿図番号第 7 図)

本住居址は、調査地区の中央に位置する (S58E55、S58E56、S59E55、S59E56グリッド)。第 19 号住居址と重複して切る。また、2 本のトレンチにより北側の壁と、床面の一部が破壊する。

規模は、北西の壁が4.9m、南西の壁が4.3mで、平面形は方形に近い隅丸長方形を呈する。主軸方向はN65°Wである。また、検出面から床までの壁の高さは0.44mから0.68mを測る。床面積は18.127㎡で、床の標高は470.60mである。

柱穴は7つ確認された。そのうち、P1とP6は主柱穴と推定され、その他の主柱穴はトレンチにより破壊されたと思われる。壁際には全体に周溝がめぐり、この周溝はP3とP4を連結している。また、北西の壁に近い床はベッド状に高まっている。床面は全体的に堅緻で、特に周溝の内側の床は硬化している。また、P3の周囲は緩やかに高まり、特に堅緻である。床の中央より南西に橙褐色に被熱した痕があるが、掘り込みはない。

遺物は、主に覆土中から出土し、床面上からは壺(第33図1)が出土した。

第18号竪穴住居址(挿図番号第8図)

本住居址は、調査地区の南東端に位置する(S62E56、S62E57、S62E58、S62E59、S63E56、S63E57、S63E58、S64E55、S64E56、S64E57、S64E58グリッド)。東側は未調査である。第16号竪穴住居址と重複し、床の南西部をこれに破壊される。また、攪乱によって床の一部が破壊されている。

規模や形態は不明であるが、推定でおよそ9m×7mの隅丸長方形であると思われる。検出面から床までの壁の高さは0.20m~0.26mで、床の標高は471.00mである。主軸方向はN45°Eである。

柱穴は6個確認された。4個の主柱穴を持つと推定されるが、P5、P6以外は攪乱等に破壊されて不明である。床面は、ほぼ全面が堅緻に締まっている。炉等は4箇所確認された。一つは石囲炉で、主柱穴間に位置する。これは、大きさ0.58m×0.52m、深さ0.09mに掘り窪められ、川原石が3方を囲ったもので、炉床は熱を受け橙褐色を呈している。その他は、南西部の床面に地床炉が2箇所確認された。そのうち一つは、大きさ0.40m×0.40m、深さ0.06mで、もう一つは大きさ0.30m×1.20m、深さ0.08mである。また、床の中央に不整形を呈した被熱痕がある。これは掘り窪められておらず、規模はおよそ2.22m×1.02mである。

遺物は覆土中から多く出土し、床面上からは散乱した状態で出土(第34図1、3、4、11)した。

第19号竪穴住居址(挿図番号第9図)

本住居址は、調査地区の中央に位置している(S58E55、S58E56、S58E57、S59E55、S59E56、S59E57、S60E55、S60E56、S60E57グリッド)。第17号竪穴住居址、第29号竪穴住居址、第3号土坑と重複し、第17号竪穴住居址に北壁と西壁の一部を破壊される。また、トレンチによって壁の一部を破壊する。

規模は、東の壁が8.2m、南の壁が5.4mである。プランは隅丸長方形を呈するが、南西のコーナーは比較的鋭い。主軸方向はN16°Eである。検出面から床までの壁の高さは0.68m~0.80m、床面積

は 39.024 m²で床の標高は 470.38m である。

柱穴は 14 個確認された。そのうち、P4、P1、P3、P2 は支柱穴と考えられる。P1 と P4 の間の距離は 2.6m、P1 と P2 の距離は 4.2m である。また、P1、P4、P3 の断面は 2 段になっている。南の壁際の P8 は、周囲の床面が緩やかに高まっていて、硬化している。

床面は全体的に堅緻に締まっている。この住居址の北側は、床面近くまで第 17 号竪穴住居址に切られているため、形態は正確に確認できないが、ベッド状を呈していたと思われる。また、東側の壁と西側の壁の断面が一部にわたって階段状を呈する。炉は土器敷き炉で、支柱穴間に位置する。規模 0.52m×0.40m の浅い掘り込みの中に土器の底部（第 35 図 4）が敷かれている。土器の下部およびその周辺の床面は、橙褐色を呈し被熱している。

遺物は覆土中から多量に出土し、床面からは東壁の付近から壺等（第 35 図 3、6）が出土した。

第 20 号竪穴住居址（押図番号第 10 図）

本住居址は調査地区の南東に位置している（S61E57、S61E58、S62E57、S62E58 グリッド）。第 29 号竪穴住居址、第 40 号竪穴住居址と重複して切る。

規模は、北西の壁が 3.6m、南西の壁が 3.1m で、平面形は方形に近い隅丸長方形を呈する。主軸方向は N20° E である。検出面から床までの壁の高さは 0.40m で、床面積は 9.89 m² である。床の標高は 470.90m である。

柱穴は確認されなかった。床は一部に堅緻な部分があるが、全体的に不安定である。床面には橙褐色の熱を受けた痕があるが、掘り窪められていない。規模は 1.7m×1.0m で、平面形は不整形である。

遺物は、覆土中および床面直上に炭化した木片と土器（第 36 図）が確認された。

第 21 号竪穴住居址（押図番号第 11 図）

本住居址は、調査地区の南端に位置する（S63E55、S64E54、S64E55 グリッド）。この住居址の南側は未調査である。第 16 号竪穴住居址と第 22 号竪穴住居址と重複し、第 22 号竪穴住居址を切り、第 16 号竪穴住居址に東壁と床の一部を切られる。また、トレンチに北西と北東の壁の一部を破壊する。

大きさと平面形は不明である。主軸方向は N40° W であると思われる。検出面から床までの壁の高さは 0.46m～0.60m で、床面の標高は 470.82m である。床面積は不明である。

柱穴は 3 つ確認された。そのうち、P3 は支柱穴の一つと思われる。床面は堅緻に締まっている。炉は 2 ヶ所確認され、どちらも地床炉である。1 つは支柱穴間と思われる場所に位置し、規模は、0.72m×0.56m の楕円形で、深さは 0.06m である。この炉の北西側に更にもう一つの炉が位置している。規模は 0.26m×0.26m の円形をなし、深さは 0.04m である。両方とも被熱して橙褐色を呈している。

遺物は覆土から主に出土し（第 37 図）、床面上からは確認されなかった。

第 22 号竪穴住居址 (挿図番号第 13 図)

本住居址は、調査区の南西側に位置する (S61E53、S61E54、S61E55、S62E53、S62E54、S62E55、S63E53、S63E54、S63E55、S64E53、S64E54、S64E55グリッド)。第 21 号竪穴住居址、第 1 号土坑と重複して切られ、北西の隅の壁と住居址の南部を床から破壊される。また、攪乱により北東の壁を破壊され、トレンチにより北東の壁と南西の壁の一部を破壊した。

北西の壁の長さは 6.92m を測るが、それ以外の壁の長さは不明である。全体の大きさは確認できないが、本調査で検出された竪穴住居址の中では比較的大きい住居址と思われる。形態は、隅丸長方形であると推定される。主軸方向は N23° W である。検出面から床までの壁の高さは 0.22m~0.52m で、床面の標高は 471.00m である。

柱穴は、16 個確認された。そのうち、P11 と P2 は主柱穴と考えられる。また、住居址の全体の大きさが不明なので断言できないが、P16 と P15 も同様に主柱穴と思われる。床面は全体的に堅緻で硬くなっている。北西の壁側の床と北東の壁側の床が一部にわたって、階段状に高まっている。炉は 2ヶ所確認された。一つは石囲い炉で、北の主柱穴間に位置している。大きさ 0.76m×0.57m、深さ 0.12m に掘り窪められて、長細い川原石が三方を囲っている。炉底は熱を受けて橙褐色を呈している。もう一つは、地床炉で、さきの石囲い炉より南東に位置している。径 0.23m、深さ 0.02m に掘り窪められている。被熱して橙褐色を呈した部分は、この窪みより一回り大きい。

遺物は主に覆土から出土した (第 38 図)。

第 23 号竪穴住居址 (挿図番号第 12 図)

本住居址は、調査地区の北西部に位置している (S55E54、S55E55、S56E54、S56E55、S57E54、S57E55グリッド)。重複関係はないが、この住居址の北西部は未調査である。また、トレンチで東側の壁近くの床を破壊している。

東壁の長さは 4.95m を測るが、その他の壁の長さは不明である。平面形態も不明であるが、隅丸長方形と推定される。主軸方向も不明であるが、東壁の方向の軸線は N65° E である。検出面から床までの壁の高さは 0.45m~0.50m である。床面の標高は 479.70m である。

北から東の壁際に周溝がめぐる。柱穴は 3 個確認された。このうち、P1 は溝で周溝と連結している。床面は全体的に堅緻に締まっている。炉および被熱痕は確認されなかった。

遺物は、主に覆土中から出土した (第 39 図)。

第 24 号竪穴住居址 (挿図番号第 14 図)

本住居址は調査地区の東端から検出された (S58E59、S58E60、S59E59、S59E60、S60E59グリッド)。第 33 号竪穴住居址と重複して切る。住居址の北東部から南東部は

調査区外になる。

全体の規模は、不明である。検出面から床までの壁の高さは0.30m～0.40mで、床の標高は470.90mである。主軸方向も不明であるが、北西の壁の軸はN50°Eである。形態は、隅丸長方形と推定される。

柱穴は、3個確認された。床面は全体的に堅緻である。北西と南西の壁際の床に周溝が造られている。南西の周溝からは間仕切り状に溝が伸びている。炉は一箇所確認された。これは径0.58mの地床炉で、0.08mの深さで掘り窪められている。炉床は被熱し、橙褐色を呈している。

床面上に炭化した木材が部分的に検出された。また、土器は覆土中から主に出土した（第40図）。

第25号竈穴住居址（押図番号第16図）

本住居址は、調査区域の北西隅から検出された（S51E55、S51E56、S51E57、S52E55、S52E56、S52E57、S53E55、S53E56、S54E56グリッド）。住居址の南東部のみが本調査で確認され、それ以外は調査区域外である。

全体の規模は不明である。平面形態は、不明であるが隅丸長方形と推定される。主軸方向も不明であるが、東壁の方向はN19°Eである。検出面から床までの壁の高さは0.70m～0.78mで、床の標高は470.24mである。

柱穴は12個検出された。そのうち、P1は主柱穴の一つと推定される。

床面は全体的に堅緻に締まっている。南東隅の床に短く周溝が施されている。また、その周溝を囲んで間仕切り状に周溝が廻っている。炉は、主柱穴間と推定される場所に地床炉が一箇所確認された。これは大きさ0.36m×0.28m、深さ0.08mに掘り窪められている。炉床とその周辺は熱を受けて橙褐色を呈している。

遺物は覆土上部に多く出土し、床面上に僅かに出土（第41図9）した。

第26号竈穴住居址（押図番号第15図）

本住居址は、調査地区の北端に検出された（S52E57、S52E58、S52E59、S53E57、S53E58グリッド）。住居址の北側半分が未調査である。第27号竈穴住居址と重複し、東側の壁と床が破壊されている。また、トレンチにより、西壁の一部を破壊する。

全体の規模は不明である。平面形態は不明であるが、隅丸長方形と推定される。主軸方向も不明であるが、西壁の方向は、N18°Eである。検出面から床までの壁の高さは0.4mで、床面の標高は470.50mである。

床は全体的に堅緻であり、部分的に特に硬くなっている。柱穴は5箇所確認された。また、北側の床面の一部が被熱して、橙褐色を呈している。形態は不整形で、掘り窪められておらず、およそ0.70m×0.40mの大きさに広がっている。

遺物は、覆土中から散在して出土した。また、床面上からも僅かに出土（第42図13）した。

第27号竪穴住居址（挿図番号第17図）

本住居址は、調査地区の北端に検出された（S52E58、S52E59、S52E60、S53E58、S53E59、S53E60、S54E59、S54E60グリッド）。この住居址は北側が未調査である。第26号竪穴住居址、第31号竪穴住居址、第34号竪穴住居址と重複して切る。また、トレンチにより北西と南西の壁の一部が破壊される。

全体の規模は不明であるが、南西の壁は5.12mである。平面形態も不明であるが、隅丸方形を呈すると推定される。主軸方向は、N32.5°Eである。検出面から床までの壁の高さは0.44mで、床面の標高は470.54mである。

床は全体的に堅緻である。南西の隅に周溝が掘られている。柱穴は4つ検出された。炉等は確認されなかったので不明である。

遺物は覆土中から多く出土し、南東の隅から底部を欠いた甕（第43図12）が出土した。

第28号竪穴住居址（挿図番号第18図）

本住居址は、調査地区の北側に位置している（S54E57、S55E56、S55E57、S56E57グリッド）。第38号竪穴住居址を切り、第30号竪穴住居址に住居址の東側を破壊される。

全体の大きさは不明であるが、西壁の長さは5.06mである。平面形態は不明であるが、隅丸長方形と推定される。主軸方向も不明であるが、西壁の方向はN18°Eである。検出面から床までの壁の高さは0.24m～0.30mである。床面の標高は470.70mである。

床面は比較的脆弱である。柱穴は2箇所確認された。炉等は確認されなかった。

遺物は主に覆土中から出土した（第44図）。

第29号竪穴住居址（挿図番号第21図）

本住居址は、調査地区の南側に位置する（S60E55、S60E56、S61E55、S61E56、S61E57、S62E58、S62E59）。第19号竪穴住居址と第40号竪穴住居址と重複してこれらを切る。更に、第20号竪穴住居址と重複して南東隅を破壊される。また、トレンチにより壁と床面の一部を破壊する。

規模は、南西の壁が6.6m、北西の壁が4.40mで、床面積は27.28㎡である。平面形態は隅丸長方形で、主軸方向はN31°Wである。検出面から床までの壁の高さは0.06mで、床面の標高は471.20mである。

床面は全体的に脆弱である。また、床面には北部と南東部に6箇所被熱痕がある。いずれも掘り窪められたものではない。柱穴は4つ確認された。

遺物は、僅かに覆土中と床面上（第45図4）から出土した。

第30号竪穴住居址（挿図番号第19図）

本住居址は、調査地区の北側に位置する（S54E58、S54E59、S55E57、S55E58、S55E59、S55E60、S56E57、S56E58、S56E59）。第28号竪穴住居址、第32号竪穴住居址、第38号竪穴住居址を切り、第34号竪穴住居址と第37号竪穴住居址に切られる。また、農業用のごみ穴等の攪乱やトレンチによって床や壁が部分的に破壊される。

規模は、南西の壁が6.3m、北西の壁が7.0mで、床面積は41.53㎡である。平面形態は、方形に近い隅丸長方形で、主軸方向はN40°Eである。検出面から床面までの壁の高さは、南西の壁で0.44mであり、床面の標高は、470.43mである。

床面は全体的に堅緻で締まりがあるが、部分的にそうでない場所もある。床面は凹凸が著しい。周溝は、何箇所か途切れながらも一周している。北西の床面には溝で方形に仕切られた何らかの施設の跡が認められる。柱穴等は17箇所確認されたが、主柱穴は不明である。炉は2ヶ所確認された。1つは土器敷き炉で、中央よりやや西側の床を掘り窪め高環の環部（第46図15）を敷いている。大きさは、24cm×18cmで、深さは7cmを測る。炉の底の床は焼けて橙褐色を呈する。もう1つは、それより更に西側の床にあり、これは地床炉である。大きさは、0.21m×0.18mで、深さは10cmである。炉の底及びその周辺の床は熱を受けて橙褐色を呈する。

遺物は、覆土中から多量に出土したほか、床面上（第46図2、6、11、16）から出土した。

第31号竪穴住居址（挿図番号第20図）

本住居址は、北東隅に位置する（S52E60、S52E61、S53E60、S53E61グリッド）。この住居址は、北部以外は調査区域外である。また、第27号竪穴住居址に床を切られる。

全体の大きさは不明である。また、平面形態および主軸方向も不明である。検出面から床までの壁の高さは0.3mで、床面の標高は470.64mである。

床面は堅緻に締まっている。柱穴は4つ検出された。炉等は検出されなかった。

遺物は、主に覆土中から出土し、P2の中から甕（第47図5）が出土した。また、炭化物を多く含む層が床面直上に部分的に広がっていた。

第32号竪穴住居址（挿図番号第24図）

本住居址は、調査地区の北東に位置する（S54E59、S54E60、S55E58、S55E59、S55E60、S56E58、S56E59、S56E60、S57E58、S57E59グリッド）。この住居址は、第30号竪穴住居址と第37号竪穴住居址に切られ、第39号竪穴住居址を切る。農業用のごみ穴等の攪乱や調査の際にいたれたトレンチによって床や壁が部分的に破壊される。

規模は、南東の壁が6.90m、北東の壁が4.70mで、平面形態は隅丸長方形を呈する。主軸方向は、N37° Eである。検出面から床面までの壁の高さは、南東で0.24m、北東で0.28mである。床面積は、34.52㎡で、床の標高は、470.59mである。

床面は、全体的に堅緻で締まりがあるが、部分的にそうでない場所もある。また、凹凸が激しい。柱穴等は5つ検出されたが、大きさ、深さ位置などに統一性が見られず主柱穴は不明である。また、北東の壁際に周溝が設けられている。炉は、中央より南東側の床面が0.26m×0.30mの範囲で焼けて、橙褐色を呈するが、第30号竪穴住居址に部分的に切られているので、明確ではない。

遺物は、覆土中から多量に土器片が出土したが床面上からは検出されなかった（第48図）。

第33号竪穴住居址（挿図番号第25図）

本住居址は、調査地区の東端に位置する（S57E59、S57E60、S58E59、S58E60グリッド）。この住居址は南西部と北西部以外は調査区域外である。第24号竪穴住居址に切られ、第39号竪穴住居址と重複して切る。トレンチにより、北西の壁の一部を破壊する。

全体の大きさは不明であるが、北西の壁の長さは3.70mである。平面形態は隅丸長方形と推定される。主軸方向も不明であるが、北西の壁の方向はN17° Wである。検出面から床までの壁の高さは0.18m～0.46mで、床面の標高は470.52mである。

床面は堅緻に締まっている。また、床面直上は、部分的に炭化物が分布している。柱穴は10箇所確認された。炉等は確認されなかった。

遺物は覆土中から主に出土し、床面直上から出土しなかった（第49図）。

第34号竪穴住居址（挿図番号第22図）

本住居址は、調査地区の北側に位置する（S53E58、S53E59、S54E58、S54E59、S54E60グリッド）。第30号竪穴住居址を切り、第27号竪穴住居址と第32号竪穴住居址とに床と壁を切られる。また、トレンチにより床と壁の一部を破壊する。

全体の大きさ、平面形態は不明である。主軸方向も不明であるが、南西の壁はN48° Wを指す。検出面から床までの壁の高さは0.14m～0.18mで、床面の標高は470.70mである。

床面は比較的脆弱である。柱穴は5箇所確認された。炉等は確認されなかった。

遺物は主に覆土中から出土した（第50図）。

第35号竪穴住居址（挿図番号第23図）

本住居址は、調査地区の南東隅に位置する（S65E58グリッド）。この住居址は、一部を除いて大部分が調査区域外である。第16号竪穴住居址に切られて床を壊し、第36号竪穴住居址を切る。

規模、平面形態、主軸方向等は不明である。検出面から床までの壁の高さは、0.33mである。

床面は堅緻である。柱穴、炉等は確認されなかった。

床面上から壺の口縁部（第 51 図 1）が出土した。

第 36 号竪穴住居址（挿図番号第 23 図）

本住居址は、調査地区の南東隅に位置する（S 6 5 E 5 8 グリッド）。この住居址は、一部を除いて大部分が未調査である。第 35 号竪穴住居址と同様、詳細は不明である。

第 37 号竪穴住居址（挿図番号第 26 図）

本住居址は、調査地区の北東に位置する（S 5 4 E 5 9、S 5 5 E 5 8、S 5 5 E 5 9、S 5 5 E 6 0、S 5 6 E 5 8、S 5 5 E 5 9）。第 30 号、第 32 号及び第 34 号竪穴住居址と重複して切る。

規模は、北東の壁が 4.30m、南東の壁が 5.20m で、検出面から床面までの壁高は北西の壁が 0.34m、南西の隅が 0.05m である。平面形態は隅丸長方形を呈し、主軸方向は N 38° E である。床面積は 23.846 m² である。床面の標高は、470.54m である。

床面は、全体的に堅く締まりがあるが、部分的にそうでない場所もある。柱穴等は、8 箇所検出されたが、主柱穴などは不明である。炉は、中央よりやや北西側の床に、径 0.36m の地床炉がある。掘り窪められていないが、くり返し熱を受けたと思われる。

遺物は、覆土中から多量に土器片を出土したが、床面上からは検出されなかった（第 52 図）。

第 38 号竪穴住居址（挿図番号第 27 図）

本住居址は、調査地区の北側に確認された（S 5 4 E 5 8、S 5 5 E 5 7 グリッド）。第 28 号竪穴住居址と第 30 号竪穴住居址と重複して切られている。この住居址は、一部を除いて大部分が破壊されているので詳細は不明である。

また、遺物は僅かに覆土中から出土した（第 53 図）。

第 39 号竪穴住居址（挿図番号第 28 図）

本住居址は、調査地区の東側に検出された（S 5 5 E 6 0、S 5 6 E 6 0 グリッド）。第 33 号竪穴住居址と重複して切られている。また、トレンチにより壁の一部を破壊する。この住居址は、一部を除いて大部分が調査区域外であり、規模、平面形態等は不明である。主軸方向も不明であるが、西壁は N 6° E の方向を指す。検出面から床までの壁の高さは、0.46m である。

床は比較的堅緻である。柱穴は 3 箇所検出された。P 1 と P 3 の断面は段を有している。炉等は確認されなかった。

この住居址からは、遺物は検出されなかった。

第40号竪穴住居址（挿図番号第29図）

本住居址は、調査地区の南東に検出された（S61E57、S61E58、S62E57グリッド）。第20号竪穴住居址に壁の一部を破壊される。また、トレンチにより、東壁の一部を破壊する。

この住居址の大きさは、西壁の長さが3.10m、南壁の長さは2.25mで比較的小さい。平面形は隅丸長方形で、北壁は緩やかに張り出している。主軸方向は、N15°Eである。

床面は全体的に堅緻である。北東の隅の床面は、僅かに一段低くなっている。柱穴は5個確認された。いずれも壁際に造られている。炉は床面の中央よりやや北側に土器敷き炉が検出された。大きさ0.28m×0.21m、深さ0.08mの掘り込みの中に壺の底部（第54図4）が設置されていた。

遺物は覆土中から僅かに検出された（第54図）。

2 土坑

第1号土坑址（挿図番号第30図）

本遺構は、調査地区の南西に位置する（S62E52グリッド）。第2号竪穴住居址と重複して切る。また、西側は調査区域外である。規模は、全体を調査していないので不明であるが、南北に1.80mを測る。検出面と底部の比高差は28cmで、南側の立ち上がりは、階段状を呈する。平面形態は、不定形である。遺物は覆土中と底から出土した（第55図）。

第2号土坑址（挿図番号第30図）

本遺構は、調査地区の南西に位置する（S60E53グリッド）。西側は未調査である。規模は、全体を調査していないので不明であるが、南北に2.42mを測る。主軸方向は、N33°Eである。検出面と底部の比高差は22cmで、断面形は底部よりなだらかに立ち上がる。平面形態は、隅丸方形と思われる。遺物は、僅かに出土した（第56図）。

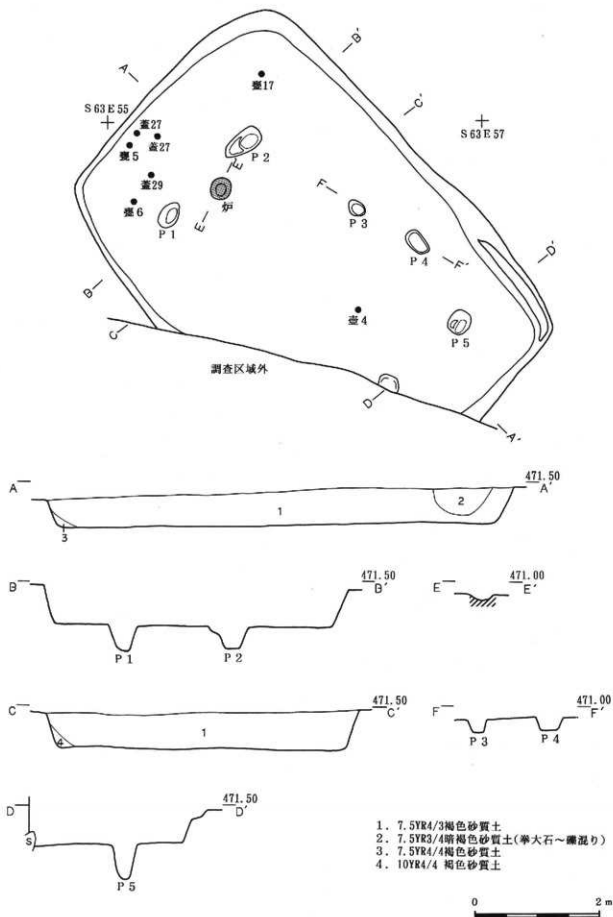
第3号土坑址（挿図番号第30図）

本遺構は、調査地区の中央に位置している（S59E57、S60E57グリッド）。

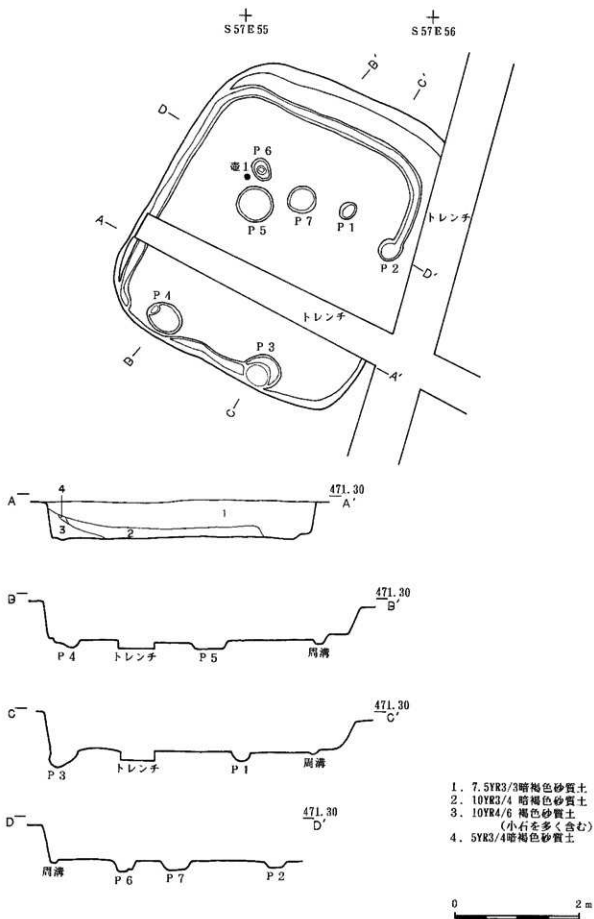
規模は、長軸が2.98m、短軸が2.12mで、平面形態は不定形を呈する。主軸方向は、N19°Eである。断面形はたらい状を呈し、検出面から底部までの壁高は12cm～26cmである。

3 ピット（挿図番号第31図）

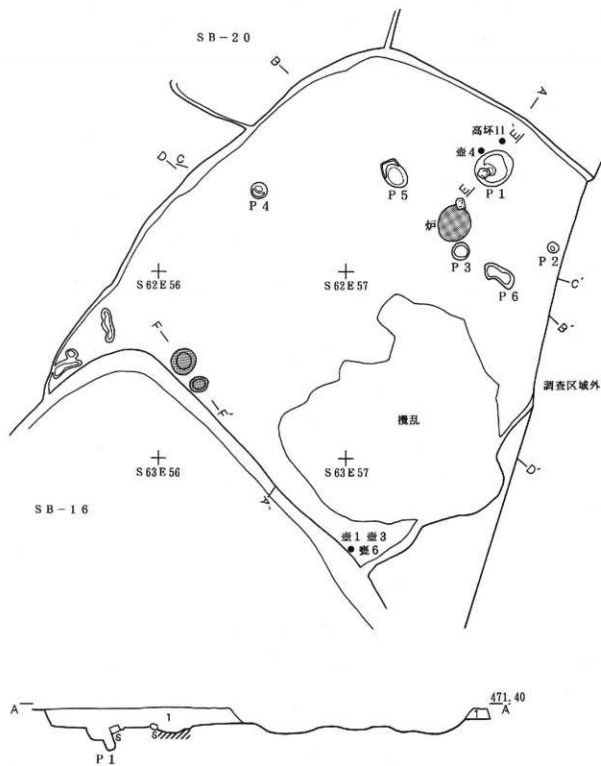
本調査地区からは、29個のピットが検出された。掘立柱を構成するようなピット群は確認されなかった。第1号ピット等から土器片が僅かに出土した（第57図）。



第6図 SB-16 実測図

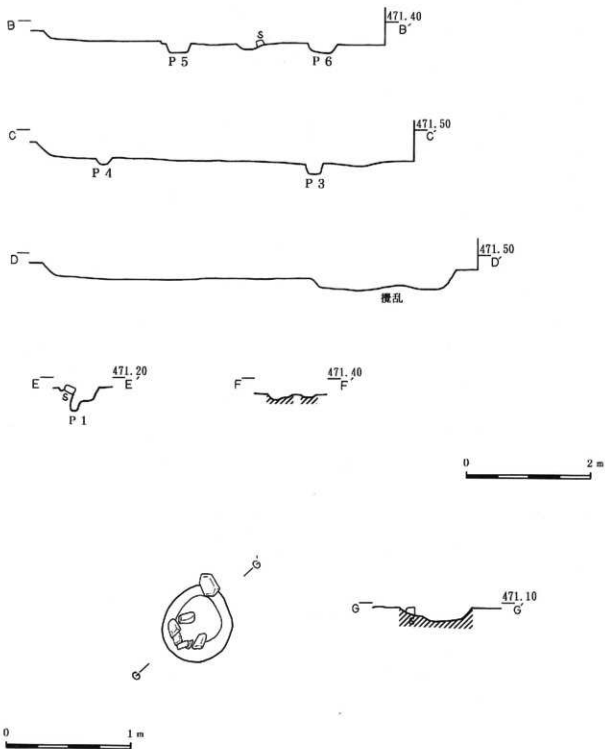


第 7 図 SB-17 実測図

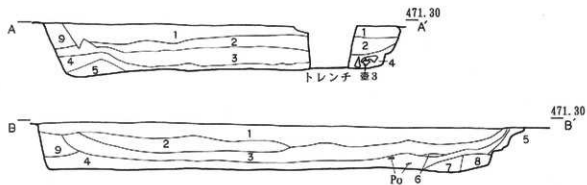
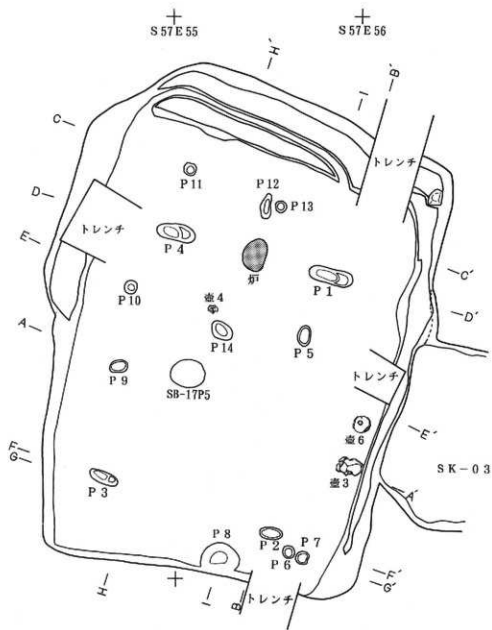


1. 10YR4/4 褐色砂質土 (小石混り)

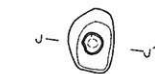
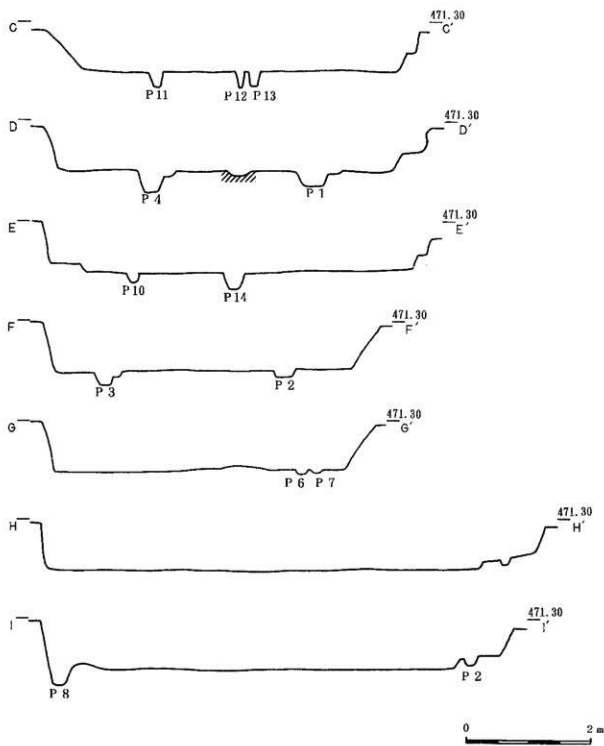
第8図 SB-18実測図



第 8 图 SB-18 · 炉实例图



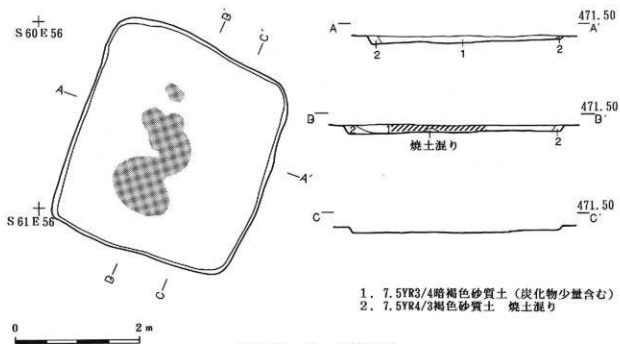
第9図 SB-19 実測図



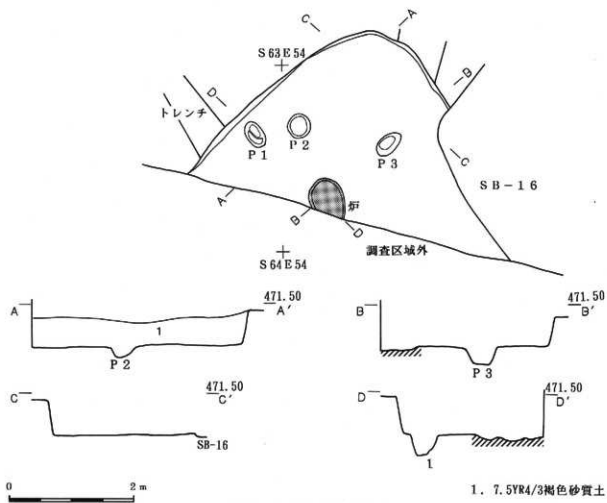
1. 7.5YR3/3暗褐色砂質土(砂鉄(鉄))
2. 10YR4/6 褐色砂質土(砂鉄(鉄))
3. 10YR5/6 黄褐色砂質土(砂鉄(鉄))
4. 10YR3/4 暗褐色砂質土(砂鉄(鉄))
5. 7.5YR4/6褐色砂質土(砂鉄(鉄))
6. 10YR3/3 暗褐色砂質土(砂鉄(鉄))
7. 10YR3/4 暗褐色砂質土(砂鉄(鉄))
8. 10YR4/4 褐色砂質土(砂鉄(鉄))
9. 7.5YR3/4暗褐色砂質土(砂鉄(鉄))



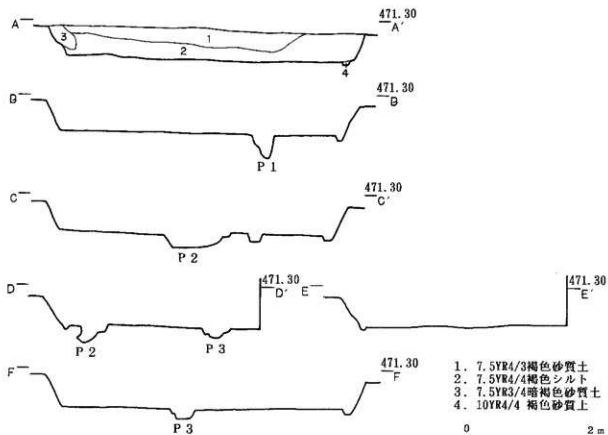
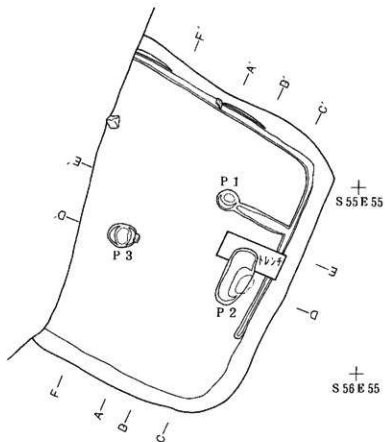
第9圖 SB-19・炉実測圖



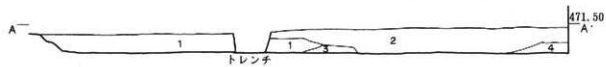
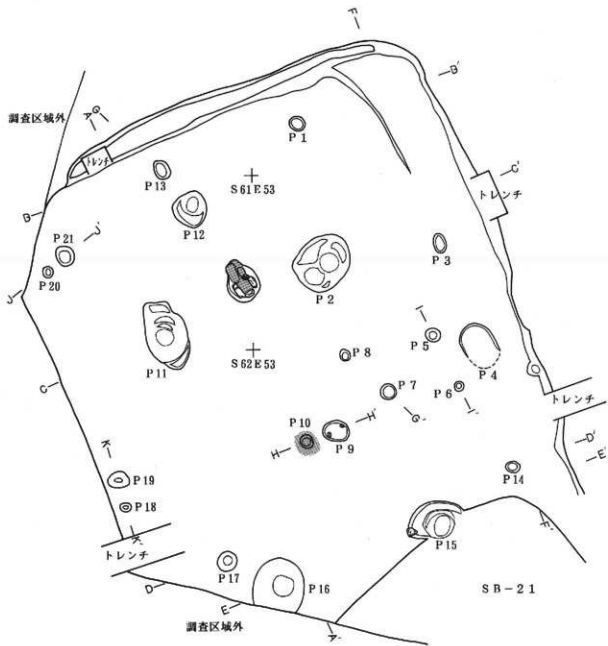
第 10 図 SB-20 実測図



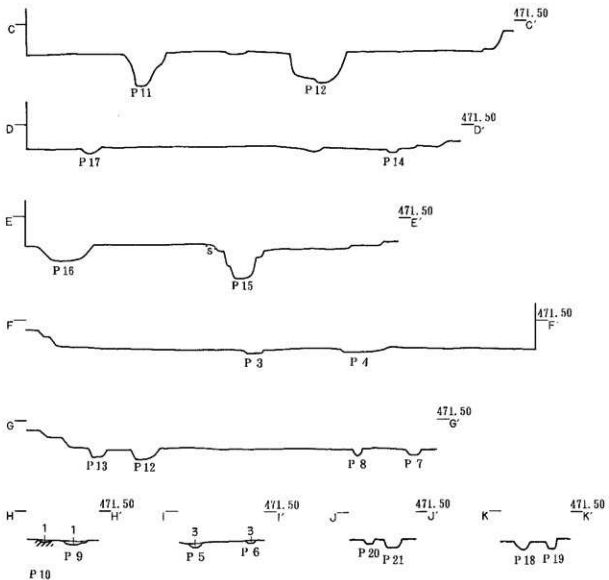
第 11 図 SB-21 実測図



第 12 図 SB-23 実測図



第13図 SB-22実測図



1. 10YR3/3 暗褐色砂質土 (しまっている)
2. 7.5YR4/3 褐色砂質土
3. 10YR3/4 暗褐色砂質土
4. 10YR4/3 におい黄褐色砂質土

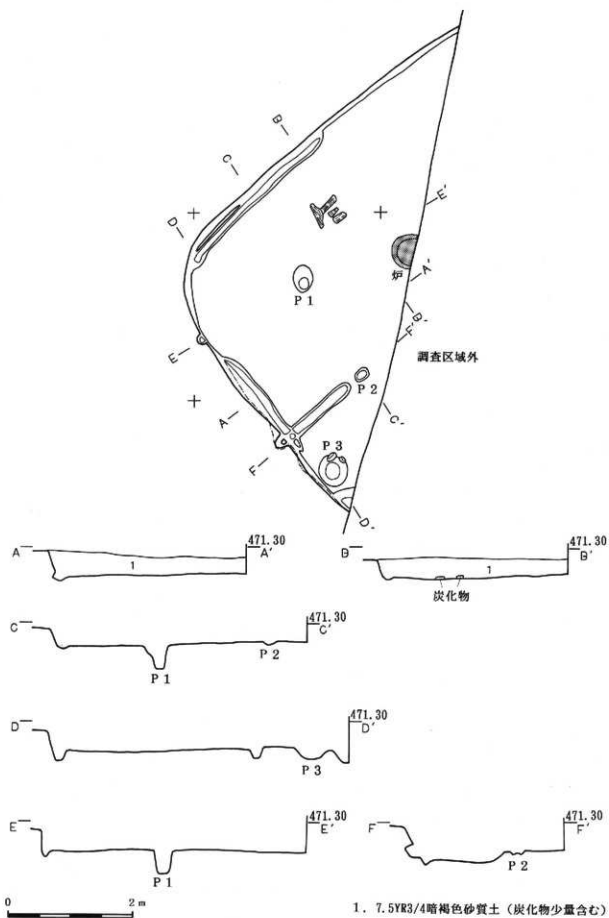
0 2 m



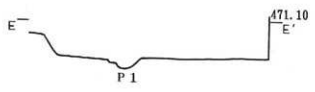
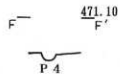
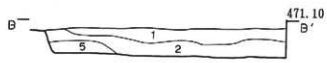
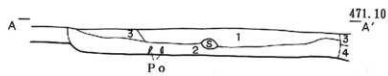
1. 7.5YR2/2 黒褐色シルト (10YR4/4 褐色磊り, 炭漉り)

0 1 m

第 13 図 SB-22・炉実測図



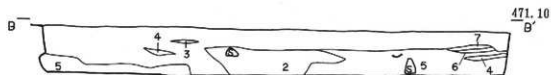
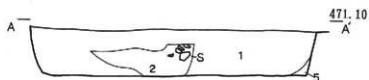
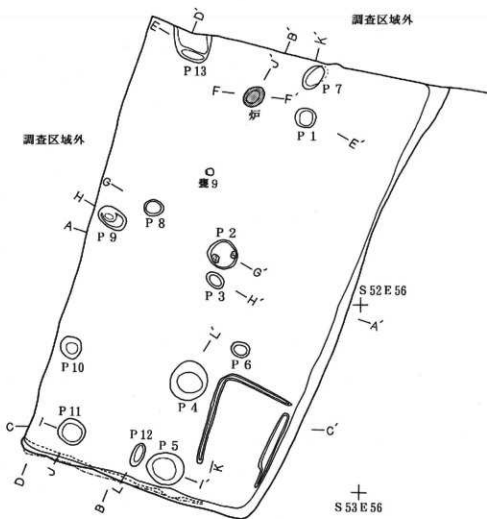
第 14 圖 SB-24 突測圖



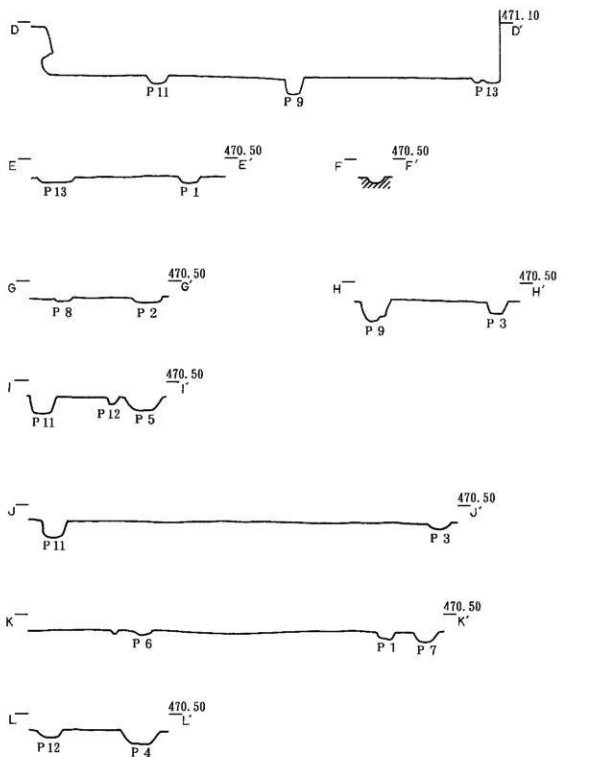
1. 7.5YR4/3 褐色砂質土
2. 10YR3/4 暗褐色砂質土
3. 7.5YR2/3 極暗褐色砂質土
4. 10YR3/3 暗褐色砂質土
5. 10YR4/6 褐色砂質土



第 15 図 SB-26 実測図



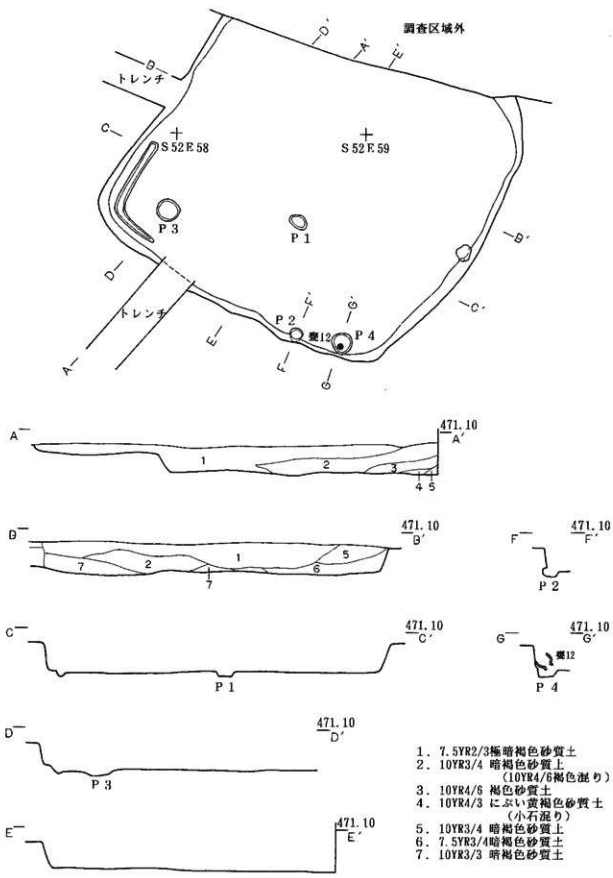
第 16 图 SB-25 实测图



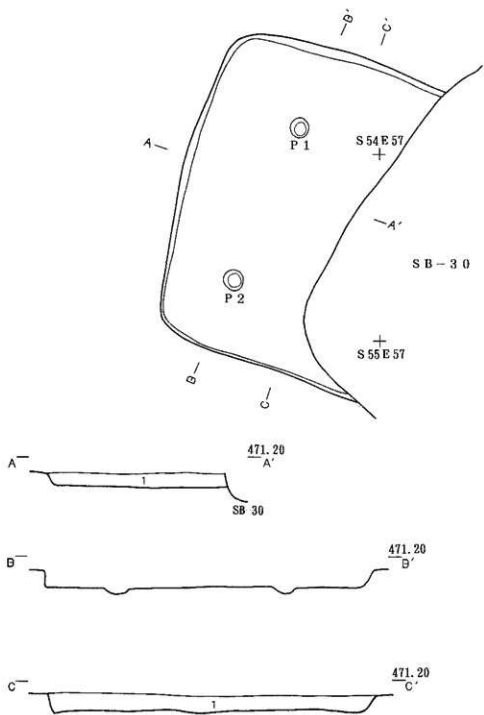
1. 10YR4/4 褐色砂質土 (鏝を多く含む)
2. 10YR4/4 褐色砂質土 (拳大の石を含む)
3. 7.5YR3/4 暗褐色シルト
4. 7.5YR4/6 暗褐色砂質土
5. 10YR3/4 暗褐色砂質土
6. 7.5YR5/6 壤土
7. 10YR3/4 暗褐色砂質土 (炭化物を多く含む)



第 16 図 SB-25 実測図



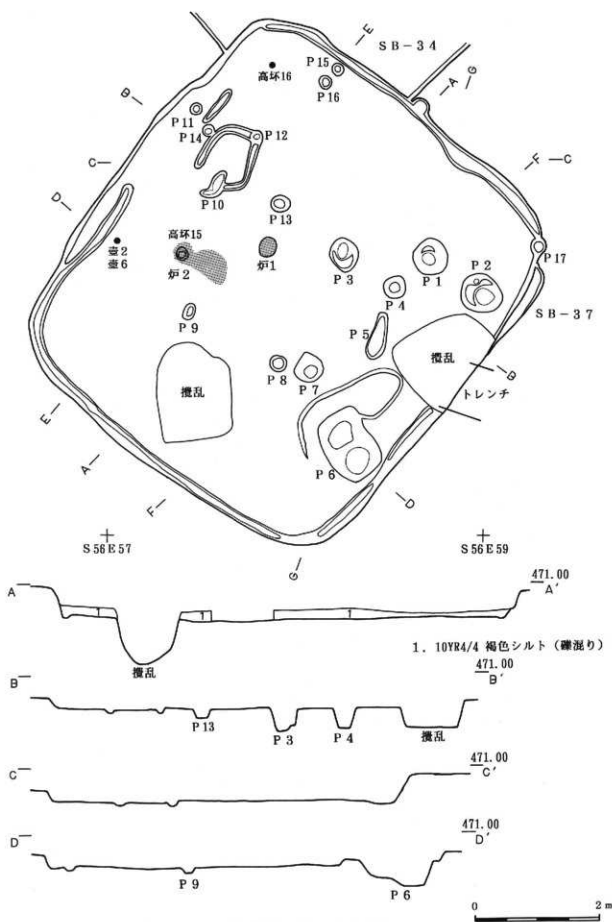
第17図 SB-27 実測図



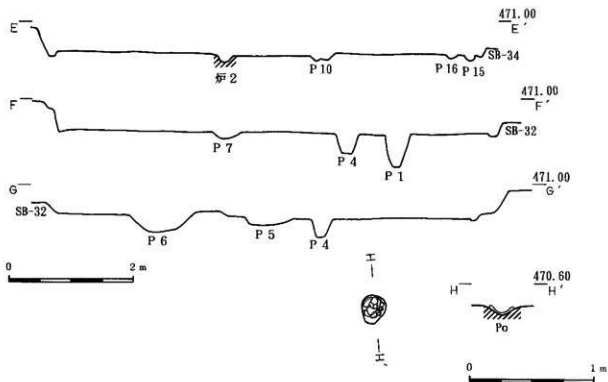
1. 10YR3/4 暗褐色シルト



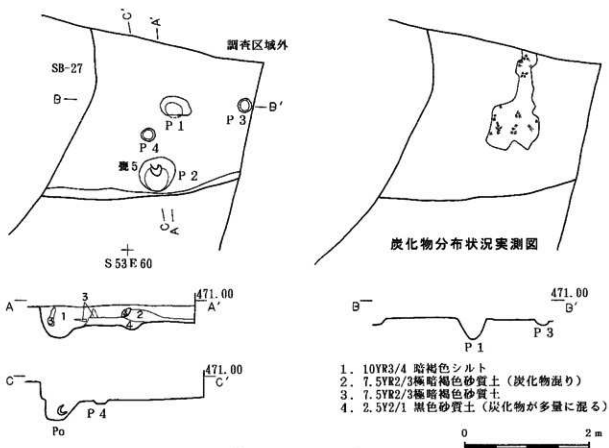
第 18 図 SB-28 実測図



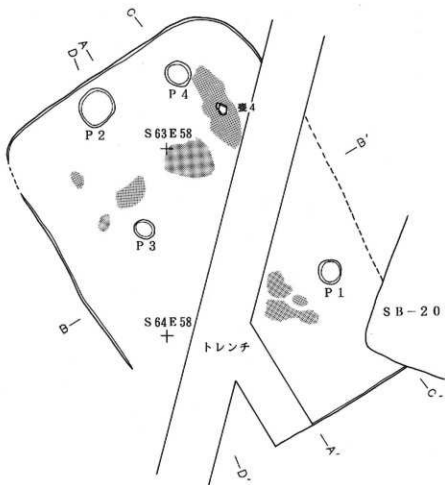
第 19 図 SB-30 実測図



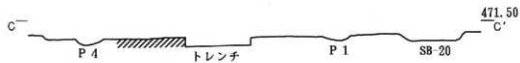
第19図 SB-30・炉実測図



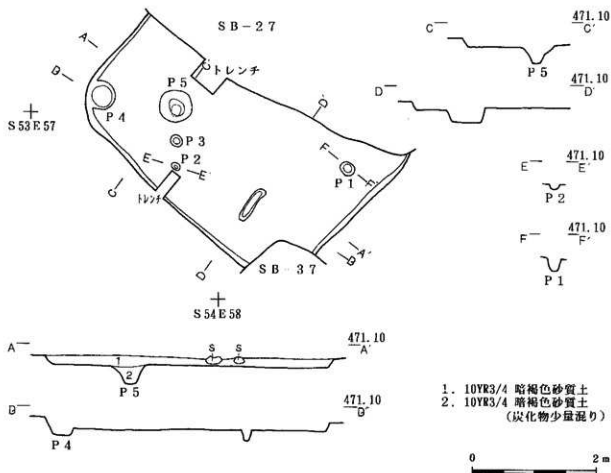
第20図 SB-31 実測図



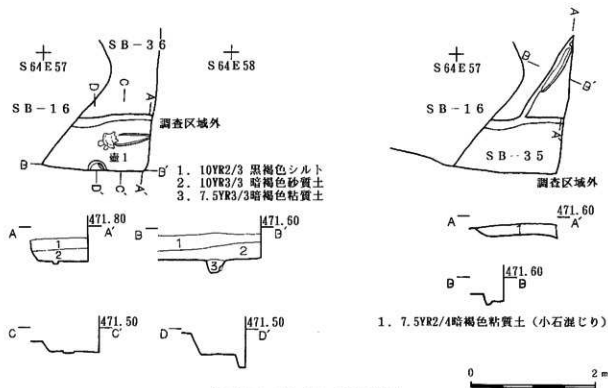
1. 10YR3/4 暗褐色砂質土
2. 機土



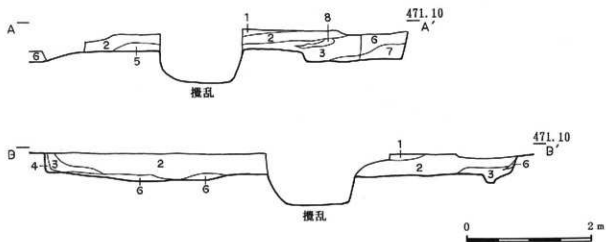
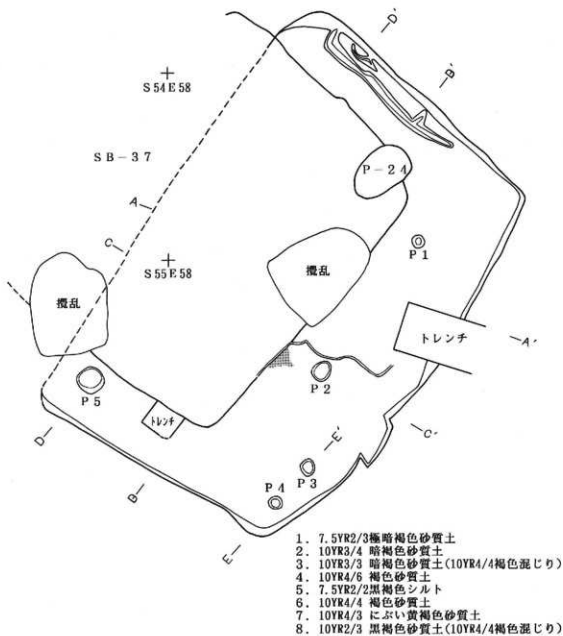
第 21 図 SB-29 実測図



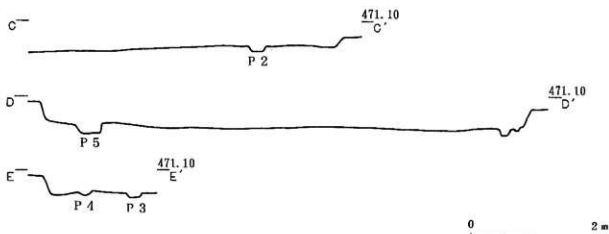
第 22 図 SB-34 実測図



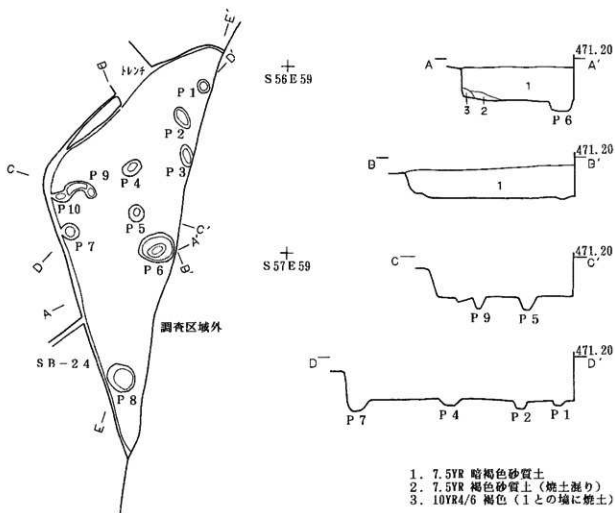
第 23 図 SB-35・36 実測図



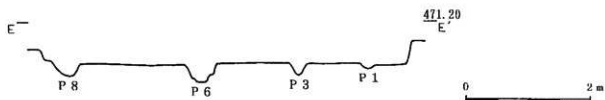
第 24 図 SB-32 実測図



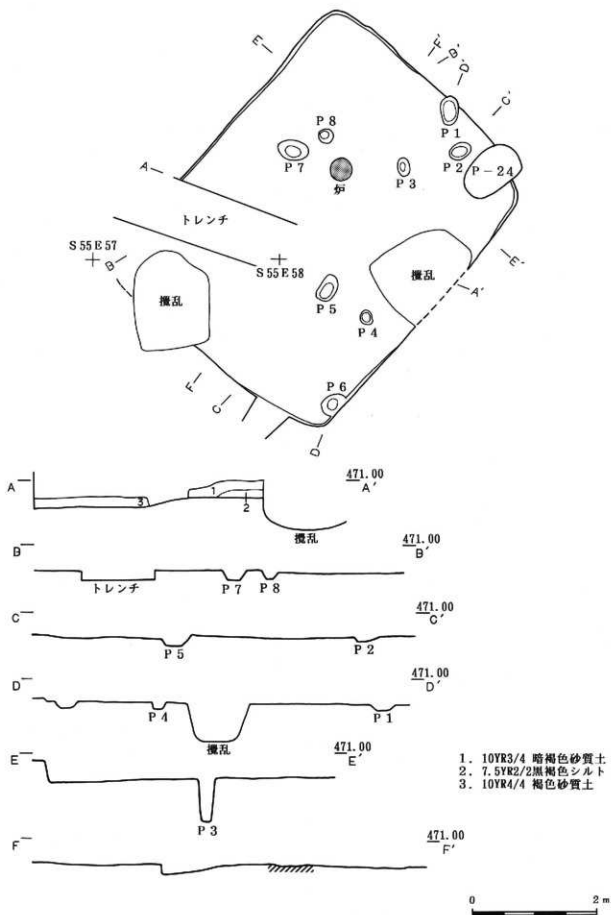
第 24 図 SB-32 実測図



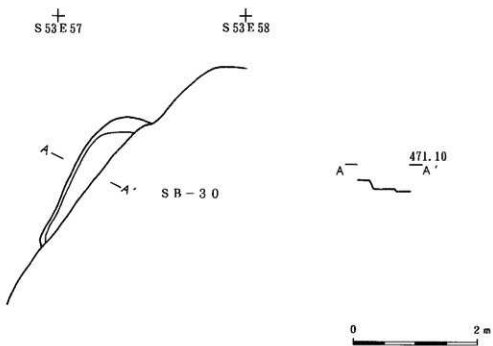
1. 7.5YR 暗褐色砂質土
2. 7.5YR 褐色砂質土 (焼土混り)
3. 10YR4/6 褐色 (1との境に焼土)



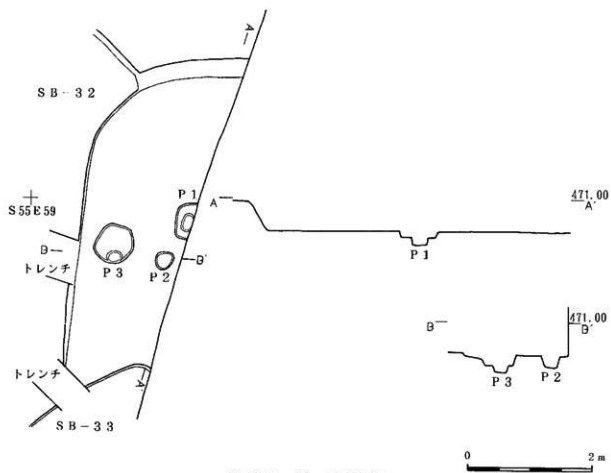
第 25 図 SB-33 実測図



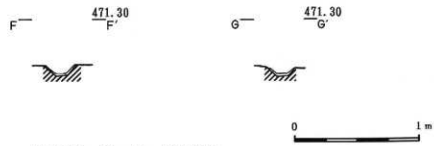
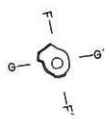
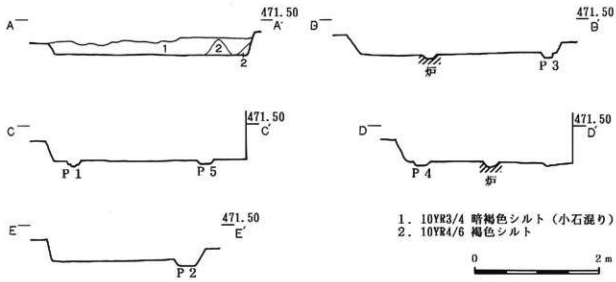
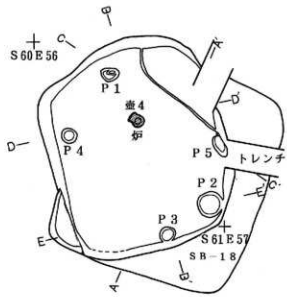
第 26 図 SB-37 実測図



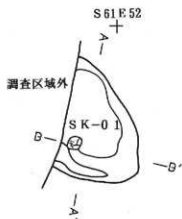
第 27 図 SB-30 実測図



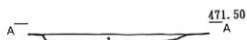
第 28 図 SB-39 実測図



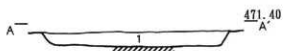
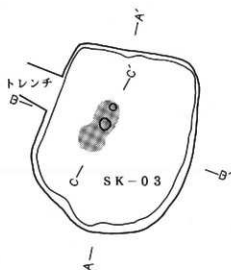
第 29 図 SB-40・炉実測図



1. 7.5YR2/3極暗褐色 (かなり黒っぽい土)



1. 7.5Y 3 4暗褐色 (小石大位の少量の石漉り)



1. 10YR2/3 黒褐色、10YR2/3 褐色ブロック混りシルト

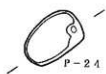
S 60 E 56



第 30 図 土坑実測図

+

S 54 E 59



+

S 57 E 55



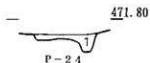
+

S 58 E 53

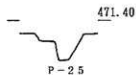


+

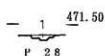
S 61 E 55



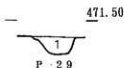
1. 10YR3/4 暗褐色砂質土(粘附あり)



1. 10YR2/3 黒褐色砂質土



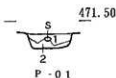
1. 10YR3/3 暗褐色砂質土



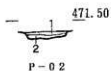
1. 10YR3/4 暗褐色砂質土

+

S 61 E 57



1. 10YR3/3 暗褐色砂質土(粘附強弱)
2. 7.5YR4/6 褐色シルト(粘附強弱)



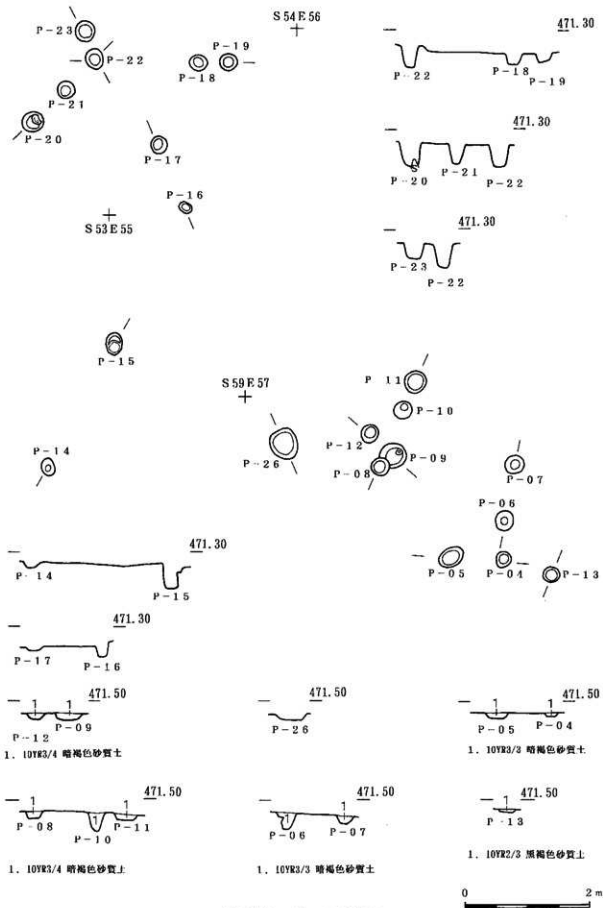
1. 10YR3/3 暗褐色砂質土
2. 10YR4/6 褐色砂質土



1. 10YR2/3 黒褐色砂質土



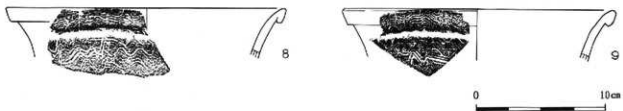
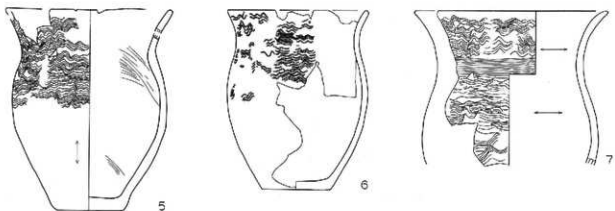
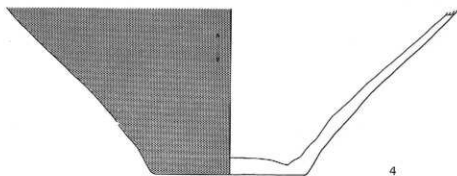
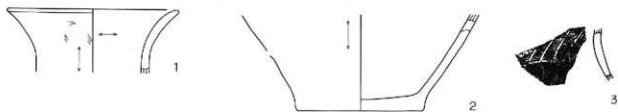
第 31 図 ビット実測図



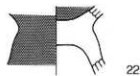
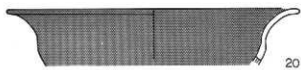
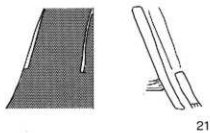
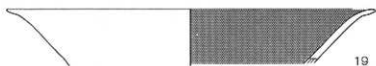
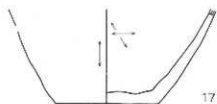
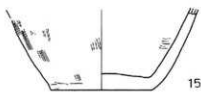
第 31 図 ビット実測図

遺構番号	長径(cm)	短径(cm)	深さ(cm)	備 考
1	72	60	24	弥生(甕、壺)土器破片
2	65	72	12	
3	30	28	16	弥生(甕、壺)土器破片
4	28	22	8	
5	44	30	10	
6	32	28	28	
7	32	30	12	
8	30	30	10	弥生(甕、壺)土器破片
9	44	40	12	
10	30	28	28	弥生(甕、壺)土器破片
11	36	36	10	
12	32	26	10	
13	28	24	6	
14	28	20	10	
15	36	28	40	
16	22	16	24	
17	28	26	6	
18	32	26	20	
19	30	28	16	
20	36	34	40	弥生(甕、他)土器破片
21	30	28	32	弥生(甕、壺)土器破片
22	32	28	40	
23	36	32	24	
24	100	64	28	
25	80	80	44	弥生(甕、壺)土器破片
26	50	44	10	
27	66	46	28	
28	48	36	8	
29	72	70	28	

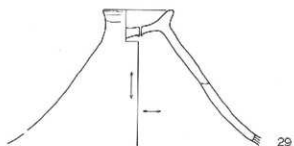
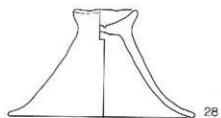
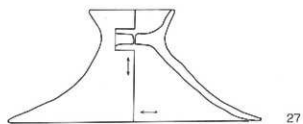
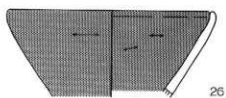
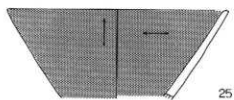
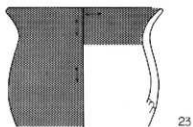
第2表 ビット観察表



第 32 图 SB-16 遺物実測図(1)

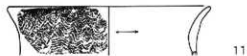
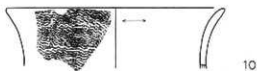
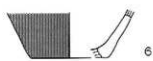
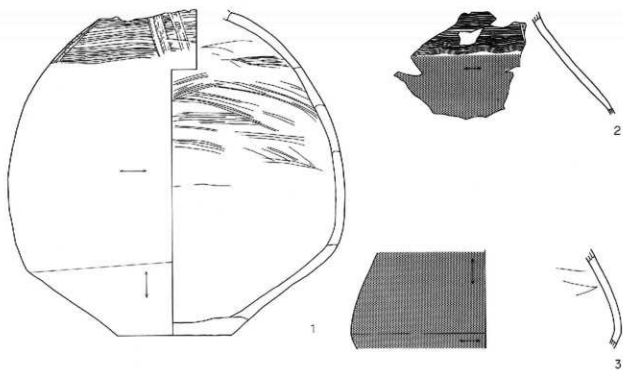


第 32 图 SB-16 遺物実測図(2)



第 32 圖 SB-16 遺物実測図 (3)





第 33 图 SB-17 遺物实例图 (1)



12



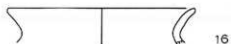
13



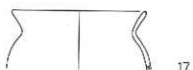
14



15



16



17



18



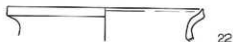
19



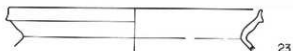
20



21



22



23



24



第 33 图 SB-17 遺物実測図 (2)



25



26



27



28



29



30



31



32



33



34



35



36



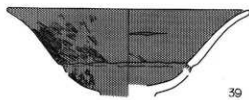
37



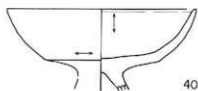
38



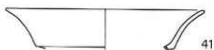
第 33 图 SB-17 遺物実測图 (3)



39



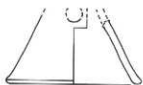
40



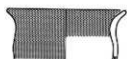
41



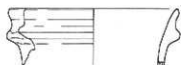
42



43



44



45



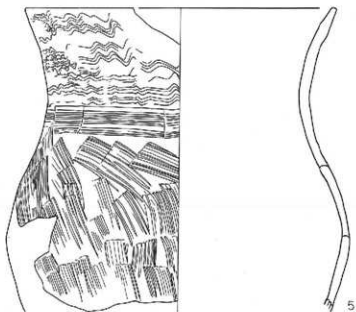
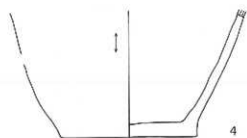
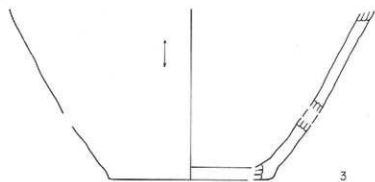
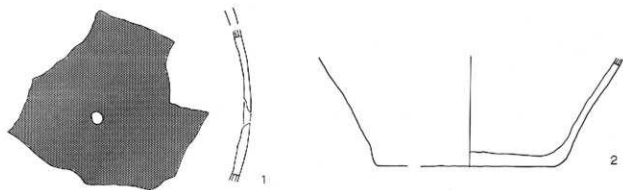
46



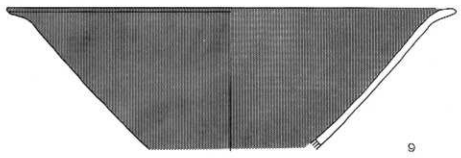
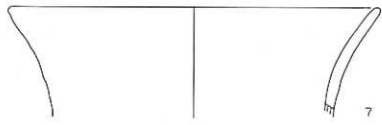
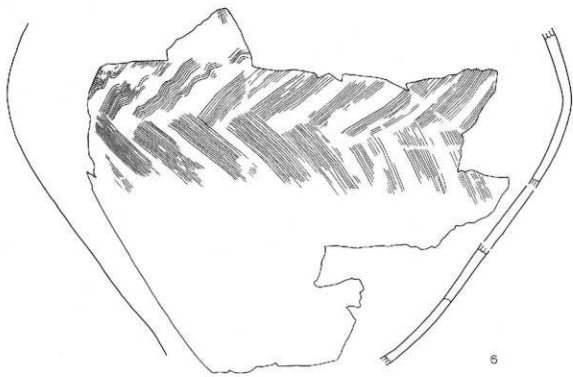
47



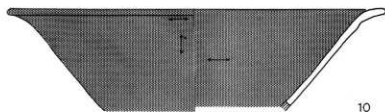
第 33 图 SB-17 遺物実測図(4)



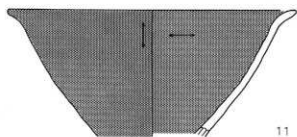
第 34 图 SB-18 遗物实测图 (1)



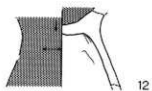
第 34 图 SB-18 遺物実測図 (2)



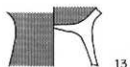
10



11



12



13



14



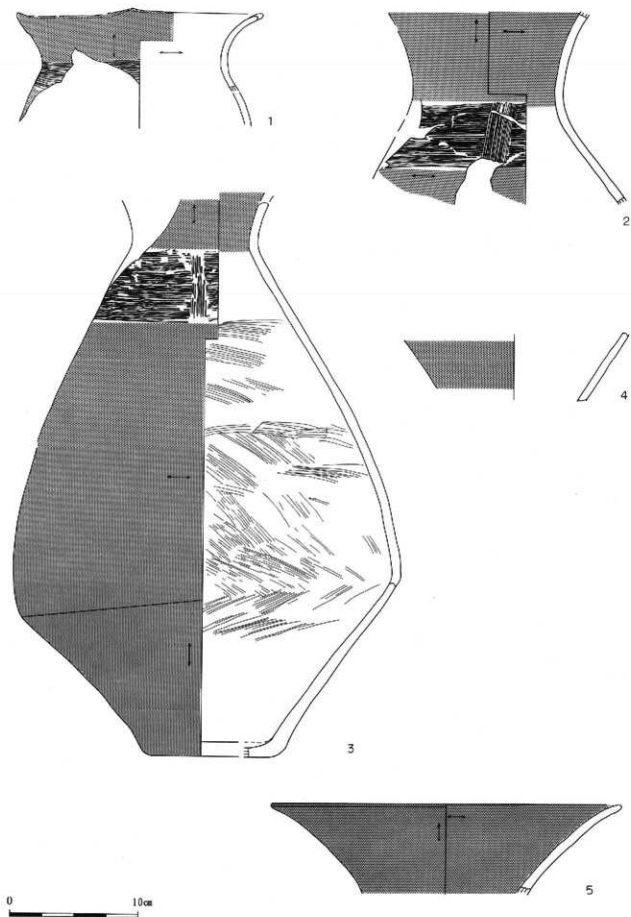
15



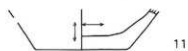
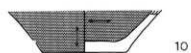
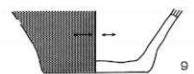
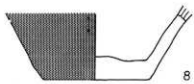
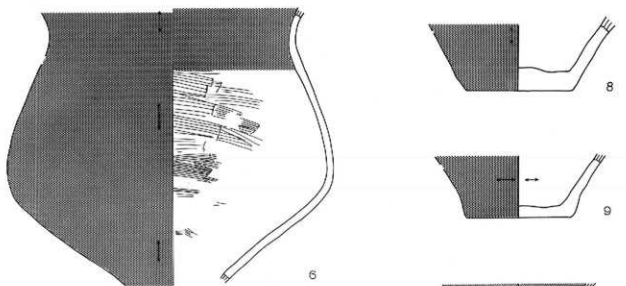
16



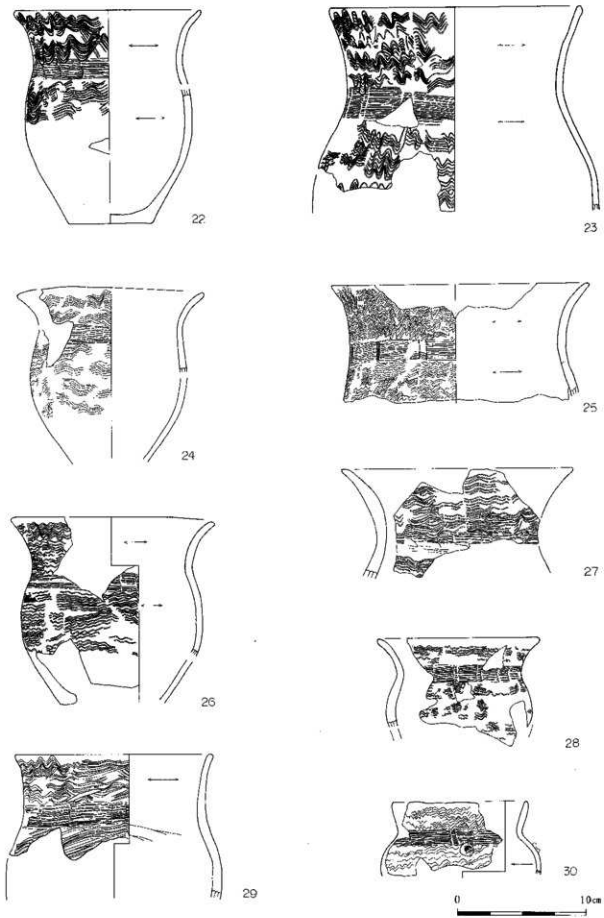
第 34 图 SB-18 遺物実測図(3)



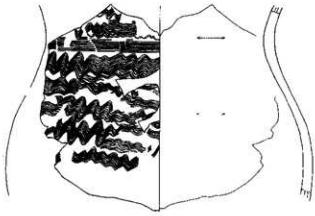
第 35 图 SB-19 遺物実測図(1)



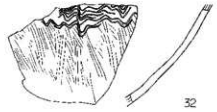
第 35 图 SB-19 遺物実測图 (2)



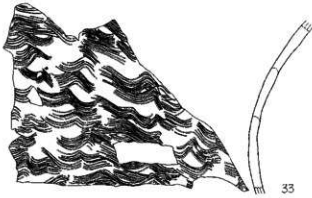
第 35 图 SB-19 遗物实测图(3)



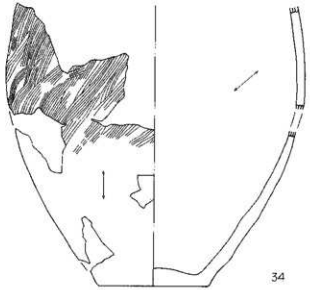
31



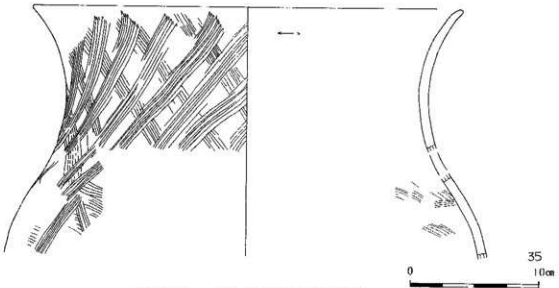
32



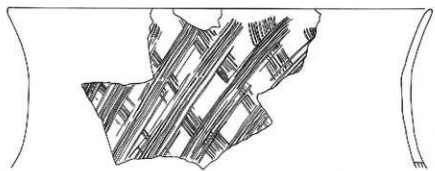
33



34



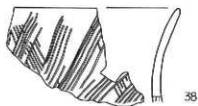
第 35 图 SB-19 遺物実測图(4)



36



37



38



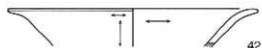
39



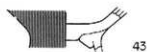
40



41



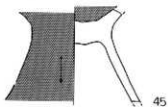
42



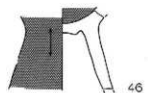
43



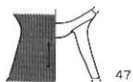
44



45



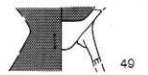
46



47



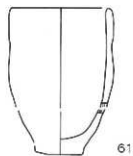
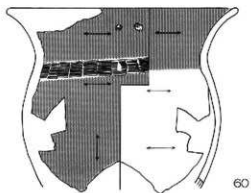
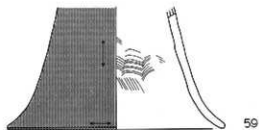
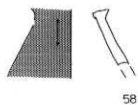
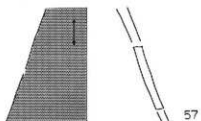
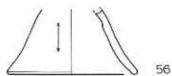
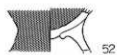
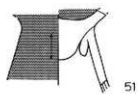
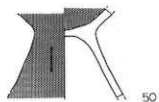
48



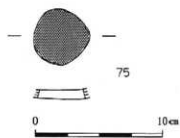
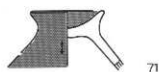
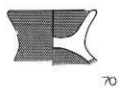
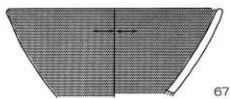
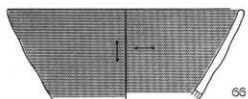
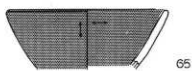
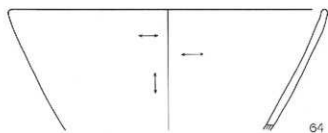
49



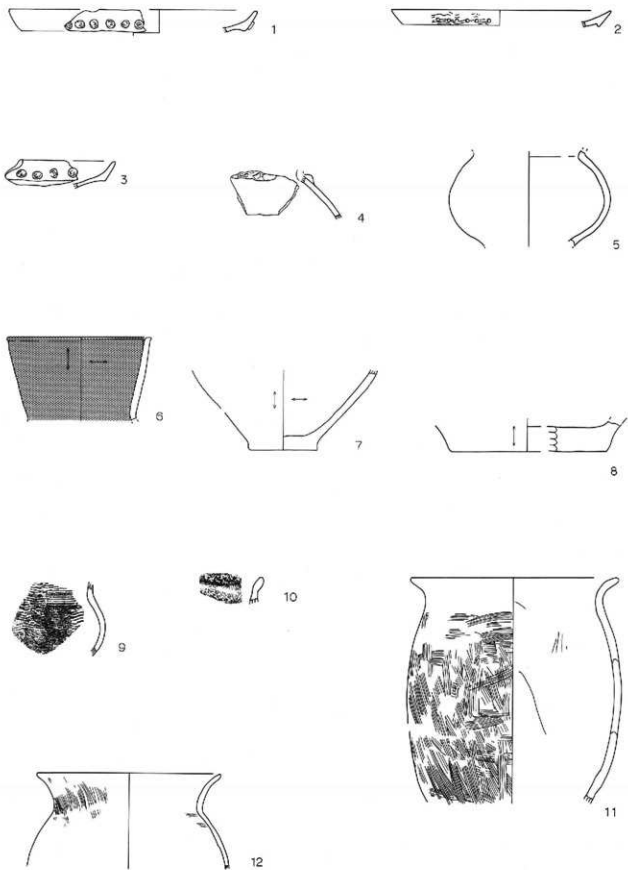
第 35 图 SB-19 遺物実測図 (5)



第 35 图 SB-19 遺物実測図(6)

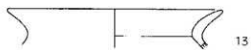


第 35 圖 SB-19 遺物実測図 (7)

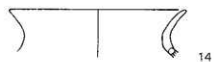


第 36 圖 SB-20 遺物実測図(1)

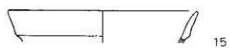
0 10cm



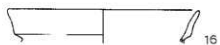
13



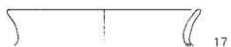
14



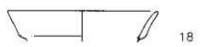
15



16



17



18



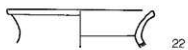
19



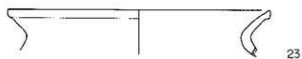
20



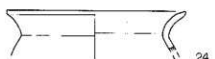
21



22



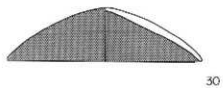
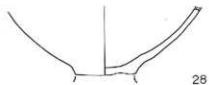
23



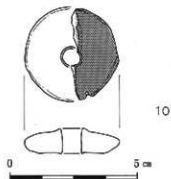
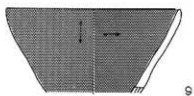
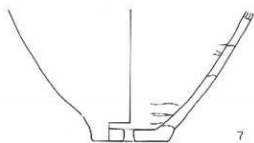
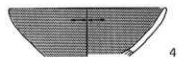
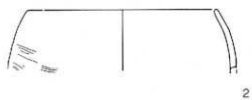
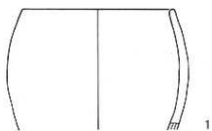
24

第 36 图 SB-20 遺物実測図(2)

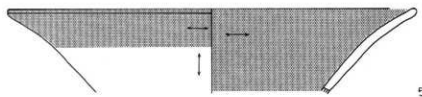
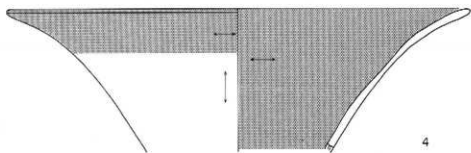
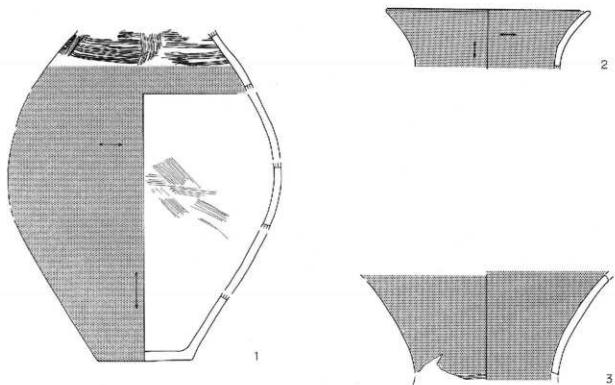




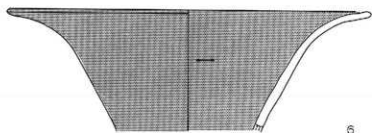
第 36 图 SB-20 遺物実測図(3)



第 37 圖 SB-21 遺物実測図



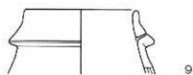
第 38 图 SB-22 遗物实测图 (1)



6



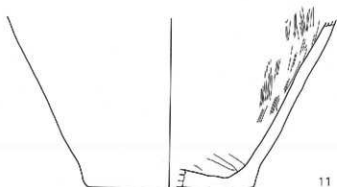
7



9



8



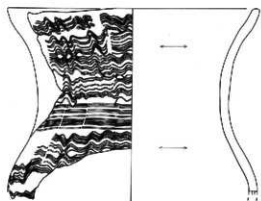
11



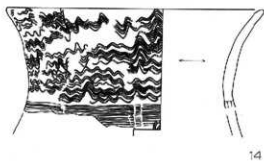
10



12



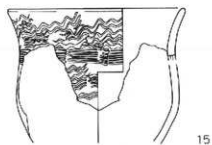
13



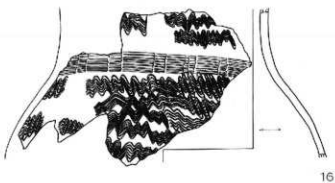
14



第 38 图 SB-22 遗物实测图(2)



15



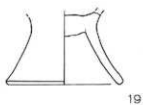
16



17



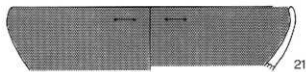
18



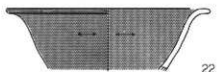
19



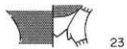
20



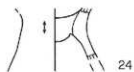
21



22



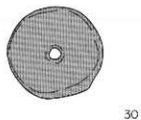
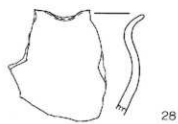
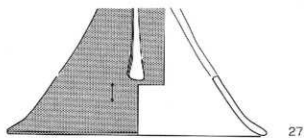
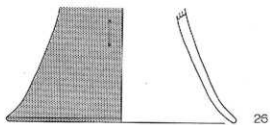
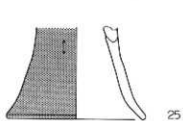
23



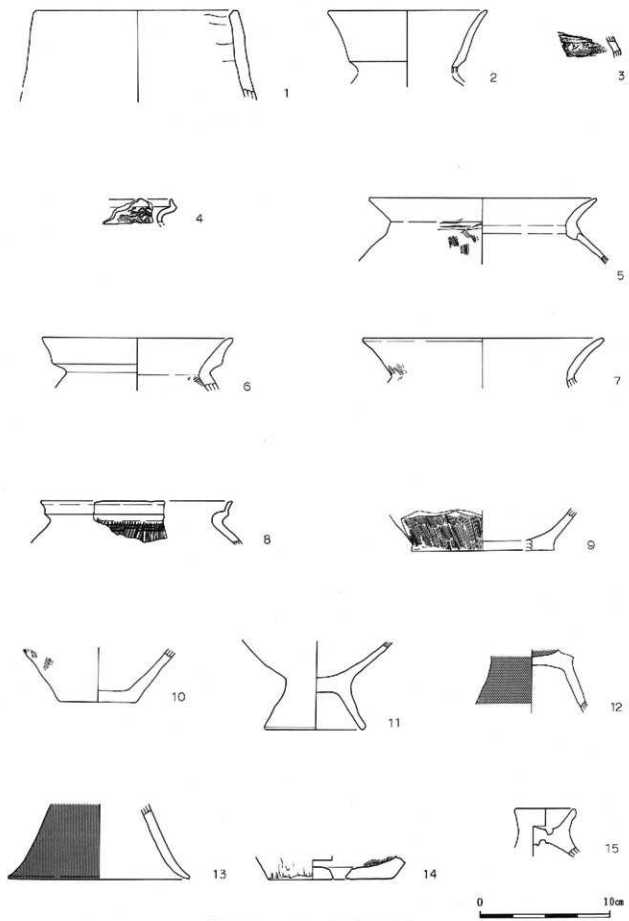
24



第 38 图 SB-22 遺物実測図(3)

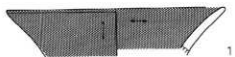


第 38 图 SB-22 遺物実測図(4)

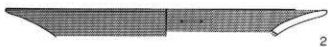


第 39 圖 SB-23 遺物実測図

0 10cm



1



2



3



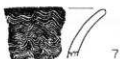
4



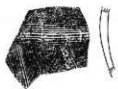
5



6



7



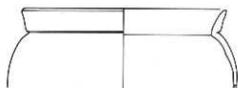
8



9



10



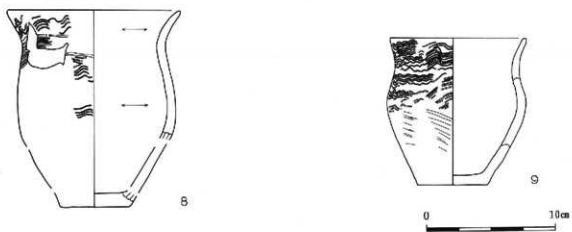
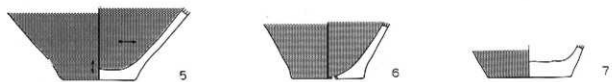
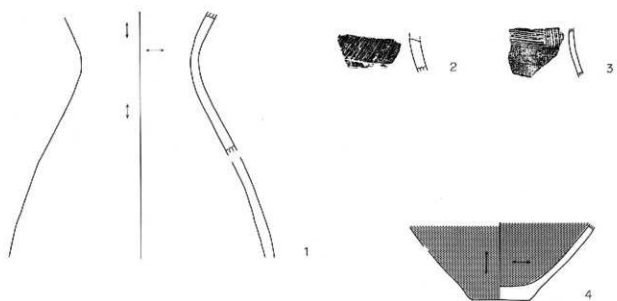
11



12



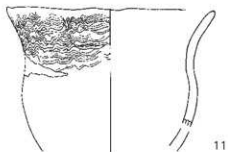
第 40 图 SB-24 遺物実測図



第 41 圖 SB-25 遺物実測図(1)



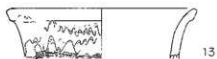
10



11



12



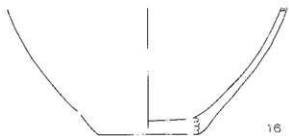
13



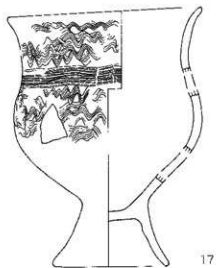
14



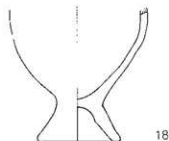
15



16



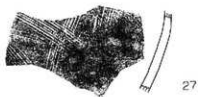
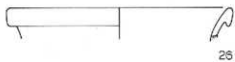
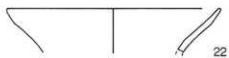
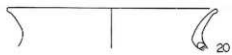
17



18



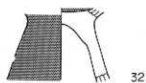
第 41 图 SB-25 遗物实测图(2)



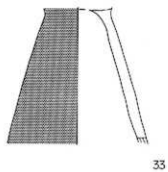
第 41 图 SB-25 遺物実測図(3)



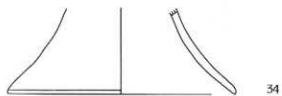
31



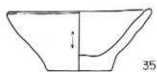
32



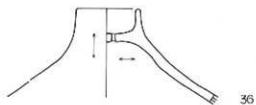
33



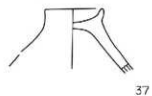
34



35



36



37



38



39



40



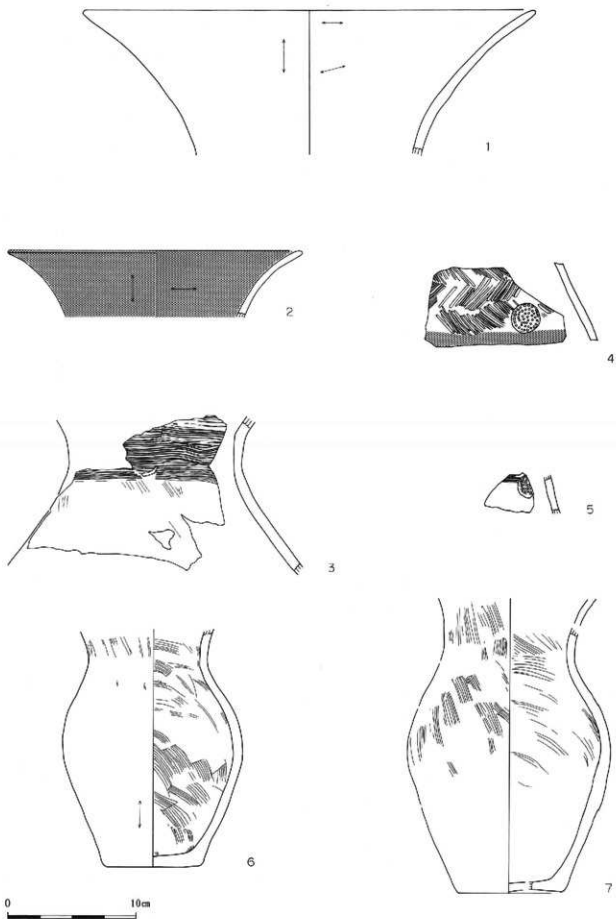
41



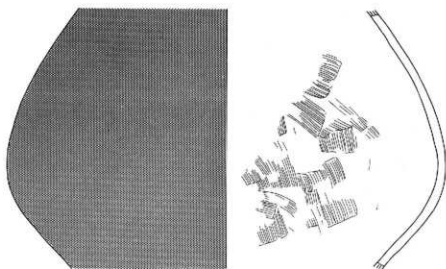
42



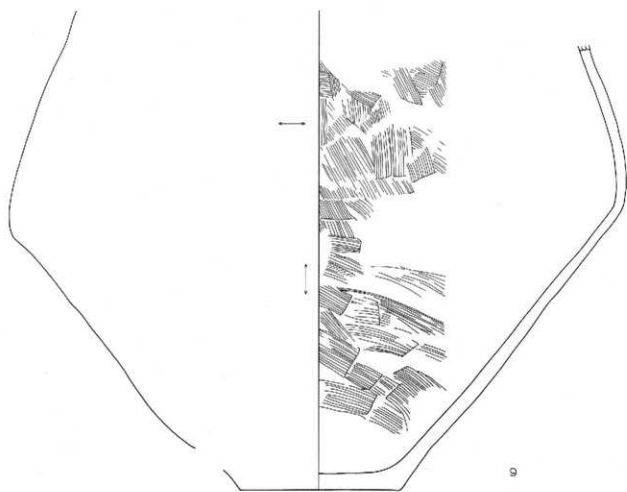
第 41 图 SB-25 遗物实测图 (4)



第 42 圖 SB-26 遺物実測図 (1)



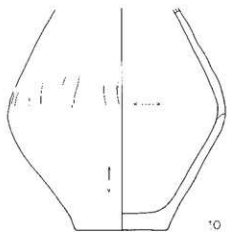
8



9



第 42 圖 SB-26 遺物実測図 (2)



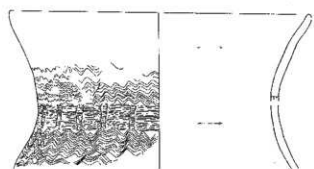
10



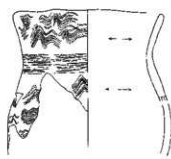
11



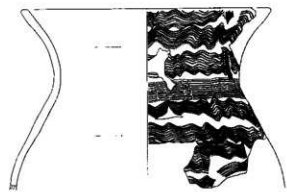
12



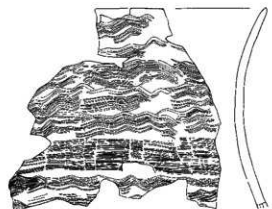
13



14



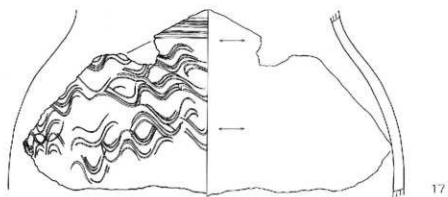
15



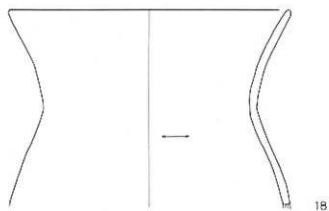
16



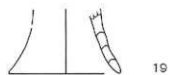
第 42 图 SB-26 遺物実測図(3)



17



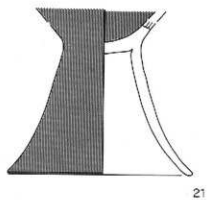
18



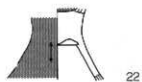
19



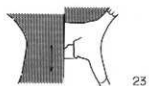
20



21



22



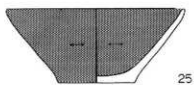
23



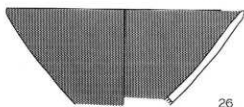
24



第 42 图 SB-26 遺物実測図 (4)



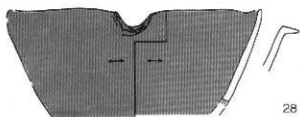
25



26



27



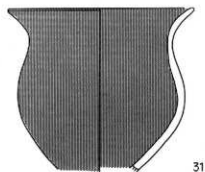
28



29

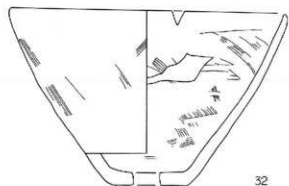


30

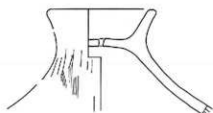


31

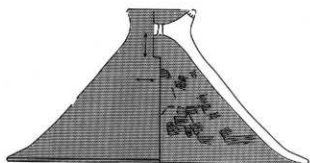
第 42 図 SB-26 遺物実測図(5)



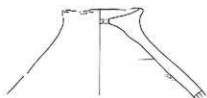
32



33



34



35



36



37



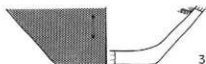
第 42 図 SB-26 遺物実測図(6)



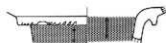
1



2



3



4



5



6



7



8



9



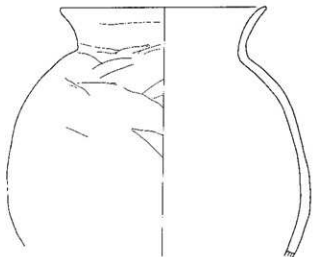
10



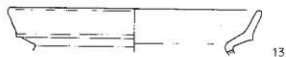
第 43 图 SB-27 遺物実測図(1)



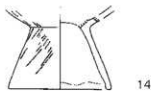
11



12



13



14



15



16



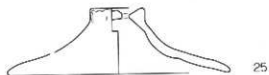
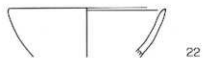
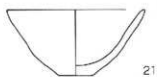
17



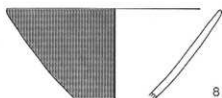
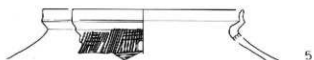
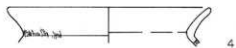
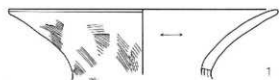
18



第 43 图 SB-27 遺物実測図(2)



第 43 图 SB-27 遗物实测图 (3)

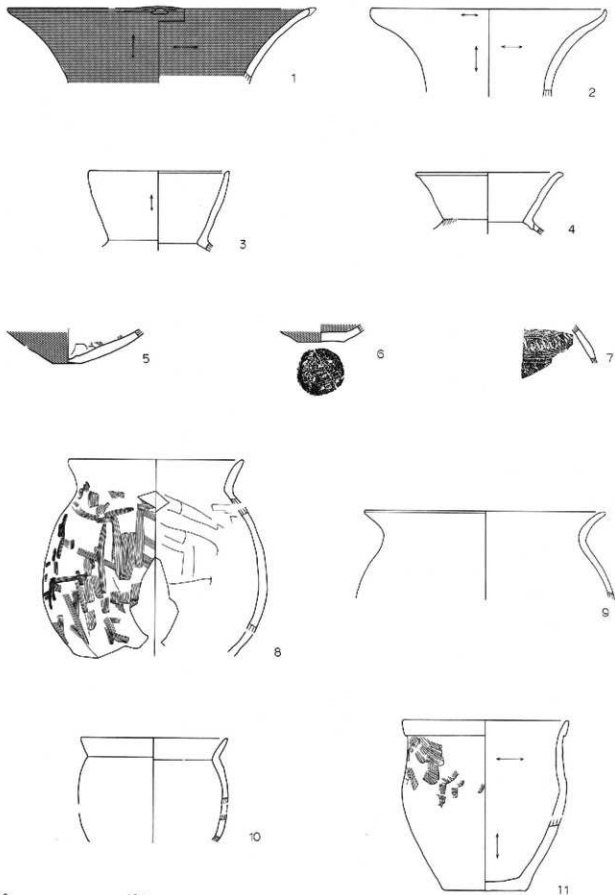


第 44 图 SB-28 遺物実測図

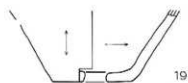
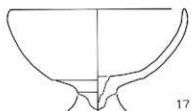
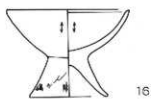
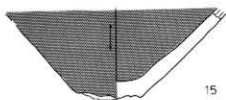


0 10cm

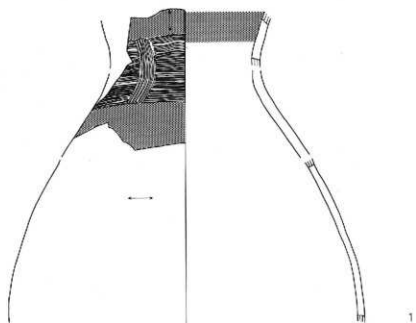
第 45 图 SB-29 遺物実測図



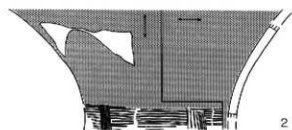
第 46 图 SB-30 遺物実測図(1)



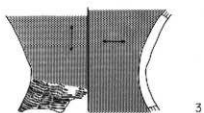
第 46 图 SB-30 遺物実測図 (2)



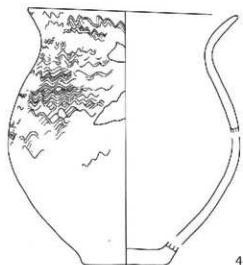
1



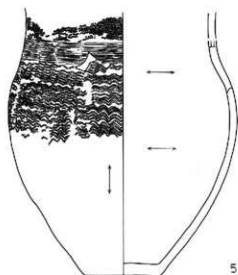
2



3



4



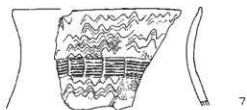
5



第 47 图 SB-31 遺物実測図 (1)



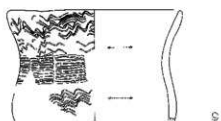
6



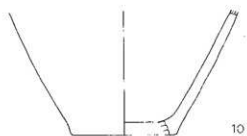
7



8



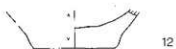
9



10



11



12



13



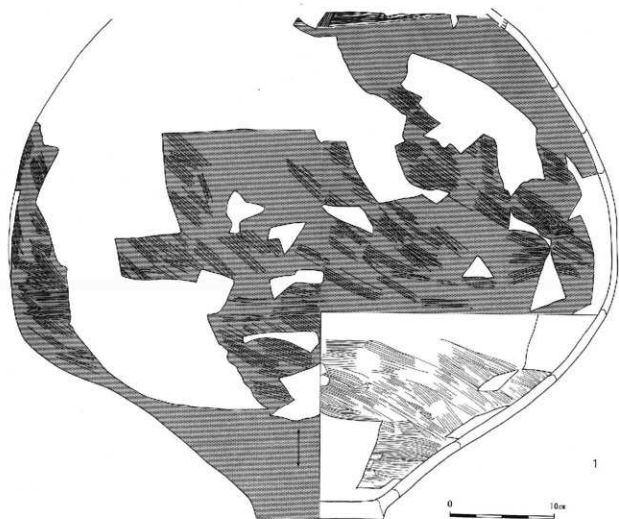
14



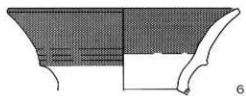
15



第 47 图 SB-31 遺物実測図(2)



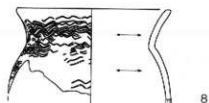
第 48 圖 SB-32 遺物実測図(1)



6



7



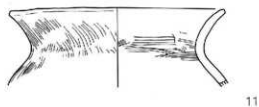
8



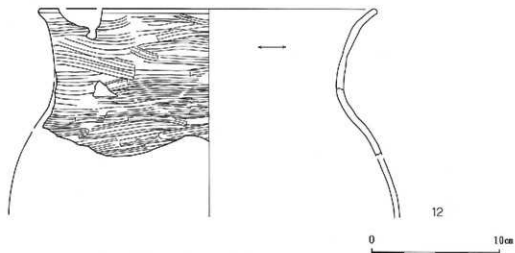
9



10



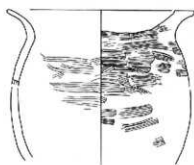
11



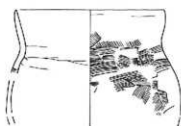
12

0 10cm

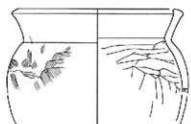
第 48 图 SB-32 遺物実測図 (2)



13



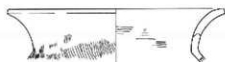
14



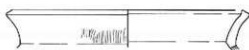
15



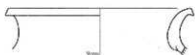
16



17



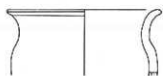
18



19



20



21



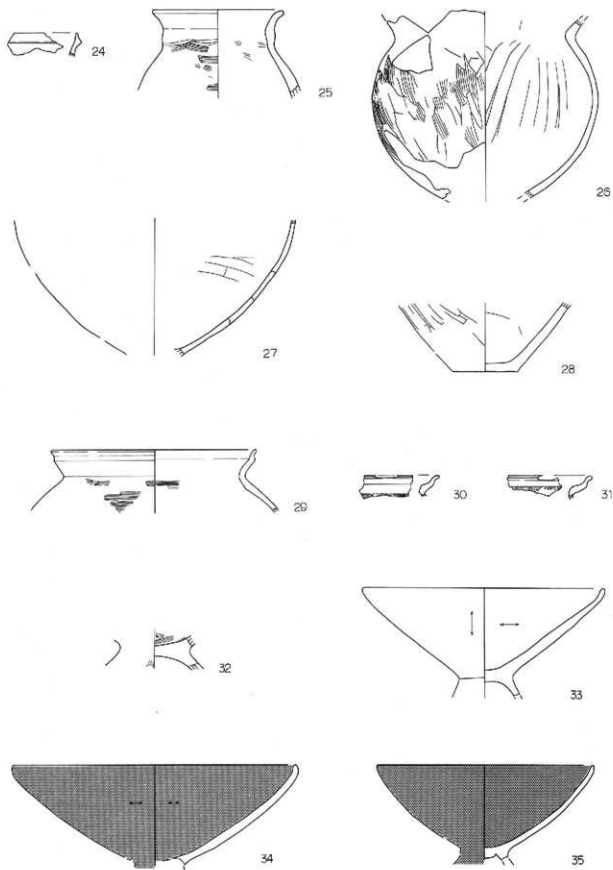
22



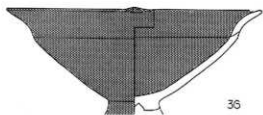
23



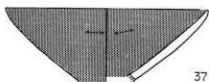
第 48 圖 SB-32 遺物実測図(3)



第 48 图 SB-32 遺物実測图(4)



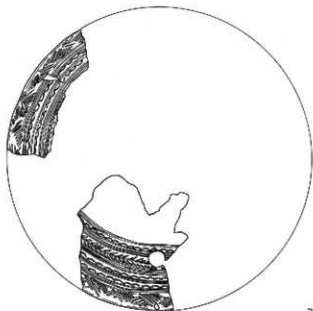
36



37



38



39



40



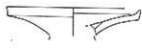
41



42



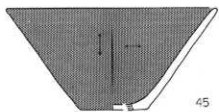
43



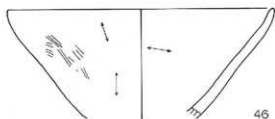
44



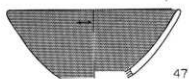
第 48 图 SB-32 遺物実測図(5)



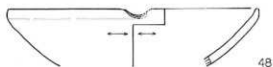
45



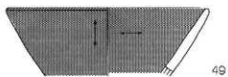
46



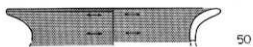
47



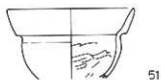
48



49



50



51



52



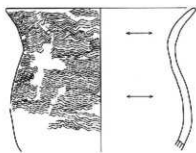
第 48 图 SB-32 遗物实测图 (6)



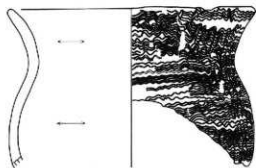
1



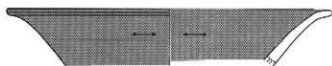
2



3



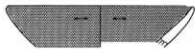
4



5



6



7



8



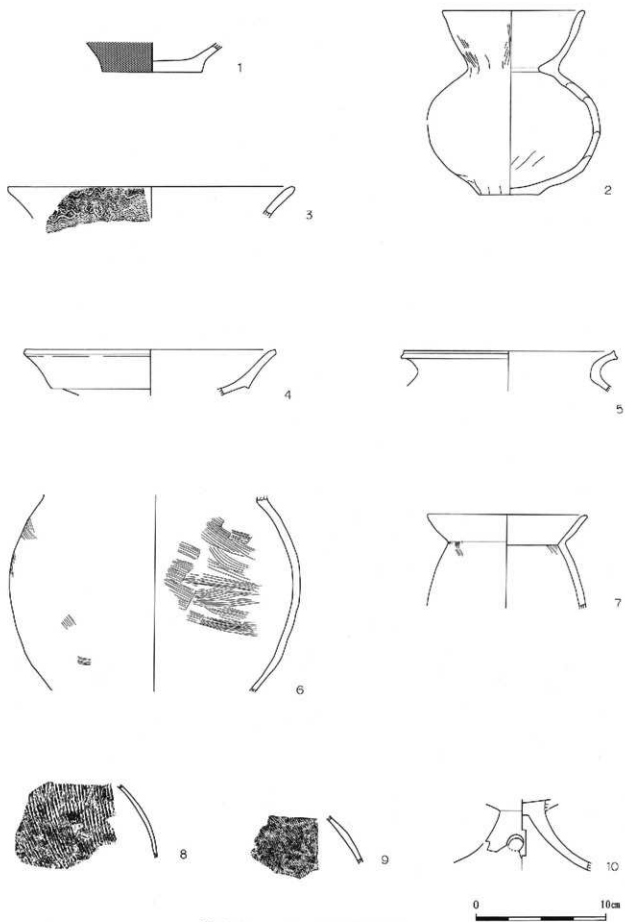
9



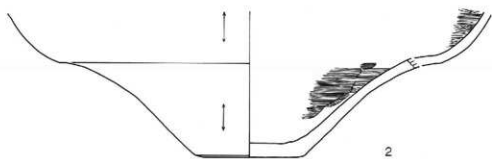
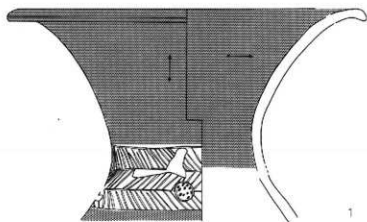
10



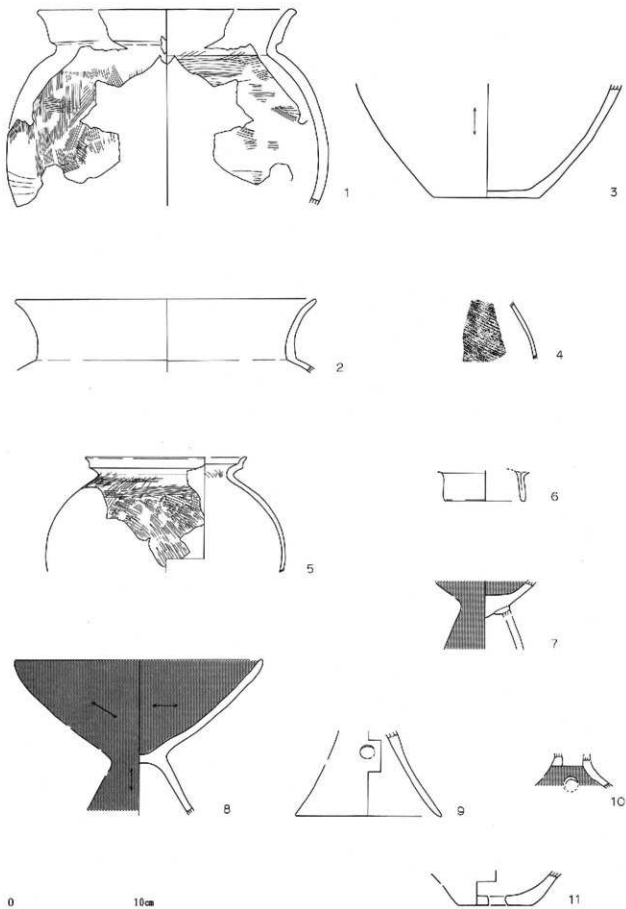
第 49 图 SB-33 遺物実測図



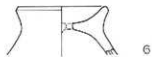
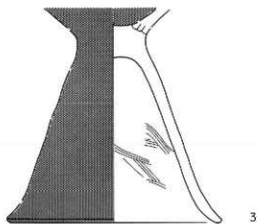
第 50 图 SB-34 遺物実測図



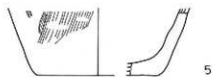
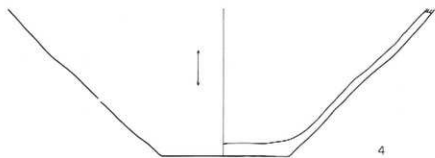
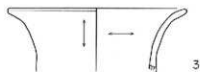
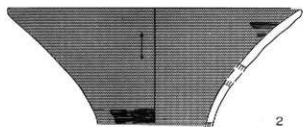
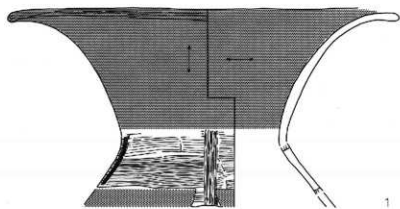
第 51 图 SB-35・36 遺物実測図



第 52 图 SB-37 遗物实测图



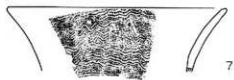
第 53 图 SB-38 遗物实测图



第 54 图 SB-40 遺物実測図(1)



6



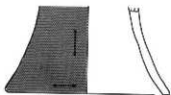
7



8



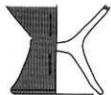
9



10



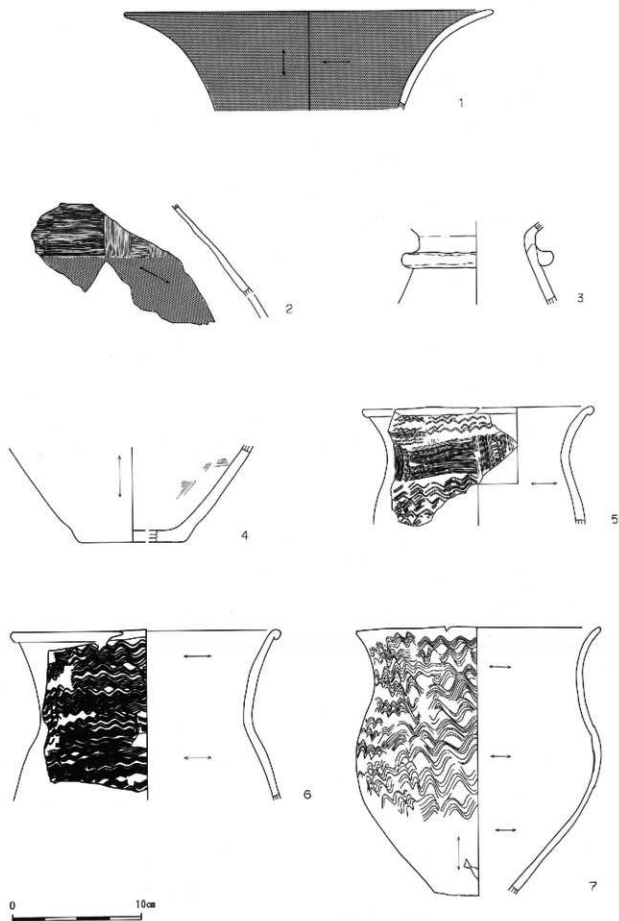
11



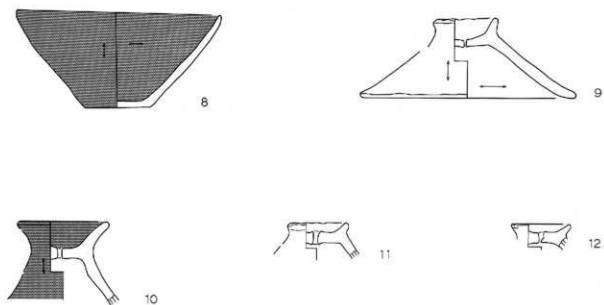
12



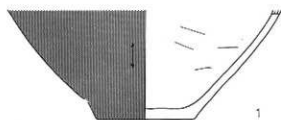
第 54 图 SB-40 遺物実測図(2)



第 55 图 SK-01 遺物実測図(1)

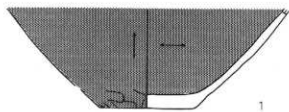


第 55 图 SK-01 遗物实测图(2)



第 56 图 SK-02 遗物实测图

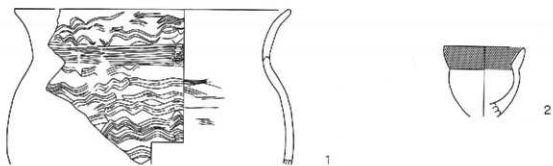




第 57 図 ピット遺物実測図

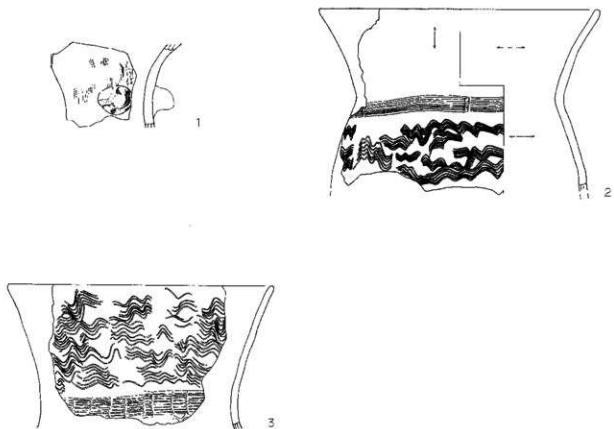


第 58 図 トレンチ-04 遺物実測図

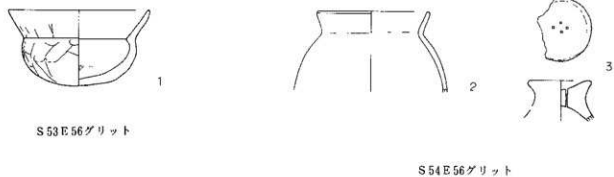


第 59 図 トレンチ-07 遺物実測図

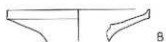
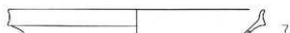




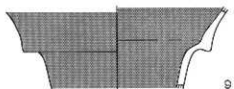
第 60 図 トレンチ-08 遺物実測図



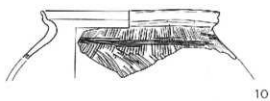
第 61 図 遺構外出土遺物実測図(1)



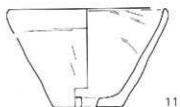
S 54 E 58 グリット



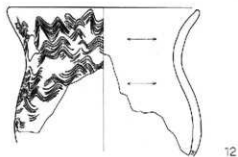
S 55 E 58 グリット



S 58 E 54 グリット



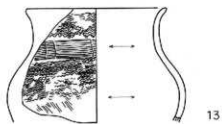
S 59 E 54 グリット



S 59 E 55 グリット

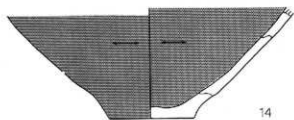


第 61 図 遺構外出土遺物実測図 (2)



13

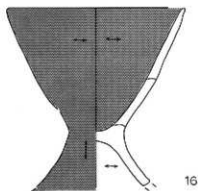
S62E57グリット



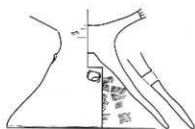
14



15



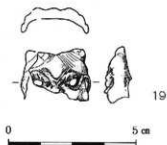
16



17



18



19



第 61 図 遺構外出土遺物実測図(3)

遺構NO 図版NO	器種 種類	法 残	量 存	器	質	成形・形態ほか	整 形 ほか
SB-16 1	壺	口径(13.2) 残高 5.0 底径 — 口縁部一部	1	胎; 雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (A) 5YR5/6 明赤褐 (H) 5YR5/4 におい赤褐		口縁部は大きく外反する	(A) ナデ(ヨコ、ナメ)の後 ヘラミガキ(タテ) (H) ヘラミガキ(ヨコ)
SB-16 2	壺	口径 — 残高 7.3 底径 9.8 胴部-膝	2	胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (A) 5YR4/3 におい赤褐 (H) 5YR5/8 明赤褐		平底より立ち上がる	(A) ヘラミガキ(タテ) (H) 剥落
SB-16 3	壺	口径 — 残高 4.1 底径 — 頸部一部	3	胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (A) 5YR5/6 明赤褐 (H) 5YR5/8 明赤褐			(A) 矢羽根状文を施す (H) ヘラミガキ
SB-16 4	壺	口径 — 残高 13.1 底径 11.9 胴部-膝	4	胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (A) 10R4/8 赤 (H) 2.5YR6/8 橙		平底より立ち上がり、胴部下 位で緩く外反する *床着	(A) ヘラミガキ(タテ) 赤色塗彩 (H) 剥落
SB-16 5	甕	口径 12.8 器高 15.9 底径 5.2 ほぼ完存	5	胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (A) 7.5YR4/3 褐 (H) 5YR5/4 におい赤褐		平底 胴部中位に最大径を有する 口径は胴部最大径より大きい *床着	(A) 波状文を下から上へ施す (H) 刷毛調整
SB-16 6	甕	口径 10.8 器高 14.1 底径 5.2 口部1/2-膝	6	胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (A) 5YR4/4 におい赤褐 (H) 7.5YR5/4 におい褐		平底より立ち上がり、胴部よ り緩やかに外反して口縁部に 至る 口径と胴部最大径は同 じ *床着	(A) 波状文を施す (H)
SB-16 7	甕	口径(14.8) 残高 12.2 底径 — 口部1/4-膝部	7	胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (A) 5YR5/6 明赤褐 (H) 5YR6/4 におい橙		緩やかに外反する	(A) 波状文、簾状文を施す (H) ヘラミガキ(ヨコ)
SB-16 8	甕	口径(22.0) 残高 4.0 底径 — 口縁部一部	8	胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (A) 7.5YR3/3 暗褐 (H) 7.5YR4/3 褐		口縁部を外側へ折り返す	(A) 波状文を下から上へ施す (H) ヘラミガキ(ヨコ)
SB-16 9	甕	口径(21.0) 器高 4.0 底径 — 口縁部一部	9	胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (A) 2.5YR3/2 暗赤褐 (H) 5YR3/6 暗赤褐		口縁部を外側へ折り返す	(A) 波状文を施す (H) ヘラミガキ(ヨコ)
SB-16 10	甕	口径 — 残高 2.4 底径 — 口縁部一部	10	胎; 雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (A) 10YR3/2 黒褐 (H) 10YR3/2 黒褐		口縁部を外側へ折り返す	(A) 波状文を施す (H)
SB-16 11	甕	口径 — 残高 3.0 底径 — 口縁部一部	11	胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (A) 7.5YR3/3 暗褐 (H) 7.5YR3/2 黒褐		口縁部を外側へ折り返す	(A) 波状文を施す (H)
SB-16 12	甕	口径 — 残高 1.9 底径 — 口縁部一部	12	胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (A) 2.5YR5/6 明赤褐 (H) 2.5YR5/6 明赤褐		口縁部を外側へ折り返す	(A) 波状文を施す (H)
SB-16 13	甕	口径 — 残高 2.2 底径 — 口縁部一部	13	胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (A) 7.5R2/3 暗赤褐 (H) 7.5R3/3 暗赤褐		口縁部を外側へ折り返す	(A) 波状文を施す (H) ヘラミガキ(ヨコ)
SB-16 14	甕	口径 — 残高 5.0 底径 — 口縁部一部	14	胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (A) 10YR5/4 におい黄褐 (H) 2.5YR5/6 明赤褐		口縁部を外側へ折り返す	(A) ヘラミガキ(ヨコ) (H)
SB-16 15	甕	口径 — 残高 6.4 底径 8.0 胴部-膝	15	胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (A) 10YR7/3 におい黄橙 (H) 10YR6/2 灰黄褐		平底より立ち上がる	(A) 刷毛調整(タテ) (H) 刷毛調整(ヨコ)

第3表 遺物観察表(1)

遺構NO 区版NO	器種 種類	法 残	量 存	器	質	成形・形態ほか	整 形 ほ か
SB-16 16	甕 弥生	口径 残高 底径 脚径	— 3.3 6.4 —	胎：石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(A) 7.5YR3/3 暗褐 (B) 7.5YR3/4 暗褐	平底より立ち上がり、少し外 反して胴部に移行する	(A) ヘラケズリ (タテ) ナデ (ヨコ) (B) ヘラケズリ (ヨコ)	
SB-16 17	甕 弥生	口径 残高 底径 脚径	— 7.5 8.0 —	胎：雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(A) 2.5YR4/4 におい赤褐 (B) 2.5YR4/6 赤褐	平底より立ち上がり、緩く丸 みを持った胴部へ移行する *床着	(A) ヘラケズリ (タテ) (B) ヘラケズリ (ナナメ) の後 ヘラケズリ (ヨコ)	
SB-16 18	高坏 弥生	口径(25.0) 残高 脚径	— 7.4 —	胎：石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(A) 10R4/6 赤 (B) 10R4/6 赤	坏部に緩い稜を有し、外反し て口縁部に至る 口縁部に突起を有する	(A) ヘラミガキ (ヨコ) 赤色塗彩 (B) ヘラミガキ (ヨコ) 赤色塗彩	
SB-16 19	高坏 弥生	口径(29.0) 残高 脚径	— 4.2 —	胎：石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(A) 5YR6/3 におい橙 (B) 10E5/8 赤	緩やかな坏部 口縁部端で外側に屈折する	(A) ヘラミガキ (ヨコ) 赤色塗彩	
SB-16 20	高坏 弥生	口径(22.5) 残高 脚径	— 4.5 —	胎：石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(A) 2.5YR3/4 暗赤褐 (B) 2.5YR4/4 におい赤褐	坏部に緩い稜を持ち、外反し て口縁部に至る	(A) ヘラミガキ (ヨコ) 赤色塗彩 (B) ヘラミガキ (ヨコ) 赤色塗彩	
SB-16 21	高坏 弥生	口径 残高 脚径	— 8.0 —	胎：石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(A) 10E3/6 暗赤色 (B) 5YR4/6 暗褐色	脚部に三角形の透かしを有す る	(A) ヘラミガキ (タテ) 赤色塗彩 (B) ヘラケズリ (ヨコ)	
SB-16 22	高坏 弥生	口径 残高 脚径	— 5.3 —	胎：石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(A) 2.5YR4/8 赤褐 (B) 2.5YR4/6 赤褐		(A) 脚部ヘラミガキ (タテ) 赤色塗彩 (B) 坏部赤色塗彩	
SB-16 23	深鉢 弥生	口径(11.8) 残高 底径	— 9.4 —	胎：石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(A) 10R4/8 赤 (B) 10R4/8 赤～2.5YR4/8 赤褐	丸みのある胴部より緩やかに 外反して口縁部に至る	(A) ヘラミガキ (タテ) 赤色塗彩 (B) ヘラミガキ (ヨコ) 口縁部赤色塗彩	
SB-16 24	深鉢 弥生	口径 残高 底径	— 4.3 —	胎：石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(A) 2.5YR3/4 暗赤褐 (B) 2.5YR4/4 におい赤褐	口縁部に直径2mmの孔を穿つ	(A) ヘラミガキ (タテ) 赤色塗彩 (B) ヘラミガキ (ヨコ) 赤色塗彩	
SB-16 25	鉢 弥生	口径(17.2) 残高 底径	— 7.0 —	胎：石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(A) 2.5YR4/6 赤褐 (B) 2.5YR4/6 赤褐	口器部に面取りを施す	(A) ヘラミガキ (タテ) 赤色塗彩 (B) ヘラミガキ (ヨコ) 赤色塗彩	
SB-16 26	鉢 弥生	口径(16.0) 残高 底径	— 6.9 —	胎：石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(A) 2.5YR4/8 赤褐 (B) 2.5YR4/8 赤褐	口縁部の先端で小さく内傾す る	(A) ヘラミガキ (ヨコ) 赤色塗彩 (B) ヘラミガキ (ヨコ、ナナメ) 赤色塗彩	
SB-16 27	蓋 弥生	抓み径 器高 脚径	6.5 9.1 19.8	胎：石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(A) 7.5YR4/2 灰褐～5YR4/6 赤褐 (B) 7.5YR4/3 褐～3/1 黒褐	抓み部から裾部にかけて外反 して大きく開く 天井部に1孔を穿つ *床着	(A) ヘラケズリ、ナデの後ヘラミ ガキ (タテ) (B) ヘラケズリ、ナデの後ヘラミ ガキ (ヨコ)	
SB-16 28	蓋 弥生	抓み径 器高 脚径	4.9 8.5 14.0	胎：石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(A) 5YR6/6 橙～10YR6/4 におい黄橙 (B) 5YR5/6 明赤褐～10YR3/2 黒褐	裾部は外反する 天井部に孔を刻む (未製品?)	(A) ヘラケズリ ナデ (B) ヘラケズリ	
SB-16 29	蓋 弥生	抓み径 残高 脚径	5.4 10.7 —	胎：石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(A) 7.5YR4/3 褐～4/2 灰褐 (B) 10YR3/2 黒褐	抓み部より緩やかに開く *床着	(A) ヘラケズリ、ナデの後ヘラミ ガキ (タテ) (B) ヘラケズリ、ナデの後ヘラミ ガキ (ヨコ)	
SB-16 30	ミニ チュア 弥生	口径 器高 底径	4.2 2.2 2.2	胎：石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(A) 5YR5/6 明赤褐 (B) 5YR5/6 明赤褐	手握ね 平底	(A) ナデ (B) ナデ	

第4表 遺物観察表(2)

遺物NO 図版NO	器種 種類	法 規	量 存	器 質	成形・形態ほか	整 形 ほ か
SB-17 1	壺 弥生	口径— 残高 25.5 底径 8.8 底部—頸部	胎;石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 2.5YR6/4 におい橙 (A) 2.5YR6/4 におい橙	質	胴部は球形状に張り、胴部最大径を下位にもつ *床着	(A) 頸部にT字文を施す 胴部ヘラミガキ(タテ、ヨコ) (B) 刷毛調整
SB-17 2	壺 弥生	口径— 残高 8.3 底径— 頸部一部	胎;石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 10R4/4 赤褐~5YR4/6 赤褐 (A) 5YR5/6 明赤褐	質		(A) 頸部にT字文を施す 9条の 横帯文を上から下へ施す ヘラミガキ(ヨコ) 赤色塗彩 (B) ハケナデ(ヨコ)
SB-17 3	壺 弥生	口径— 残高 8.0 底径— 胴部一部	胎;石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 2.5YR4/4 におい赤褐 (A) 5YR5/6 明赤褐	質	胴部最大径に線を有する	(A) 胴部上位ヘラミガキ(タテ) 胴部下位ヘラミガキ(ヨコ) 赤色塗彩 (B) ナデ(ヨコ)
SB-17 4	壺 弥生	口径— 残高 2.6 底径— 胴部一部	胎;石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 5YR4/6 赤褐 (A) 5YR5/6 明赤褐	質		(A) ボタン状貼付文を施す (B) ハケナデ(ヨコ)
SB-17 5	壺 弥生	口径— 残高 4.2 底径 6.0 底部 1/2	胎;石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 10R4/6 赤 (A) 10R4/6 赤	質	上げ底ぎみの底部	(A) ヘラミガキ(ヨコ) 赤色塗彩 (B) ヘラミガキ(ヨコ) 赤色塗彩
SB-17 6	壺 弥生	口径— 残高 3.6 底径(6.0) 胴-趾-部	胎;石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 2.5YR4/6 赤褐 (A) 5YR5/6 明赤褐	質		(A) ヘラミガキ(ヨコ) 赤色塗彩 (B) ヘラケズリ
SB-17 7	壺 弥生	口径— 残高 3.1 底径 5.2 底部 3/4	胎;石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 10R4/6 赤 (A) 2.5YR5/6 明赤褐	質	焼成後に底部に1孔を穿つ	(A) ヘラミガキ(タテ) 赤色塗彩 (B) ヘラケズリ ナデ
SB-17 8	壺 弥生	口径— 残高 3.7 底径(5.4) 胴-趾-部	胎;石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 2.5YR4/6 赤褐 (A) 2.5YR4/6 赤褐	質		(A) ヘラミガキ(タテ) 赤色塗彩 (B) ヘラミガキ(ヨコ) 赤色塗彩
SB-17 9	壺 弥生	口径— 残高 1.8 底径 4.2 底部	胎;石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 10R3/6 暗赤 (A) 10R3/6 暗赤	質		(A) ヘラミガキ(タテ) 赤色塗彩 (B) ヘラミガキ 赤色塗彩
SB-17 10	甕 弥生	口径(17.0) 残高 4.8 底径— 口縁部一部	胎;石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 5YR5/4 におい赤褐 (A) 5YR5/4 におい赤褐-10YR3/1 黒	質		(A) 5条1組の波状文を下から上へ施す (B) ヘラミガキ(ヨコ)
SB-17 11	甕 弥生	口径(15.8) 残高 3.8 底径— 口縁部一部	胎;石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 2.5YR2/3 極暗赤褐 (A) 2.5YR4/4 におい赤褐	質		(A) 波状文を上から下へ施す (B) ヘラミガキ(ヨコ)
SB-17 12	甕 弥生	口径(15.6) 残高 4.0 底径— 口縁部一部	胎;石英、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 5YR5/4 におい赤褐 (A) 5YR5/4 におい赤褐~5YR5/2 黒	質	口縁部の先端で小さく内寄する	(A) 波状文を下から上へ施す (B) ヘラミガキ(ヨコ)
SB-17 13	甕 弥生	口径— 残高 2.0 底径— 口縁部一部	胎;石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 5YR5/6 明赤褐 (A) 5YR4/6 赤褐	質	口縁部を外側へ折り返す	(A) (B)
SB-17 14	甕 弥生	口径— 残高 2.0 底径— 口縁部一部	胎;石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 10YR3/2 黒褐 (A) 7.5YR4/3 褐	質	口縁部を外側へ折り返す	(A) ナデ(ヨコ)の後ヘラミガキ (B) ナデ(ヨコ)
SB-17 15	甕 弥生	口径(21.7) 残高 5.7 底径— 胴-趾-部	胎;石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 5YR5/4 におい赤褐 (A) 7.5YR5/4 におい褐	質	頸部で強く外反し、口縁部を外側に折り返す	(A) 縦位の桑痕文を施す (B) ヘラケズリ(ヨコ)の後ナデ

第5表 遺物観察表(3)

遺構NO 図版NO	器種 種類	法 量 存	器	質	成形・形態ほか	整 形 ほ か
SB-17 16	甕 赤生	口径(14.6) 残高 2.9 底径 - 口径部一部	胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (A) 7.5Y2/1 黒 (B) 7.5YR5/4 に近い褐色		口縁部は外反する	(A) ヘラケズリ (B) ヘラケズリ ナデ
SB-17 17	甕 土師	口径(10.4) 残高 4.7 底径 - 口縁部一部	胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (A) 7.5YR4/3 褐 (B) 7.5YR3/1 黒褐		丸みのある胴部より外反して口縁部に至る	(A) 口縁部ナデ(ヨコ)、ヘラミガキ (B) ナデ(ヨコ) ヘラミガキ
SB-17 18	甕 土師	口径(19.3) 残高 5.8 底径 - 口縁部1/4	胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (A) 5YR3/2 暗赤褐 (B) 2.5YR5/6 明赤褐			(A) ヘラケズリ ナデ(ヨコ) (B) ヘラケズリ、ナデ(ヨコ)の後ヘラミガキ
SB-17 19	甕 土師	口径(17.0) 残高 3.2 底径 - 口縁部一部	胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (A) 2.5YR5/6 明赤褐 (B) 5YR5/4 に近い赤褐		口縁部の内側に稜を有して短く外反する	(A) ナデ(ヨコ) (B) ナデ(ヨコ)
SB-17 20	甕 土師	口径 - 残高 3.5 底径 - 口縁部一部	胎; 石英、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (A) 7.5YR4/3 褐 (B) 7.5YR4/3 褐			(A) 斜位の条痕文を施す (B) 刷毛調整(ヨコ)の後ヘラミガキ
SB-17 21	甕 土師	口径(20.6) 残高 3.2 底径 - 口縁部一部	胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (A) 5YR3/3 暗赤褐 (B) 5YR3/2 暗赤褐		口唇部に面取りを施す	(A) ナデ(ヨコ) (B) ナデ(ヨコ)
SB-17 22	甕 土師	口径(15.5) 残高 2.6 底径 - 口縁部一部	胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (A) 2.5YR5/6 明赤褐 (B) 2.5YR6/8 橙		口唇部に面取りを施す	(A) ナデ(ヨコ) (B) ナデ(ヨコ)
SB-17 23	甕 土師	口径(20.0) 残高 3.3 底径 - 口縁部一部	胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (A) 5YR6/6 橙 (B) 5YR6/6 橙		頸部より屈曲して口縁部に至る 口縁部の先端は弧み上げられ稜を有する	(A) ナデ(ヨコ) (B) ナデ(ヨコ)
SB-17 24	甕 土師	口径(12.3) 残高 1.7 底径 - 口縁部一部	胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (A) 7.5YR5/4 に近い褐色 (B) 7.5YR6/4 に近い橙		口唇部に面取りを施す	(A) ナデ(ヨコ) (B) ナデ(ヨコ)
SB-17 25	甕 土師	口径 - 残高 2.7 底径 - 口縁部一部	胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (A) 7.5YR4/3 褐 (B) 7.5YR5/6 明褐		口唇部に連続した刻み目を施す	(A) ナデ(ヨコ) (B) ナデ(ヨコ)
SB-17 26	台付甕 土師	口径(17.0) 残高 3.4 裾径 - 口縁部一部	胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (A) 2.5YR3/3 暗赤褐 (B) 2.5YR3/3 暗赤褐		S字状口縁	(A) 胴部刷毛調整 (B) ナデ(ヨコ)の後ヘラミガキ
SB-17 27	台付甕 土師	口径 - 残高 3.2 裾径 - 口縁部一部	胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (A) 10YR2/2 黒褐 (B) 10YR2/2 黒褐		S字状口縁	(A) 胴部刷毛調整 (B) ナデ(ヨコ)の後ヘラミガキ
SB-17 28	台付甕 土師	口径 - 残高 4.0 裾径 8.0	胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (A) 2.5YR4/6 赤褐 (B) 2.5YR4/6 赤褐		接合部より小さく外反して胴部に至る	(A) ヘラケズリの後ナデ (B) ヘラケズリの後ナデ
SB-17 29	甕 土師	口径 - 残高 4.7 底径 - 胴部一部	胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (A) 7.5YR2/2 黒褐 (B) 7.5YR3/3 暗褐			(A) 刷毛調整 (B) ヘラケズリ
SB-17 30	甕 土師	口径 - 残高 5.0 底径 - 胴部一部	胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (A) 7.5YR3/2 黒褐 (B) 7.5YR3/4 暗褐			(A) (B)

第6表 遺物観察表(4)

遺構NO 図版NO	器種 種類	法 残	量 存	器	質	成形・形態ほか	整 形 ほ か
SB-17 3 1	甕 土師	口径 残高 底径 胴部一部	— 5.6 — —	胎：石英、雲母、粗砂粒含む 焼：良好 色；(A) 7.5YR3/3 暗褐 (B) 10YR3/2 黒褐			(B) 刷毛調整 (A) ヘラケズリ
SB-17 3 2	甕 土師	口径 残高 底径 胴部一部	— 2.2 — —	胎：石英、雲母、粗砂粒含む 焼：良好 色；(A) 5YR4/6 赤褐 (B) 5YR4/6 赤褐			(B) 刷毛調整 (A) ナデ (ヨコ)
SB-17 3 3	甕 土師	口径 残高 底径 胴部一部	— 4.3 — —	胎：石英、雲母、粗砂粒含む 焼：良好 色；(A) 7.5YR3/3 暗褐 (B) 7.5YR4/6 褐			(B) 条痕文を施す (A) ナデ
SB-17 3 4	甕 土師	口径 残高 底径 胴部一部	— 4.1 — —	胎：石英、雲母、粗砂粒含む 焼：良好 色；(A) 5YR4/6 赤褐 (B) 5YR4/6 赤褐			(B) 条痕文を施す (A) ナデ
SB-17 3 5	甕 土師	口径 残高 底径 胴部一部	— 4.8 — —	胎：石英、雲母、粗砂粒含む 焼：良好 色；(A) 7.5YR3/3 暗褐 (B) 7.5YR3/2 黒褐			(B) 条痕文を施す (A) ナデ
SB-17 3 6	甕 土師	口径 残高 底径 胴部一部	— 6.5 — —	胎：石英、雲母、粗砂粒含む 焼：良好 色；(A) 2.5YR3/4 暗赤褐 (B) 2.5YR3/3 暗赤褐			(B) 刷毛調整 (A) ナデ
SB-17 3 7	高环 弥生	口径 残高 裾径 口縁部一部	— 2.4 — —	胎：石英、雲母、粗砂粒含む 焼：良好 色；(A) 10R3/4 暗赤 (B) 10R4/6 赤		口縁部に突起を有する	(B) ヘラミガキ (タテ) の後ヘラミガキ (ヨコ) 赤色塗彩 (A) ヘラミガキ (ヨコ) 赤色塗彩
SB-17 3 8	高环 弥生	口径 残高 裾径(17.2) 脚部 1/6	— 5.7 — —	胎：石英、雲母、粗砂粒含む 焼：良好 色；(A) 10R4/6 赤 (B) 5YR4/5 赤褐		緩やかに広がって裾部に至る	(B) ヘラミガキ (ヨコ) 赤色塗彩 (A) ヘラケズリ
SB-17 3 9	高环 土師	口径 残高 裾径 坏部 2/3	19.0 6.8 — —	胎：石英、雲母、粗砂粒含む 焼：良好 色；(A) 10R4/8 赤 2.5YR4/6 赤褐 (B) 10R4/8 赤 2.5YR4/6 赤褐		接合部より丸みをもって開き坏部に縁を有して外反して口縁部に至る	(B) 刷毛調整 赤色塗彩 (A) 刷毛調整の後ヘラミガキ (ヨコ、ナナメ) 赤色塗彩
SB-17 4 0	高环 土師	口径 残高 裾径 脚部 2/3	14.6 6.4 — —	胎：石英、雲母、粗砂粒含む 焼：良好 色；(A) 5YR5/6 明赤褐 (B) 5YR5/6 明赤褐		坏部に縁を有し、内弯してそのまま口縁部に至る	(B) ヘラミガキ (ヨコ) (A) ヘラミガキ (タテ)
SB-17 4 1	高环 土師	口径(15.4) 残高 裾径 口縁部一部	3.2 — — —	胎：石英、雲母、粗砂粒含む 焼：良好 色；(A) 2.5YR5/6 明赤褐 (B) 5YR6/6 橙		口縁部は縁を有して外反する	(B) ナデ (ヨコ) の後ヘラミガキ (A) ナデ (ヨコ) の後ヘラミガキ
SB-17 4 2	高环 土師	口径 残高 裾径 脚部 1/2	— 2.2 26.4 —	胎：石英、雲母、粗砂粒含む 焼：良好 色；(A) 7.5YR6/6 橙 (B) 7.5YR5/4 におい褐		脚部に円形の透かしを有する	(B) ヘラミガキ (タテ) (A) ヘラミガキ (ヨコ)
SB-17 4 3	高环 土師	口径 残高 裾径(10.0) 脚部一部	— 5.5 — —	胎：石英、雲母、粗砂粒含む 焼：良好 色；(A) 7.5YR5/4 におい褐 (B) 5YR5/4 におい赤褐		脚部に透かしを有する	(B) ヘラミガキ (タテ) (A) ヘラケズリ
SB-17 4 4	深鉢 弥生	口径(9.0) 残高 底径	3.9 — —	胎：石英、雲母、粗砂粒含む 焼：良好 色；(A) 2.5YR3/6 暗赤褐 (B) 5YR4/6 赤褐		胴部より緩やかに外反して口縁部に至る	(B) ヘラミガキ 赤色塗彩 (A) ヘラミガキ (ヨコ) 口縁部のみ赤色塗彩
SB-17 4 5	壺 土師	口径(13.2) 残高 底径 口縁部一部	4.5 — — —	胎：石英、雲母、粗砂粒含む 焼：良好 色；(A) 2.5YR5/6 明赤褐 (B) 2.5YR5/6 明赤褐		口縁部に脚状の突起を有する	(A) ヘラケズリの後ヘラミガキ (タテ、ヨコ) (B) ナデ (ヨコ) の後ヘラミガキ (ヨコ)

第7表 遺物観察表(5)

遺構NO 図版NO	器種 種類	法 残	量 存	器 質	成形・形態ほか	整 形 ほ か
SB-17 4 6	鉢 弥生	口径 - 残高 2.3 底径 - 口縁部一部	胎;雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 2.5YR3/6 暗赤褐 (B) 2.5YR3/6 暗赤褐		口縁部に1対の孔を有する	(A) ヘラミガキ(ヨコ) 赤色塗彩 (B) ヘラミガキ(ヨコ) 赤色塗彩
SB-17 4 7	鉢 弥生	口径(17.0) 残高 3.9 底径 - 口縁部一部	胎;石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 7.5YR6/6 橙 (B) 7.5YR6/4 におい橙		口縁部の先端で内湾する	(A) ヘラミガキ (B) ヘラミガキ(ヨコ)
SB-18 1	壺 弥生	口径 - 残高 13.6 底径 - 胴部一部	胎;石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 10R4/8 赤 (B) 5YR6/6 橙		焼成後、内側より削って1 孔を有する *床着	(A) ヘラミガキ(ヨコ) 赤色塗彩 (B) 刷毛調整(ナナメ)
SB-18 2	壺 弥生	口径 - 残高 8.6 底径 14.0 底部 3/4	胎;石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 10YR6/4 におい橙~5YR5/6 暗 (B) 5YR6/6 橙		平底	(A) (B) 剥落
SB-18 3	壺 弥生	口径 - 残高 13.4 底径(12.8) 胴-唇-号	胎;石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 5YR6/6 橙 ~ 10YR6/4 におい (B) 5YR6/6 橙 ~ 7.5YR4/1 藍		平底 *床着	(A) ヘラミガキ(タテ) (B)
SB-18 4	壺 弥生	口径 - 残高 10.0 底径 10.6 胴-唇-号	胎;石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 5YR5/6 明赤褐 (B) 7.5YR3/2 黒褐~5YR6/6 橙		平底 *床着	(A) ヘラケズリ (B) ヘラミガキ(タテ)
SB-18 5	甕 弥生	口径(24.2) 残高 23.8 底径 - 口1/3 胴1/2	胎;石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 7.5YR4/6 褐 (B) 5YR5/6 明赤褐		丸みの有る胴部より縁やか に外反して口縁部に至る 胴部最大径は口径より大きい	(A) 口縁部波状文を施す 頸部廣状文を施す (B) ナデ
SB-18 6	甕 弥生	口径 - 残高 26.6 底径 - 胴部一部	胎;石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 5YR5/4 におい赤褐 (B) 2.5YR5/8 明赤褐		胴部上位が強る *床着	(A) 波状文と櫛歯羽状文を施す (B) ナデ
SB-18 7	甕 弥生	口径(28.9) 残高 8.6 底径 - 口縁部一部	胎;石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 5YR6/6 橙 (B) 5YR6/6 橙		口縁部は縁く外反する	(A) ナデ(ヨコ) (B) ヘラミガキ(ヨコ)
SB-18 8	甕 弥生	口径 - 残高 2.7 底径 4.2 底部	胎;石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 10YR6/2 黒~7.5Y3/1 青-7 (B) 7.5YR7/4 におい橙		平底	(A) ヘラケズリ(タテ) (B) ナデ
SB-18 9	高环 弥生	口径(35.0) 残高 11.2 唇径 - 胴-唇-号	胎;石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 2.5YR3/6 暗赤褐 (B) 10R3/6 暗赤		口縁部で大きく外反する	(A) 赤色塗彩 (B) 赤色塗彩
SB-18 1 0	高环 弥生	口径(29.4) 残高 8.1 唇径 - 口縁部一部	胎;石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 2.5YR3/6 暗赤褐 (B) 10R3/6 暗赤		口縁部で大きく外反する	(A) ヘラミガキ 赤色塗彩 (B) ヘラミガキ 赤色塗彩
SB-18 1 1	高环 弥生	口径(22.5) 残高 10.0 唇径 - 环部一部	胎;石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 10R4/6 赤 ~ 7.5YR5/4 にお (B) 10R4/6 赤		环部は内湾し、口縁部で外 反する *床着	(A) ヘラミガキ(タテ) 赤色塗彩 (B) ヘラミガキ(ヨコ) 赤色塗彩
SB-18 1 2	高环 弥生	口径 - 残高 6.0 唇径 - 接合部	胎;石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 7.5R4/6 赤 (B) 7.5YR6/4 におい橙			(A) ヘラミガキ 赤色塗彩 (B) ヘラミガキ 环部赤色塗彩
SB-18 1 3	高环 弥生	口径 - 残高 4.6 唇径 - 接合部	胎;石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 7.5R4/6 赤 (B) 5YR5/4 におい赤褐			(A) 赤色塗彩 (B) 环部赤色塗彩

第 8 表 遺物観察表(6)

海構 NO 加版 NO	器種 種類	法 残	量 存	器	質	成形・形態ほか	整 形 ほ か
SB-18 1 4	深鉢 弥生	口径 残高 底径 胴部	— 2.8 — 一部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(A) 5YR5/6 明赤褐 (B) 5YR4/6 赤褐		胴部に1孔を穿つ	(A) (B)
SB-18 1 5	鉢 弥生	口径 残高 底径 底部	— 2.3 5.6 —	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(A) 10R4/8 赤 (B) 10R4/8 赤		平底	(A) 赤色塗彩 (B) 赤色塗彩
SB-18 1 6	蓋 弥生	口径(5.2) 残高 胴径 胴部	(5.2) 6.3 — 一部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(A) 7.5YR6/4 暗赤褐 (B) 5YR4/6 赤褐		ラッパ状に開く	(A) ヘラケズリ ナデ (B) ヘラケズリ ナデ
SB-19 1	壺 弥生	口径(19.3) 残高 底径 口縁部	(19.3) 9.0 — 1/3	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(A) 10R4/8 赤～7.5YR6/6 橙 (B) 10YR3/1 黒褐～5YR6/8 橙		口唇部に山型突起を有する	(A) ヘラミガキ(タテ) 赤色塗彩 (B) 刷毛調整の後ヘラミガキ
SB-19 2	壺 弥生	口径 残高 底径	— 15.0 —	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(A) 10R4/8 赤 (B) 10R4/6 赤		胴部より緩やかに外反して、 口縁部に向かう	(A) 頸部にT字文を施す ヘラミガキ 赤色塗彩 (B) 刷毛調整の後ヘラミガキ 赤色塗彩
SB-19 3	壺 弥生	口径 残高 底径 胴部～底部	— 43.8 12.5 —	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(A) 10R4/8 赤 (B) 10R4/8 赤～2.5YR5/6 紅褐		平底より立ち上がり胴部下位 で反る *床着	(A) 頸部にT字文を施す 赤色塗彩 (B) 刷毛調整 赤色塗彩
SB-19 4	壺 弥生	口径 残高 底径 胴部	— 5.2 — 一部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(A) 2.5YR4/6 赤褐 (B) 7.5YR4/6 褐		接合部より直線的に開く *土器敷き炉	(A) ヘラミガキ(タテ) 赤色塗彩 (B) ヘラミガキ(ヨコ) 剥落
SB-19 5	壺 弥生	口径(27.2) 残高 底径 口縁部	(27.2) 7.0 — 1/4	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(A) 10R4/6 赤 (B) 10R4/6 赤			(A) ヘラミガキ(タテ) 赤色塗彩 (B) ヘラミガキ(ヨコ) 赤色塗彩
SB-19 6	壺 弥生	口径 残高 底径 胴部	— 21.8 — —	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(A) 10R4/6 赤 (B) 2.5YR4/6 赤褐		広口の頸部 *床着	(A) ヘラミガキ(タテ) 赤色塗彩 (B) 刷毛調整 胴部赤色塗彩
SB-19 7	壺 弥生	口径 残高 底径 胴部	— 11.2 — 一部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(A) 2.5YR3/4 暗赤褐 (B) 5YR4/6 赤褐			(A) ヘラミガキ(ヨコ) 赤色塗彩 (B) ヘラケズリ(ヨコ)
SB-19 8	壺 弥生	口径 残高 底径 底部	— 5.8 8.2 —	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(A) 10R3/4 暗赤褐 (B) 5YR4/3 近い赤褐			(A) ヘラミガキ(タテ) 赤色塗彩 (B) ヘラケズリ
SB-19 9	壺 弥生	口径 残高 底径 底部	— 5.0 8.0 —	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(A) 10R3/4 暗赤 (B) 5YR4/6 赤褐			(A) ヘラミガキ(ヨコ) 赤色塗彩 (B) ヘラミガキ(ヨコ)
SB-19 1 0	壺 弥生	口径 残高 底径 底部	— 3.3 6.5 3/4	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(A) 10R4/8 赤 (B) 2.5YR4/2 灰赤			(A) ヘラミガキ(タテ) 赤色塗彩 (B) ヘラミガキ(ヨコ) 赤色塗彩
SB-19 1 1	壺 弥生	口径 残高 底径 底部	— 3.2 7.0 —	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(A) 7.5YR4/4 褐 (B) 5YR5/6 明赤褐			(A) ヘラミガキ(タテ) (B) ヘラミガキ(ヨコ)
SB-19 1 2	壺 弥生	口径 残高 底径 底部	— 4.2 5.6 —	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(A) 2.5YR3/3 暗赤褐 (B) 2.5YR3/1 暗赤灰			(A) ヘラケズリの後ヘラミガキ (B) ヘラケズリの後ヘラミガキ

第9表 遺物観察表(7)

遺物NO 図版NO	器種 種類	法 残	最 存	器	質	成形・形態ほか	整 形 ほ か
SB-19 1 3	壺 弥生	口径 残高 底径	— 3.2 7.2	胎;石英、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 2.5YR5/4 におい赤褐 (R) 2.5YR5/6 明赤褐	平底	(A) ヘラケズリ (タテ) (R) ヘラケズリの後ヘラミガキ	
SB-19 1 4	壺 弥生	口径 残高 底径	— 4.6 (7.0)	胎;石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 5YR4/6 赤褐 (R) 5YR5/4 におい赤褐	平底	(A) ヘラミガキ (タテ) (R) ヘラミガキ (タテ)	
SB-19 1 5	壺 弥生	口径 残高 底径	— 4.1 5.0	胎;石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 10R4/6 赤 (R) 10R4/6 赤		(A) ヘラミガキ (タテ) (R) 赤色塗彩 (R) ヘラミガキ (ヨコ、ナナメ) (R) 赤色塗彩	
SB-19 1 6	壺 弥生	口径 残高 底径	— 2.4 8.0	胎;石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 10YR5/3 におい黄褐 (R) 5YR5/6 明赤褐	平底	(A) ヘラケズリ (R) 底部ナデの後ヘラケズリ	
SB-19 1 7	壺 弥生	口径 残高 底径	— 1.6 7.6	胎;石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 10R4/6 赤 (R) 10R4/6 赤		(A) ヘラミガキ (タテ) (R) 赤色塗彩 (R) ヘラミガキ (ヨコ) (R) 赤色塗彩	
SB-19 1 8	壺 弥生	口径 残高 底径	— 2.1 5.7	胎;石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 2.5YR3/6 暗赤褐 (R) 2.5YR5/4 におい赤褐		(A) ヘラミガキ (タテ) (R) 赤色塗彩 (R) ナデ	
SB-19 1 9	壺 弥生	口径 残高 底径	— 2.5 8.0	胎;石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 2.5YR4/6 赤褐 (R) 2.5YR4/6 赤褐	平底 P 8 から出土	(A) ヘラケズリの後ヘラミガキ (R) ヘラケズリの後ヘラミガキ	
SB-19 2 0	壺 弥生	口径 残高 底径	— 6.5 (7.4)	胎;石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 5YR4/4 におい赤褐 (R) 7.5YR5/4 におい褐	平底	(A) ヘラミガキ (タテ) (R) ヘラミガキ (ヨコ)	
SB-19 2 1	壺 弥生	口径 残高 底径	— 3.0 —	胎;石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 5YR4/4 におい赤褐 (R) 5YR4/4 におい赤褐	罫を巻き付けている	(A) (R)	
SB-19 2 2	甕 弥生	口径 器高 底径	14.4 16.8 (6.4)	胎;石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 5YR3/2 暗赤褐 (R) 5YR4/4 におい赤褐	丸みのある胴部より緩やかに 外反して、口縁部に至る 口径は胴部最大径より大きい P 2 から出土	(A) 頸部に2連止めの簾状文を施す 波状文を口縁部は下から上へ、胴部は上から下へ施す (R)	
SB-19 2 3	甕 弥生	口径(19.4) 残高 底径	16.0 16.0 —	胎;石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 7.5YR4/3 褐 (R) 2.5YR4/6 暗-10YR6/3 におい暗	口縁部で緩やかに外反する	(A) 頸部に簾状文の後、口縁部と 胴部に波状文を施す (R) 精緻なヘラミガキ (ヨコ)	
SB-19 2 4	甕 弥生	口径(14.7) 残高 底径	14.0 14.0 —	胎;石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 10YR5/3 におい黄褐 (R) 5YR5/4 におい赤褐	胴部より緩やかに外反して、 口縁部に至る 口径は胴部最大径より大きい (R)	(A) 簾状文の後、波状文を口縁部 は下から上へ、胴部は上から 下へ施す (R)	
SB-19 2 5	甕 弥生	口径(20.0) 残高 底径	9.4 9.4 —	胎;石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 7.5YR3/2 黒褐 (R) 7.5YR4/4 褐	口縁部で緩やかに外反する	(A) 2連止めの簾状文、波状文を 施す (R) ヘラミガキ (ヨコ)	
SB-19 2 6	甕 弥生	口径(16.0) 残高 底径	4.7 4.7 —	胎;石英、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 5YR6/6 橙 (R) 2.5YR5/6 明赤褐	丸みのある胴部より緩やかに外 反して、口縁部に至る	(A) 波状文、簾状文を施す (R) ヘラミガキ (ヨコ)	
SB-19 2 7	甕 弥生	口径 残高 底径	— 8.4 —	胎;石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 7.5YR3/4 暗褐 (R) 7.5YR4/6 褐		(A) 波状文、簾状文を施す (R) ヘラミガキ (ヨコ)	

第 10 表 遺物観察表 (8)

遺構 NO 図版 NO	器種 種類	法 残	量 存	器	質	成形・形態ほか	整形 形 ほか
SB-19 2 8	甕 弥生	口径(12.3) 残高 8.5 底径 — 口縁部一部	胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (R) 7.5YR5/6 明褐 (R) 5YR4/6 赤褐	丸みのある胴部より強く外反して口縁部に至る		(R) 簾状文と波状文を施す (R)	
SB-19 2 9	甕 弥生	口径 15.4 残高 11.4 底径 — 口縁部3/4	胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (R) 5YR5/3 に近い赤褐 (R) 2.5YR6/6 橙	緩やかに外反する		(R) 波状文の後頸部に簾状文を施す (R) ヘラミガキ ヘラケズリ	
SB-19 3 0	甕 弥生	口径(10.4) 残高 5.7 底径 — 口縁部一部	胎; 雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (R) 5YR5/4 に近い赤褐 (R) 5YR2/1 黒褐	胴部は強く張る		(R) 胴部に波状文を施した後簾状文を施し口縁部に波状文を施す ボタン状の貼付文を施す (R) ヘラミガキ (ヨコ)	
SB-19 3 1	甕 弥生	口径 — 残高 16.0 底径 — 胴部一部	胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (R) 5YR6/8 橙 (R) 5YR5/6 明赤褐	胴部より緩やかに外反する		(R) 簾状文と波状文を施す (R) ヘラミガキ (ヨコ)	
SB-19 3 2	甕 弥生	口径 — 残高 8.0 底径 — 胴部一部	胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (R) 2.5YR5/6 明赤褐 (R) 5YR4/1 褐灰			(R) 波状文を施す 胴部下位刷毛調整 (R) ヘラミガキ	
SB-19 3 3	甕 弥生	口径 — 残高 14.5 底径 — 胴部一部	胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (R) 7.5YR2/1 R-5YR7/4 に近い (R) 2.5YR6/6 橙	緩やかに外反する		(R) 波状文を施す (R) ヘラミガキ (ヨコ)	
SB-19 3 4	甕 弥生	口径 — 残高 22.3 底径 8.6 胴部一部	胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (R) 5YR4/4 に近い赤褐 (R) 5YR4/6 赤褐	丸みのある胴部		(R) 櫛指文による文様を施す (R) ヘラミガキ (ナナメ)	
SB-19 3 5	甕 弥生	口径(33.8) 残高 20.5 底径 — 口縁部一部	胎; 雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (R) 5YR5/4 に近い赤褐 (R) 5YR6/6 橙	丸みのある胴部より、緩やかに外反して口縁部に至る 口縁は胴部最大径より小さい		(R) 櫛指文による格子状の文様を施す (R) ヘラミガキ (ヨコ) 胴部刷毛調整	
SB-19 3 6	甕 弥生	口径(33.0) 残高 12.5 底径 — 口縁部一部	胎; 石英、雲母、粗砂粒僅かに含む 焼; 良好 色; (R) 7.5YR5/3 に近い R-7.5YR7/1 R (R) 5YR6/6 R-5YR3/1 黒	口縁部は開く		(R) 櫛指文による格子状の文様を施す (R) ヘラミガキ (ヨコ)	
SB-19 3 7	甕 弥生	口径 — 残高 5.2 底径 — 口縁部一部	胎; 石英、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (R) 2.5YR4/4 に近い赤褐 (R) 2.5YR3/3 暗赤褐			(R) 刷毛調整 (R) 刷毛調整	
SB-19 3 8	甕 弥生	口径 — 残高 7.8 底径 — 口縁部一部	胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (R) 5YR5/4 に近い赤褐 (R) 5YR3/2 暗赤褐			(R) 櫛指文による格子状の文様を施す (R) ヘラミガキ (ヨコ)	
SB-19 3 9	甕 弥生	口径 — 残高 2.2 底径 — 口縁部一部	胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (R) 5YR5/6 明赤褐 (R) 5YR5/6 明赤褐	口縁部を折り返して作る		(R) (R)	
SB-19 4 0	甕 弥生	口径 — 残高 1.8 底径 — 口縁部一部	胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (R) 10YR4/2 灰黄褐 (R) 5YR5/6 明赤褐	口縁部を折り返して作る		(R) (R)	
SB-19 4 1	甕 弥生	口径 — 残高 4.5 底径 7.0 底部	胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (R) 2.5YR4/4 に近い赤褐 (R) 2.5YR6/6 R-2.5YR4/4 に近い			(R) ヘラケズリ (R) ヘラケズリ ナデ ヘラミガキ	
SB-19 4 2	高坏 弥生	口径(19.5) 残高 3.0 柄径 — 口縁部一部	胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (R) 2.5YR3/6 暗赤褐 (R) 2.5YR3/6 暗赤褐	口縁部端が屈折する		(R) ヘラミガキ (タテ) (R) ヘラミガキ (ヨコ)	

第 11 表 遺物観察表(9)

遺構 NO 図版 NO	器種 種類	法 残	量 存	器 質	成形・形態ほか	整 形 ほか
SB-19 4 3	高坏 弥生	口径 残高 裾径 接合部	— 3.0 — —	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(A) 7.5YR6/4 に近い橙 (A) 10YR6/4 に近い黄橙	坯底部を突出させて脚部に 接合する	(A) 赤色塗彩 (A)
SB-19 4 4	高坏 弥生	口径 残高 裾径 接合部	— 4.5 — —	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(A) 2.5YR5/6 明赤褐 (A) 7.5YR6/6 橙～2.5YR6/8 橙	接合部より緩やかに開く	(A) (A) 脚部ヘラケズリ
SB-19 4 5	高坏 弥生	口径 残高 裾径 脚部一部	— 7.5 — —	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(A) 10R4/8 赤 (A) 10R5/6 赤～2.5YR5/6 明赤褐	接合部より直線的に開く	(A) ヘラミガキ (タテ) 赤色塗彩 (A) ヘラミガキ 赤色塗彩
SB-19 4 6	高坏 弥生	口径 残高 裾径 脚部一部	— 6.4 — —	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(A) 2.5YR4/6 赤褐 (A) 2.5YR3/6 暗赤褐～2.5YR5/6 黒	接合部より直線的に開く	(A) ヘラミガキ (タテ) 赤色塗彩 (A) 脚部ヘラケズリ 坯部赤色塗彩
SB-19 4 7	高坏 弥生	口径 残高 裾径 脚部一部	— 5.7 — —	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(A) 2.5YR3/6 暗赤褐 (A) 2.5YR4/6 黒～2.5YR5/6 黒	接合部より緩やかに開く	(A) ヘラミガキ (タテ) 赤色塗彩 (A) 坯部剥落
SB-19 4 8	高坏 弥生	口径 残高 裾径 脚部一部	— 6.8 — —	胎；雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(A) 10R4/6 赤 (A) 5YR5/4 に近い赤褐	接合部より直線的に開く	(A) ヘラミガキ (タテ) 赤色塗彩 (A) ヘラケズリ ナデ
SB-19 4 9	高坏 弥生	口径 残高 裾径 接合部	— 4.0 — —	胎；石英、粗砂粒含む 焼；良好 色；(A) 10R4/6 赤 (A) 5YR5/4 に近い赤褐	坯底部を突出させて脚部に 接合する	(A) ヘラミガキ (タテ) 赤色塗彩 (A) ヘラミガキ 坯部赤色塗彩
SB-19 5 0	高坏 弥生	口径 残高 裾径 脚部一部	— 7.0 — —	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(A) 10R4/6 赤 (A) 10R4/6 赤～5YR6/4 に近い橙	接合部より直線的に開く	(A) 脚部ヘラミガキ 赤色塗彩 (A) 脚部ヘラケズリ 坯部ヘラミ ガキ (タテ) 坯部赤色塗彩
SB-19 5 1	高坏 弥生	口径 残高 裾径 脚部一部	— 6.5 — —	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(A) 10R4/6 赤 (A) 10R4/6 赤	坯底部を突出させて脚部に 接合する	(A) ヘラミガキ 赤色塗彩 (A) 坯部ヘラミガキ 赤色塗彩
SB-19 5 2	高坏 弥生	口径 残高 裾径 接合部	— 3.3 — —	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(A) 10R4/6 赤 (A) 10R4/6 赤～2.5YR5/6 明赤褐	坯底部を突出させて脚部接 合する	(A) ヘラミガキ 赤色塗彩 (A) 坯部剥落、赤色塗彩
SB-19 5 3	高坏 弥生	口径 残高 裾径 接合部	— 3.5 — 1/2	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(A) 10R4/4 赤褐 (A) 10R4/4 赤褐	脚部を坯部に埋め込んで接 合 する	(A) ヘラミガキ (タテ) 赤色塗彩 (A) 坯部ヘラミガキ 脚部ヘラケズリ 赤色塗彩
SB-19 5 4	高坏 弥生	口径 残高 裾径 接合部	— 3.3 — —	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(A) 5YR5/6 明赤褐 (A) 5YR3/2 暗赤褐	接合部より開く	(A) ヘラミガキ (A) 坯部刷毛調整の後ヘラミガキ
SB-19 5 5	高坏 弥生	口径 残高 裾径 接合部	— 3.5 — —	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(A) 2.5YR4/6 赤褐 (A) 5YR3/1 黒褐	脚部の破断面を擦って整形 する	(A) ヘラミガキ 赤色塗彩 (A) 坯部赤色塗彩
SB-19 5 6	高坏 弥生	口径 残高 裾径 脚部一部	— 5.1 — —	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(A) 7.5YR5/6 明褐 (A) 5YR4/4 に近い赤褐	直線的に開いて脚部に至る	(A) ヘラミガキ (タテ) (A) ヘラケズリ
SB-19 5 7	高坏 弥生	口径 残高 裾径 脚部一部	— 9.0 — —	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(A) 7.5R4/6 赤 (A) 2.5YR5/6 明赤褐	直線的に開く	(A) ヘラミガキ (タテ) 赤色塗彩 (A) 刷毛調整

第 12 表 遺物観察表 (10)

遺構 NO 図版 NO	器種 種類	法 残	量 存	器 質	成形・形態ほか	整 形 ほか
SB-19 5 8	高坏 弥生	口径— 残高 5.4 裾径— 脚部一部	胎;石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 10R4/6 赤 (A) 2.5YR4/8 赤褐	黄	接合部より直線的に開く	(A) ヘラミガキ(タテ) 赤色塗彩 (A) ヘラケズリ
SB-19 5 9	高坏 弥生	口径— 残高 9.6 裾径(17.0) 脚部 1/4	胎;石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 10R4/6 赤 (A) 2.5YR5/6 明赤褐	黄	裾部の先端で緩やかに反する	(A) 脚部ヘラミガキ(タテ) 裾部ヘラミガキ(ヨコ) 赤色塗彩 (A) 刷毛調整
SB-19 6 0	深鉢 弥生	口径(18.2) 残高 14.6 底径— 口縁部—	胎;石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 10R4/8 赤 (A) 5YR5/8 明赤褐	黄	口縁部に 2 孔を有する	(A) 頸部に鱗状文を施す 赤色塗彩 (A) 口縁部赤色塗彩
SB-19 6 1	鉢 弥生	口径(7.7) 器高 11.6 底径 3.8 口縁部 1/3	胎;石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 10YR6/4 にぶい黄橙 (A) 10YR6/4 にぶい黄橙	黄	平底より立ち上がり、筒状の 胴部より口縁部に至る	(A) ヘラミガキ(タテ) (A) ナデ(ヨコ)
SB-19 6 2	鉢 弥生	口径 11.0 器高 6.5 底径 3.4 口縁部 2/4	胎;石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 10R4/6 赤 (A) 10R4/6 赤	黄	平底より立ち上がり、やや丸 みをもって開き口縁部に至る	(A) ヘラミガキ(タテ) 赤色塗彩 (A) ヘラミガキ(ヨコ) 赤色塗彩
SB-19 6 3	鉢 弥生	口径 9.2 器高 5.5 底径 3.8 口縁部 2/3	胎;石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 2.5YR5/8 暗赤褐 (A) 10R4/6 赤	黄	平底より立ち上がり、直線的 に開いて口縁部に至る	(A) ヘラミガキ(タテ) 赤色塗彩 (A) ヘラミガキ(ヨコ) *ベンガラ付着 赤色塗彩
SB-19 6 4	鉢 弥生	口径(24.6) 残高 9.5 底径— 口縁部—	胎;石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 7.5YR4/2 灰褐 (A) 5YR5/6 明赤褐	黄	内寄ぎみに開いて口縁部に至 る	(A) 口縁部ヘラミガキ(ヨコ) 体部ヘラミガキ(タテ) (A) ヘラミガキ(ヨコ)
SB-19 6 5	鉢 弥生	口径(12.3) 残高 4.7 底径— 口縁部 1/4	胎;石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 10R4/6 赤 (A) 10R4/4 赤褐	黄	内寄して開いて口縁部に至る	(A) ヘラミガキ(タテ) 赤色塗彩 (A) ヘラミガキ(ヨコ) 赤色塗彩
SB-19 6 6	鉢 弥生	口径(18.2) 残高 7.1 底径— 口縁部—	胎;石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 2.5YR4/6 赤褐 (A) 2.5YR3/4 暗赤褐	黄	内寄ぎみに開いて口縁部に至 る	(A) ヘラミガキ(タテ) 赤色塗彩 (A) ヘラミガキ(ヨコ) 赤色塗彩
SB-19 6 7	鉢 弥生	口径(16.6) 残高 7.0 底径— 口縁部—	胎;石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 10R4/8 赤 (A) 10R4/8 赤	黄	丸みをもって開き口縁部に至 る	(A) ヘラミガキ(ヨコ) 赤色塗彩 (A) ヘラミガキ(ヨコ) 赤色塗彩
SB-19 6 8	甌 弥生	口径— 残高 6.5 底径 5.2 底部 1/2	胎;石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 2.5YR4/4 にぶい赤褐 (A) 2.5YR4/8 赤褐	黄	底部に 1 孔を穿つ	(A) ヘラミガキ(タテ) (A) ヘラミガキ(ヨコ)
SB-19 6 9	甌 弥生	口径— 残高 3.2 底径 6.0 底部	胎;石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 5YR5/4 にぶい赤褐 (A) 5YR5/6 明赤褐	黄	底部に 1 孔を穿つ	(A) ヘラミガキ(タテ) (A) ヘラミガキ(ヨコ)
SB-19 7 0	蓋 弥生	鉢径(6.8) 残高 4.4 裾径— 抓み部一部	胎;石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 10R4/4 赤褐 (A) 10R4/4 赤褐	黄		(A) ヘラケズリ後ヘラミガキ 赤色塗彩 (A) ヘラミガキ 赤色塗彩
SB-19 7 1	蓋 弥生	抓み径 5.4 残高 4.3 裾径— 抓み部一部	胎;石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 2.5YR4/6 赤褐 (A) 5YR5/6 明赤褐	黄		(A) ヘラミガキ(タテ) 赤色塗彩 (A) ヘラケズリ ナデ
SB-19 7 2	蓋 弥生	抓み径— 残高 4.2 裾径— 抓み部一部	胎;石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 7.5YR4/4 褐 (A) 7.5YR3/2 黒褐	黄	天井部に 1 孔を穿つ	(A) ヘラケズリ

第 13 表 遺物観察表(11)

遺構 NO 図版 NO	器種 種類	法 残	量 存	質	成形・形態ほか	整 形 ほ か
SB-19 7 3	甌 弥生	胎径 (5.0) 残高 2.5 幅径 一 乳み部一部		胎; 石英、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (A) 10B4/6 灰 (B) 2.5YR4/2 灰赤	天井部に 1 孔を穿つ	(A) ヘラミガキ 赤色塗彩 (B)
SB-19 7 4	甌 弥生	乳み径 5.0 残高 6.2 胎径 一 胎径-幅径		胎; 石英、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (A) 2.5YR5/6 暗赤-10YR6/3 に近い (B) 10YR6/3 に近い-10YR4/1 類	天井部に 1 孔を穿つ	(A) (B)
SB-19 7 5	土製 円盤 弥生	厚さ 0.7 半径 2.2 重さ 17.4 完存		胎; 石英、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (A) 2.5YR4/6 赤褐 (B) 2.5YR4/6 赤褐	壺等の破片を削って作る	(E) ヘラミガキ 赤色塗彩 (B) ヘラミガキ 赤色塗彩
SB-20 1	壺 土師	口径(19.4) 残高 1.7 底径 一 口縁部一部		胎; 石英、黒雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (A) 7.5YR6/4 に近い-7.5YR5/6 暗 (B) 7.5YR5/4 に近い褐	口縁部に段を有する	(A) 口縁部にボタン状付文を連続して施す (B)
SB-20 2	壺 土師	口径(17.2) 残高 1.1 底径 一 口縁部一部		胎; 石英、黒雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (A) 5YR6/6 橙 (B) 5YR6/6 橙	口縁部に段を有する	(A) 口縁部に波状文を施した後、連続刺突文を施す (B)
SB-20 3	壺 土師	口径 一 残高 2.1 底径 一 口縁部一部		胎; 石英、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (A) 5YR6/6 橙 (B) 5YR6/6 橙	口縁部に段を有する	(A) 口縁部にボタン状付文を連続して施す (B)
SB-20 4	壺 土師	口径 一 残高 3.5 底径 一 胴部一部		胎; 石英、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (A) 7.5YR7/6 橙-7.5YR6/6 橙 (B) 7.5YR6/4 に近い橙	張りのある胴部、頸部に刻み目を施した突帯が巡る	(A) (B) 剥落
SB-20 5	壺 土師	口径 一 残高 7.5 底径 一 胴部 1/2		胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (A) 5YR5/6 明赤褐 (B) 7.5YR5/4 に近い褐	胴部は強く張る	(A) (B) ヘラクスリ
SB-20 6	壺 土師	口径 11.2 残高 6.6 底径 一 胎径-幅径		胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (A) 7.5B4/6 赤 (B) 10B3/6 暗赤	口縁部に面取りを施す	(A) ヘラミガキ (タテ) 赤色塗彩 (B) ヘラミガキ (ヨコ) 赤色塗彩
SB-20 7	壺 弥生	口径 一 残高 6.4 底径 5.2 底部		胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (A) 2.5YR4/6 赤褐 (B) 7.5YR3/3 暗褐	平底より立ち上がり、やや丸みを持った胴部に移行する *床着	(A) ヘラミガキ (ヨコ) (B) ヘラミガキ (タテ)
SB-20 8	壺 弥生	口径 一 残高 2.4 底径(12.4) 底部一部		胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (A) 5YR5/6 明赤褐 (B) 2.5YR5/6 明赤褐	平底	(A) ヘラミガキ (タテ) (B) ナデ
SB-20 9	甌 弥生	口径 一 残高 5.8 底径 一 胴部一部		胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (A) 7.5YR3/2 黒褐 (B) 7.5YR3/3 暗褐	胴部から口縁部にかけて緩やかに外反する	(A) 刺毛調整、波状文を施す 下釘 (B) ヘラクスリの後ヘラミガキ (ヨコ)
SB-20 1 0	甌 弥生	口径 一 残高 2.0 底径 一 口縁部一部		胎; 黒雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (A) 10YR5/3 に近い橙 (B) 10YR5/3 に近い橙	口縁部を外側に折り返す	(A) 口縁部に波状文を施す (B)
SB-20 1 1	甌 土師	口径(16.2) 残高 17.8 底径 一 胎径-幅径		胎; 雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (A) 7.5YR5/4 に近い-7.5YR4/3 褐 (B) 7.5YR6/6 赤-7.5YR5/4 に近い	張りのない胴部より緩やかに外反して、口縁部に至る	(A) 刺毛調整 (B) ヘラクスリ
SB-20 1 2	甌 土師	口径(14.2) 残高 7.5 底径 一 胎径-幅径 1/4		胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (A) 5YR6/6 橙 (B) 5YR6/6 橙	張りのある胴部より外反して口縁部に至る	(A) 刺毛調整 (B) 刺毛調整

第 14 表 遺物観察表 (12)

遺構 No 図版 No	器種 種類	法 式	量 存	器 質	成形・形態ほか	整形 形態ほか
SB-20 13	甕 土師	口径— 残高 3.2 底径— 口縁部一部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(R) 2.5YR3/3 暗赤褐 (R) 5YR3/3 明赤褐		胴部より強く外反して口縁部 に至る	(R) ナデ (ヨコ) (R) ナデ (ヨコ)
SB-20 14	甕 土師	口径(13.8) 残高 3.7 底径— 口縁部一部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(R) 5YR4/8 赤褐 (R) 5YR5/6 明赤褐		口縁部は外反する	(R) ナデ (ヨコ) (R) ナデ (ヨコ)
SB-20 15	甕 土師	口径(14.8) 残高 2.5 底径— 口縁部一部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(R) 7.5YR5/3 にふい褐 (R) 7.5YR5/4 にふい褐		口縁部に段を有する	(R) ナデ (ヨコ) (R)
SB-20 16	甕 土師	口径(15.0) 残高 2.6 底径— 口縁部一部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(R) 7.5YR3/1 黒褐 (R) 5YR5/6 明赤褐		口縁部に段を有する	(R) ナデ (ヨコ) (R) ナデ (ヨコ)
SB-20 17	甕 土師	口径(15.0) 残高 2.9 底径— 口縁部一部	胎；雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(R) 2.5Y3/1 黒褐 (R) 2.5Y2/1 黒		口縁部は外反する	(R) ナデ (ヨコ) (R) ナデ (ヨコ)
SB-20 18	甕 土師	口径(11.4) 残高 2.5 底径— 口縁部一部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(R) 7.5YR5/4 にふい褐 (R) 7.5YR5/6 明褐		口縁部に段を有する	(R) ナデ (ヨコ) (R) ナデ (ヨコ)
SB-20 19	甕 土師	口径(19.6) 残高 5.0 底径— 口縁部 1/4	胎；石英、粗砂粒含む 焼；良好 色；(R) 5YR5/6 明赤褐 (R) 5YR5/6 明赤褐		丸みのある胴部より屈曲して 外反し口縁部に至る 口唇部に面取りを施す	(R) 刷毛調整 (R) ナデ (ヨコ)
SB-20 20	甕 土師	口径(16.8) 残高 2.5 底径— 口縁部一部	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(R) 2.5YR5/6 明赤褐 (R) 2.5YR5/6 明赤褐		口唇部に面取りを施す	(R) 刷毛調整 (R)
SB-20 21	甕 土師	口径(19.5) 残高 3.3 底径— 口縁部 1/4	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(R) 7.5YR4/6 褐 (R) 7.5YR5/6 明褐		屈曲して外反する口縁部 口唇部に面取りを施す	(R) ナデ (ヨコ) (R) ナデ (ヨコ)
SB-20 22	甕 土師	口径(11.6) 残高 2.9 底径— 口縁部一部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(R) 5YR4/6 赤褐 (R) 7.5YR4/6 褐		内側に段を有して強く外反す る 口唇部に面取りを施す	(R) (R)
SB-20 23	甕 土師	口径(20.6) 残高 3.5 底径— 口縁部一部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(R) 2.5YR5/8 明赤褐 (R) 5YR4/6 赤褐		口縁部は強く外反する 口唇部に面取りを施す	(R) ナデ (ヨコ) (R) ナデ (ヨコ)
SB-20 24	甕 土師	口径(14.1) 残高 3.6 底径— 口縁部一部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(R) 2.5YR5/6 明赤褐 (R) 2.5YR6/4 にふい褐		張りのある胴部より屈曲して 外反し口縁部に至る 口唇部に面取りを施す	(R) (R)
SB-20 25	甕 土師	口径— 残高 2.7 底径— 口縁部一部	胎；粗砂粒、礫を含む 焼；良好 色；(R) 7.5YR4/4 褐 (R) 7.5YR5/4 にふい褐		口縁部は折り返す	(R) (R)
SB-20 26	甕 土師	口径— 残高 6.6 底径— 胴部一部	胎；石英、粗砂粒含む 焼；良好 色；(R) 7.5YR5/3 にふい褐-7.5YR3/1 黒 (R) 7.5YR6/3 にふい褐			(R) 乗積文を施す (R) ヘラミガキ
SB-20 27	高坏 赤生	口径(14.6) 残高 2.5 底径— 口縁部一部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(R) 2.5YR4/4 にふい赤褐 (R) 5YR6/6 橙		坏部に段を有し、屈曲して外 反する口縁部に至る	(R) ヘラミガキ (ヨコ) 赤色塗彩 (R) ヘラミガキ (ヨコ) 赤色塗彩

第 15 表 遺物観察表 (13)

通稱NO 図版NO	器種 種類	法 残	量 存	器	買	成形・形態ほか	整	形 ほか
SB-20 28	高環 弥生	口径— 残高 5.4 裾径— 環部一部	—	胎：石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(A) 5YR6/4 に近い橙 (A) 5YR6/4 に近い橙		接合部より丸みを持って開く		(A)
								(A)
SB-20 29	高環 弥生	口径— 残高 2.8 裾径— 接合部	—	胎：石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(A) 10R4/6 赤 (A) 10R4/6 赤～5YR5/6 明赤褐				(A) ヘラミガキ (タテ) 赤色塗彩 (A) 環部剥落 環部赤色塗彩
SB-20 30	蓋 弥生	抓み径— 器高 4.2 裾径(15.3) 踵部—	—	胎：石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(A) 10R4/4 赤褐 (A) 10R4/4 赤褐				(A) ヘラミガキ 赤色塗彩 (A) ヘラミガキ 赤色塗彩
SB-21 1	壺 弥生	口径(11.9) 残高 9.5 底径— 踵部—	—	胎：石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(A) 5YR5/6 明赤褐 (A) 5YR5/6 明赤褐		内湾する		(A) ヘラケズリ (ヨコ) の後ヘラミガキ (A) ヘラケズリ (ヨコ) の後ヘラミガキ
SB-21 2	壺 弥生	口径(14.9) 残高 4.8 底径— 口縁部一部	—	胎：石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(A) 10Y6/3 に近い黄褐 (A) 5YR5/6 明赤褐		口縁部は内湾する		(A) 刷毛調整の後ヘラミガキ (A) ヘラミガキ (ヨコ)
SB-21 3	壺 弥生	口径(18.8) 残高 9.2 底径— 口縁部 1/4	—	胎：石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(A) 5YR4/6 赤褐 (A) 5YR5/4 に近い赤褐		口縁部は緩やかに外反する		(A) 波状文、2 連止めの畝状文を施す (A) ヘラミガキ (ヨコ)
SB-21 4	高環 弥生	口径(12.2) 残高 3.8 裾径— 口縁部一部	—	胎：石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(A) 10R4/6 赤 (A) 10R4/6 赤		内湾ぎみの口縁部		(A) ヘラミガキ (ヨコ) 赤色塗彩 (A) ヘラミガキ (ヨコ) 赤色塗彩
SB-21 5	高環 弥生	口径— 残高 3.1 裾径— 環部一部	—	胎：石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(A) 5YR5/6 明赤褐 (A) 2.5YR5/6 明赤褐				(A) ヘラミガキ (A)
SB-21 6	高環 弥生	口径— 残高 5.1 裾径— 接合部一部	—	胎：石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(A) 10R4/6 赤 (A) 10YR3/1 黒褐		環部を脚部に突出させて接合する		(A) (A) 環部ヘラミガキ
SB-21 7	甌 弥生	口径— 残高 10.3 底径 6.1 踵部—	—	胎：石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(A) 5YR5/6 明赤褐 (A) 5YR5/6 明赤褐		平底の底部より内湾ぎみに開く		(A) ヘラミガキ (タテ) (A) ヘラケズリ (ヨコ) の後ヘラミガキ
SB-21 8	甌 弥生	口径— 残高 3.6 底径(6.2) 底部一部	—	胎：石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(A) 7.5YR6/4 に近い橙 (A) 5YR6/6 橙		平底に 1 孔を穿つ		(A) ヘラケズリ (タテ) の後ヘラミガキ (A) ヘラケズリ (ヨコ)
SB-21 9	鉢 弥生	口径(13.7) 残高 6.7 底径— 口縁部一部	—	胎：石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(A) 10R3/4 暗赤 (A) 10R4/6 赤		体部はやや丸みを持ちながら直線的に開く		(A) ヘラミガキ (タテ) 赤色塗彩 (A) ヘラミガキ (ヨコ) 赤色塗彩
SB-21 10	紡錘車 弥生	直径 5.0 厚さ 1.3 重さ 15.5 1/2	—	胎：石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(A) 7.5YR6/4 に近い橙 (A) 2.5YR5/6 明赤褐		糸の掛け口が割まれる		(A) 赤色塗彩 (A) 赤色塗彩
SB-21 11	ミニチュア 弥生	口径— 残高 3.0 裾径(7.3) 脚部 1/3	—	胎：石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(A) 5YR4/6 赤褐 (A) 5YR4/6 赤褐				(A) (A)
SB-22 1	壺 弥生	口径— 残高 25.9 底径 7.4 踵2/3-器	—	胎：石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(A) 7.5B4/6 暗-7.5YR3/2 暗 (A) 2.5YR4/4 に近い赤褐		底部から頸部にかけて緩やかな丸みを持つ		(A) 頸部に T 字文を施す ヘラミガキ 赤色塗彩 (A) 刷毛調整

第 16 表 遺物観察表 (14)

遺構 NO 図版 NO	器種 種類	法 残	量 存	器 質	成形・形態ほか	整 形 ほ か
SB-22 2	壺 弥生	口径(16.0) 残高 4.8 底径 - 口縁部 1/4		胎; 雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (※) 10R4/6 赤 (R) 10R4/6 赤	緩やかに外反する	(※) ヘラミガキ (タテ) 赤色塗彩 (R) ヘラミガキ (ヨコ) 赤色塗彩
SB-22 3	壺 弥生	口径 - 残高 8.0 底径 - 頸部一部		胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (※) 10R4/6 赤 (R) 10R4/6 赤	口縁部は外反する	(※) ヘラミガキ (タテ) 頸部に T 字文を施す 赤色塗彩 (R) ヘラミガキ (ヨコ) 赤色塗彩
SB-22 4	壺 弥生	口径(36.0) 残高 11.4 底径 - 口縁部一部		胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (※) 5YR5/6 明赤褐 (R) 2.5YR3/4 暗赤褐	口縁部は大きく開く	(※) ヘラミガキ (タテ、ヨコ) 赤色塗彩 (R) ヘラミガキ (ヨコ) 赤色塗彩
SB-22 5	壺 弥生	口径(32.4) 残高 6.6 底径 - 口縁部一部		胎; 粗砂粒含む 焼; 良好 色; (※) 10R5/6 赤-5YR6/6 黒 (R) 10R5/6 赤-5YR6/6 黒	口縁部は大きく開く	(※) ヘラミガキ (タテ、ヨコ) 赤色塗彩 (R) ヘラミガキ (ヨコ) 赤色塗彩
SB-22 6	壺 弥生	口径(28.0) 残高 9.5 底径 - 口縁部 1/4		胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (※) 7.5YR7/6 橙 (R) 5YR4/8 赤褐	口縁部は大きく開き、外反する	(※) ヘラミガキ 赤色塗彩 (R) ヘラミガキ (ヨコ) 赤色塗彩
SB-22 7	壺 弥生	口径 - 残高 3.4 底径 - 頸部一部		胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (※) 5YR5/6 明赤褐 (R) 5YR5/6 明赤褐		(※) 頸部にヘラ描羽状文を施す (R)
SB-22 8	壺 弥生	口径 - 残高 3.4 底径 - 頸部一部		胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (※) 2.5YR5/6 明赤褐 (R) 2.5YR5/6 明赤褐		(※) 頸部にヘラ描羽状文を施す (R)
SB-22 9	甕 弥生	口径(8.6) 残高 5.1 底径 - 口縁部一部		胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (※) 5YR6/6 橙 (R) 7.5YR5/6 明褐	口縁部は胴部より内傾する 口縁部に罅状に段を有する	(※) ヘラケズリの後ナデ (R) ヘラケズリ 刷毛調整
SB-22 10	壺 弥生	口径 - 残高 3.1 底径 4.8 底部		胎; 石英、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (※) 2.5YR5/6 明赤褐 (R) 2.5YR5/6 明赤褐	平底より立ち上がり外反して 胴部に移行する	(※) ヘラミガキ 赤色塗彩 (R) ヘラミガキ 赤色塗彩
SB-22 11	壺 弥生	口径 - 残高 13.4 底径(12.8) 口縁部 1/4		胎; 石英、粗砂粒、礫含む 焼; 良好 色; (※) 10YR6/4 灰赤-7.5YR5/8 靑 (R) 7.5YR5/8 明褐	平底より立ち上がる	(※) ヘラミガキ (タテ) (R) 刷毛調整
SB-22 12	壺 弥生	口径 - 残高 2.5 底径 6.6 底部		胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (※) 2.5YR3/6 暗赤褐 (R) 2.5YR3/6 暗赤褐		(※) ヘラミガキ (タテ) 赤色塗彩 (R) ヘラミガキ (タテ) 赤色塗彩
SB-22 13	甕 弥生	口径(19.2) 残高 14.7 底径 - 口縁部 1/4		胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (※) 10YR5/2 黒-7.5YR6/6 橙 (R) 7.5YR5/4 にぶい褐	胴部より緩やかに外反する	(※) 波状文を施す 頸部に扇状文を施す (R) ヘラミガキ (ヨコ)
SB-22 14	甕 弥生	口径 20.2 残高 10.0 底径 - 口縁部		胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (※) 5YR6/8 赤-10YR7/4 灰赤 (R) 2.5YR6/8 赤-10YR7/4 灰赤	口縁部は緩く外反する	(※) 口縁部に波状文を施す 頸部に扇状文を施す (R) ヘラミガキ (ヨコ)
SB-22 15	甕 弥生	口径 13.6 残高 10.7 底径 - 口縁部		胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (※) 5YR3/2 暗赤褐 (R) 7.5YR3/3 暗褐	胴部より緩やかに外反する	(※) 扇状文と波状文を施す (R) ヘラミガキ (ヨコ)
SB-22 16	甕 弥生	口径 - 残高 11.8 底径 - 胴部一部		胎; 雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (※) 10YR3/2 黒褐色 (R) 7.5YR5/6 靑-10YR3/2 靑	胴部より緩やかに外反する	(※) 波状文を施す 頸部に扇状文を施す (R) ヘラミガキ (ヨコ)

第 17 表 遺物観察表 (15)

通稱 NO 図版 NO	器種 分類	法 残	量 存	器	質	成形・形態ほか	整 形 ほ か
SB-22 17	甕 弥生	口径 残高 底径 口縁部一部	— 6.3 — —	胎：石英、雲母、粗砂粒含む 焼：良好 色：(A) 7.5YR6/4 赤褐色-10YR4/1 灰 (B) 2.5Y5/2 暗灰黄		口縁部は折り返す	(A) 波状文を施す (B) ヘラミガキ (ヨコ)
SB-22 18	台付 甕 弥生	口径 残高 裾径 (8.0) 脚部 1/3	— 3.9 — —	胎：石英、雲母、粗砂粒含む 焼：良好 色：(A) 2.5YR5/6 明赤褐 (B) 2.5YR5/6 明赤褐			(A) 脚部ヘラミガキ (タテ) (B) 脚部ヘラケズリ
SB-22 19	台付 甕 弥生	口径 残高 裾径 脚部	— 5.7 9.0 —	胎：雲母、粗砂粒含む 焼：良好 色：(A) 2.5YR4/8 赤褐 (B) 2.5YR4/8 赤褐		接合部より緩やかに外反して 裾部に至る	(A) 脚部ヘラミガキ (タテ) (B) 脚部刷毛調整
SB-22 20	台付 甕 弥生	口径 残高 裾径 (11.0) 脚部 1/3	— 3.0 — —	胎：雲母、粗砂粒含む 焼：良好 色：(A) 5YR6/6 橙 (B) 5YR4/6 赤褐		裾部の先端に面取りを施す	(A) ヘラケズリの後ヘラミガキ (B) ヘラケズリの後ヘラミガキ
SB-22 21	高环 弥生	口径 (21.8) 残高 裾径 口縁部一部	5.0 — — —	胎：石英、粗砂粒含む 焼：良好 色：(A) 10R5/6 赤 (B) 10R5/6 赤		丸みを持った環部より内寄り して口縁部に至る	(A) ヘラミガキ (ヨコ) 赤色塗彩 (B) ヘラミガキ (ヨコ) 赤色塗彩
SB-22 22	高环 弥生	口径 (16.0) 残高 裾径 口縁部 1/3	5.9 — — —	胎：石英、雲母、粗砂粒含む 焼：良好 色：(A) 7.5R4/6 赤 (B) 7.5R4/6 赤		環部より水平に屈折して口縁 部に至る	(A) ヘラミガキ (ヨコ) 赤色塗彩 (B) ヘラミガキ (ヨコ) 赤色塗彩
SB-22 23	高环 弥生	口径 残高 裾径 接合部	— 3.2 — —	胎：粗砂粒含む 焼：良好 色：(A) 10R4/6 赤 (B) 10R4/6 赤-5YR5/6 黄緑		环底部を突出させて脚部に接 合する	(A) 脚部ヘラミガキ (タテ) 赤色塗彩 (B) 環部ヘラミガキ 赤色塗彩
SB-22 24	高环 弥生	口径 残高 裾径 接合部	— 4.9 — —	胎：黒雲母、粗砂粒含む 焼：良好 色：(A) 2.5YR5/6 明赤褐 (B) 2.5YR5/6 明赤褐			(A) 脚部ヘラミガキ (タテ) (B) 脚部ヘラケズリ 環部ヘラミガキ
SB-22 25	高环 弥生	口径 残高 裾径 (10.6) 脚部一部	— 7.3 — —	胎：石英、雲母、粗砂粒含む 焼：良好 色：(A) 2.5YR4/6 赤褐 (B) 5YR6/6 橙		緩やかに外反して開いて裾部 に至る	(A) ヘラミガキ (タテ) 赤色塗彩 (B) ヘラケズリ ナデ
SB-22 26	高环 弥生	口径 残高 裾径 (17.8) 脚部一部	— 9.0 — —	胎：石英、雲母、粗砂粒含む 焼：良好 色：(A) 10R4/6 赤 (B) 2.5YR5/6 明赤褐		緩やかに外反して開いて裾部 に至る	(A) ヘラミガキ (タテ) 赤色塗彩 (B) ナデ
SB-22 27	高环 弥生	口径 残高 裾径 (20.0) 脚部 1/4	— 11.4 — —	胎：石英、雲母、粗砂粒含む 焼：良好 色：(A) 10R3/6 暗赤褐 (B) 5YR4/4 赤い赤褐		脚部に三角形の透かしが切り 込まれる	(A) ヘラミガキ (タテ) 赤色塗彩 (B) ヘラケズリ ナデ
SB-22 28	片口 鉢 弥生	口径 残高 底径 口縁部一部	— 8.8 — —	胎：石英、雲母、粗砂粒含む 焼：良好 色：(A) 5YR4/6 赤褐 (B) 5YR5/4 赤い赤褐		丸みのある体部より緩やかに 外反して口縁部に至る 口縁部に片口をもうける	(A) ヘラケズリ (ナナメ) の後 ナデ (B) ヘラケズリ (ナナメ)
SB-22 29	蓋 弥生	抓み径 残高 裾径 抓み部	— 4.6 — —	胎：石英、雲母、粗砂粒含む 焼：良好 色：(A) 5YR5/6 明赤褐 (B) 7Y5R2/1 黒			(A) (B)
SB-22 30	紡錘 車 弥生	直径 厚さ 重さ ほぼ完存	5.0 1.2 30g —	胎：雲母、粗砂粒含む 焼：良好 色：(A) 10R3/4 暗赤 (B) 10R3/4 暗赤			(A) ヘラミガキ 赤色塗彩 (B) ヘラミガキ 赤色塗彩
SB-22 31	紡錘 車 弥生	直径 厚さ 重さ	5.5 1.7 30g	胎：石英、雲母、粗砂粒含む 焼：良好 色：(A) 10YR3/2 黒褐 (B) 10YR3/2 黒褐			(A) ヘラミガキ (B) ヘラミガキ

第 18 表 遺物観察表 (16)

遺構NO 図版NO	器種 種類	法 残	量 存	器 質	成形・形態ほか	整形 形ほか
SB-23 1	甕 弥生	口径(15.8) 残高 7.1 底径 — 口縁部一部	胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (R) 10YR6/4 にふい黄橙 (R) 10YR6/4 にふい黄橙	口縁部は内傾する	(R) ヘラケズリ (ヨコ) (R) ヘラケズリ (ヨコ)	
SB-23 2	甕 土師	口径(12.5) 残高 6.0 底径 — 口縁部一部	胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (R) 5YR7/6 黄-7.5YR8/4 黄緑 (R) 7.5YR8/4 淡黄橙	口縁部に段を有する	(R) ナデ (ヨコ) (R) ナデ (ヨコ)	
SB-23 3	甕 弥生	口径 — 残高 1.6 底径 — 胴部一部	胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (R) 5YR6/8 橙 (R) 5YR6/6 橙		(R) 櫛状文を施す (R)	
SB-23 4	甕 弥生	口径 — 残高 1.9 底径 — 口縁部一部	胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (R) 5YR4/3 にふい赤褐 (R) 5YR6/6 橙	口縁部先端で短く折れる	(R) 波状文を施す (R)	
SB-23 5	甕 土師	口径(17.6) 残高 5.2 底径 — 口縁部 1/3	胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (R) 5YR6/4 にふい橙 (R) 5YR6/6 橙	頸部より強く屈曲する	(R) 口縁部ナデ (ヨコ) 頸部ヘ ラケズリ 胴部刷毛調整 (R) ナデ	
SB-23 6	甕 土師	口径(14.9) 残高 4.2 底径 — 口縁部一部	胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (R) 7.5YR4/3 黄-5YR6/6 黄 (R) 5YR6/6 橙	口縁部に段を有する	(R) ナデ (ヨコ) (R) 胴部刷毛調整	
SB-23 7	甕 弥生	口径(18.7) 残高 3.9 底径 — 口縁部一部	胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (R) 5YR7/8 橙 (R) 5YR6/6 橙	胴部より屈曲して外反する口 縁部に至る	(R) 口縁部ナデ (ヨコ) 胴部刷毛調整 (R) 口縁部ナデ (ヨコ) 胴部刷毛調整	
SB-23 8	台付 甕 土師	口径(14.7) 残高 3.4 裾径 — 口縁部一部	胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (R) 7.5YR3/1 黒褐 (R) 7.5YR2/1 黒	S 字状口縁	(R) 刷毛調整 (R) ヘラミガキ	
SB-23 9	甕 土師	口径 — 残高 3.3 底径(11.0) 底部一部	胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (R) 2.5YR5/6 明赤褐 (R) 5YR5/6 明赤褐		(R) 刷毛調整 (R) ナデ	
SB-23 10	甕 土師	口径 — 残高 4.3 底径 6.0 底部	胎; 石英、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (R) 5YR5/6 明赤褐 (R) 7.5YR6/3 にふい褐		(R) 刷毛調整 (R) ヘラケズリ	
SB-23 11	台付 甕 弥生	口径 — 残高 7.0 裾径 7.7 脚部-胴部	胎; 石英、雲母、粗砂粒多量に含む 焼; 良好 色; (R) 5YR4/2 黄-5YR5/6 黄緑 (R) 5YR3/1 黄-7.5YR5/4 にふい褐		(R) ヘラミガキ (R)	
SB-23 12	高环 甕 弥生	口径 — 残高 4.9 裾径 — 脚部一部	胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (R) 7.5R4/6 赤 (R) 2.5YR6/6 橙		(R) ヘラミガキ 赤色塗彩 (R) 环部ヘラミガキ 赤色塗彩 脚部ヘラケズリ 刷毛調整	
SB-23 13	高环 甕 弥生	口径 — 残高 5.9 裾径(14.1) 脚部一部	胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (R) 7.5YR7/6 橙 (R) 7.5YR7/6 橙	緩やかに開いて裾部に至る	(R) ヘラミガキ (タテ) 赤色塗彩 (R)	
SB-23 14	甕 弥生	口径 — 残高 1.8 底径 9.6 底部	胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (R) 7.5YR6/6 橙 (R) 5YR5/8 明赤褐	平底 焼成後内側より1孔を穿つ	(R) 刷毛調整 (R)	
SB-23 15	蓋 弥生	口径(4.7) 残高 3.7 裾径 — 爪み部一部	胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (R) 7.5YR7/4 にふい橙 (R) 7.5YR7/4 にふい橙	天井部外面と内面から刺突す るが貫通していない	(R) ナデ ヘラケズリ (R) ヘラケズリ	

第 19 表 遺物観察表 (17)

遺構NO 図版NO	器種 種類	法 残	最 存	器	質	成形・形態ほか	整 形 ほか
SB-24 1	甌 弥生	口径(17.0) 残高 3.7 底径 — 口縁部一部	胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (A) 10B4/6 赤 (A) 10B4/6 赤			口縁部は外反する	(A) ヘラミガキ (タテ) 赤色塗彩 (A) ヘラミガキ (タテ) 赤色塗彩
SB-24 2	甌 弥生	口径(25.2) 残高 2.1 底径 — 口縁部一部	胎; 粗砂粒含む 焼; 良好 色; (A) 2.5YR6/6 橙 (A) 2.5YR6/6 橙			口縁部は大きく外反する	(A) ヘラミガキ 赤色塗彩 (A) ヘラミガキ 赤色塗彩
SB-24 3	甌 弥生	口径(10.8) 残高 3.4 底径 — 口縁部一部	胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (A) 10YR7/4 に近い黄橙 (A) 10YR7/4 に近い黄橙			口縁部は緩やかに外反する	(A) ヘラミガキ (タテ) (A) ヘラミガキ (ヨコ)
SB-24 4	甌 弥生	口径 — 残高 2.8 底径 — 頸部一部	胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (A) 5YR5/6 明赤褐 (A) 5YR5/6 明赤褐			緩やかに外反する	(A) 篋指羽状文を頸部に施す 赤色塗彩 (A)
SB-24 5	甌 弥生	口径 — 残高 4.1 底径 (5.2) 底部 1/3	胎; 雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (A) 5YR6/4 に近い橙 (A) 5YR6/4 に近い橙		平底		(A) ヘラケズリの後ヘラミガキ (A) ヘラケズリの後ヘラミガキ
SB-24 6	甌 弥生	口径(16.0) 残高 5.6 底径 — 口縁部一部	胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (A) 7.5YR4/3 褐 (A) 7.5YR4/3 褐			口縁部は緩やかに外反する	(A) 3条1組の櫛指波状文を施す (A) ヘラミガキ (ヨコ)
SB-24 7	甌 弥生	口径 — 残高 4.0 底径 — 口縁部一部	胎; 石英、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (A) 7.5YR4/4 褐 (A) 5YR5/4 に近い赤褐			口縁部は緩やかに外反する	(A) 波状文を下から上へ施す (A) ヘラミガキ (ヨコ)
SB-24 8	甌 弥生	口径 — 残高 5.8 底径 — 頸部一部	胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (A) 5YR5/3 に近い赤褐 (A) 5YR6/6 橙				(A) 篋状文を施した後、口縁部に 波状文を下から上に施す 頸部に櫛指斜状文を施す (A) ヘラミガキ
SB-24 9	甌 土師	口径(10.4) 残高 4.0 底径 — 口縁部一部	胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (A) 5YR3/4 暗赤褐 (A) 7.5YR3/3 暗褐			口縁部は屈曲して内湾ぎみに 開く	(A) 櫛指文を施す (A)
SB-24 10	甌 土師	口径(19.0) 残高 2.7 底径 — 口縁部一部	胎; 粗砂粒含む 焼; 良好 色; (A) 5YR6/6 橙 (A) 5YR6/6 橙			口縁部に段を有する	(A) 擬凹線を施す (A)
SB-24 11	甌 土師	口径(15.6) 残高 6.3 底径 — 口縁部一部	胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (A) 10YR2/1 黒 (A) 10YR5/3 に近い黄褐			張りのある頸部より屈曲して 口縁部に至る 口縁部に段を有する	(A) 頸部ヘラケズリ (A) 頸部ヘラケズリ
SB-24 12	高坏 弥生	口径 — 残高 3.4 頸径 — 接合部	胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (A) 2.5YR4/4 に近い赤褐 (A) 5YR3/1 黒褐				(A) 赤色塗彩 (A)
SB-25 1	甌 弥生	口径 — 残高 19.5 底径 — 頸部一部	胎; 粗砂粒含む 焼; 良好 色; (A) 2.5YR6/6 赤褐 (A) 2.5YR4/3 赤褐			頸部から頸部にかけてスムー ズに変化する	(A) ヘラミガキ (タテ) 頸部に文様帯を持たない (A) 頸部ヘラケズリ (ヨコ) 頸部ヘラミガキ (ヨコ)
SB-25 2	甌 弥生	口径 — 残高 3.3 底径 — 頸部一部	胎; 粗砂粒含む 焼; 良好 色; (A) 7.5YR7/3 に近い橙 (A) 7.5YR7/3 に近い橙				(A) 頸部に細い沈線による羽状文 を施す (A)
SB-25 3	甌 弥生	口径 — 残高 3.7 底径 — 頸部一部	胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (A) 7.5YR6/4 に近い黄褐 (A) 2.5YR4/4 に近い赤褐				(A) 頸部にT字文を施す 刷毛調整 (A) ヘラケズリ

第 20 表 遺物観察表(18)

遺構NO 図版NO	器種 種類	法 量 存	器	質	成形・形態ほか	整形 ほか
SB-25 4	甌 弥生	口径— 残高 6.0 底径 4.4 胴部~縁	胎; 雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (A) 10R5/6 赤 (B) 10R5/6 赤	貴	平底より立ち上がる	(A) ヘラミガキ (クテ) 赤色塗彩 (B) ヘラミガキ (ヨコ) 赤色塗彩
SB-25 5	甌 弥生	口径— 残高 5.7 底径 (5.8) 胴部~縁	胎; 雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (A) 10R5/6 赤 (B) 10R5/6 赤	貴	平底より立ち上がる	(A) ヘラミガキ (クテ) 赤色塗彩 (B) ヘラミガキ (ヨコ) 赤色塗彩
SB-25 6	甌 弥生	口径— 残高 4.4 底径 (5.6) 底部 1/2	胎; 雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (A) 10R5/6 赤~5YR6/4 に近い橙 (B) 10R5/6 赤	貴	非常に薄い底部	(A) 底部まで赤色塗彩 (B) ヘラミガキ 赤色塗彩
SB-25 7	甌 弥生	口径— 残高 2.5 底径 6.5 底部	胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (A) 10R4/6 赤 (B) 5YR6/6 橙	貴	平底	(A) ヘラミガキ (クテ) 赤色塗彩 (B) 剥落
SB-25 8	甌 弥生	口径(13.3) 器高 15.6 底径 5.5 胴部~縁	胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (A) 2.5YR5/6 暗赤~5YR4/3 に近い紅 (B) 7.5YR6/4 に近い橙	貴	平底より内寄して立ち上がり 口縁部で外反する	(A) 波状文、塵状文を施す 口縁部で外反する (B) ヘラケズリの後ヘラミガキ
SB-25 9	甌 弥生	口径 10.5 器高 11.6 底径 6.4 完存	胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (A) 2.5Y7/3 浅黄~7.5Y7/6 橙 (B) 10YR6/4 に近い橙~2.5Y3/1 黒	貴	平底 口径と胴部最大径は同じ *床着	(A) 波状文を施す (B) ヘラミガキ
SB-25 10	甌 弥生	口径(13.6) 残高 9.2 底径— 胴部~縁	胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (A) 5YR4/8 赤褐 (B) 5YR3/3 暗赤褐	貴	口縁部で緩やかに外反する	(A) 粗い波状文を施す (B) ヘラミガキ (ヨコ)
SB-25 11	甌 弥生	口径(16.4) 残高 11.4 底径— 胴部~縁	胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (A) 5YR5/3 に近い赤褐 (B) 5YR6/6 橙	貴	胴部より緩やかに外反して 口縁部に至る 口径は胴部最大径より大きい	(A) 波状文を下から上へ施す 口縁部に至る (B) ヘラミガキ
SB-25 12	甌 弥生	口径(18.5) 残高 5.2 底径— 口縁部一部	胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (A) 10YR3/2 黒褐 (B) 10YR3/2 暗~5YR4/4 に近い紅	貴	口縁部を外側へ折り返す	(A) 3条1組の帯状波状文を下から上へ施す (B) ヘラケズリの後ヘラミガキ
SB-25 13	甌 弥生	口径(14.4) 残高 4.0 底径— 口縁部一部	胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (A) 2.5YR5/6 明赤褐 (B) 2.5YR4/6 赤褐	貴	口縁部を外側へ折り返す	(A) 波状文、塵状文を施す (B) ヘラミガキ (ヨコ)
SB-25 14	甌 弥生	口径— 残高 1.6 底径— 口縁部一部	胎; 雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (A) 7.5YR5/4 に近い褐 (B) 7.5YR5/4 に近い褐	貴	口縁部を外側へ折り返す	(A) 口縁部に波状文を施す (B)
SB-25 15	甌 弥生	口径— 残高 2.0 底径— 口縁部一部	胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (A) 5YR5/8 明赤褐 (B) 7.5YR5/4 に近い褐	貴	口縁部を外側へ折り返す	(A) 口縁部に波状文を施す (B)
SB-25 16	甌 弥生	口径— 残高 10.0 底径 (8.0) 胴部~縁	胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (A) 2.5YR5/6 明赤褐 (B) 2.5YR5/4 に近い紅	貴	平底より立ち上がり、緩やかに丸みのある胴部に移行する	(A) ヘラミガキ (クテ) (B) ヘラケズリの後ナデ
SB-25 17	台付 甌 弥生	口径 15.4 器高 20.5 裾径 9.2 胴部 1/2~縁	胎; 石英、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (A) 5YR5/4 に近い赤褐 (B) 5YR5/4 に近い赤褐	貴	丸い胴部より緩やかに外反して、口縁部に至る 胴部は接合部より外反して開く	(A) 頸部に2進止めの塵状文、口縁部と胴部に波状文を施す (B) 胴部ヘラミガキ 脚部ヘラケズリ
SB-25 18	台付 甌 弥生	口径— 残高 10.6 裾径 6.4 胴部~縁	胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (A) 2.5YR4/6 緑~2.5YR3/3 暗緑 (B) 5YR5/6 明赤褐	貴	胴部は緩やかな丸みを持ち、脚部は短く開く 裾部の先端に血取りを施す	(A) ヘラケズリの後ヘラミガキ (B) ヘラケズリの後ヘラミガキ

第 21 表 遺物観察表 (19)

選種NO 図版NO	器種 種類	法 規	最 存 器	質	成形・形態ほか	整 形 ほ か
SB-25 19	甕 土師	口径(20.7) 残高 3.7 底径 — 口縁部一部	胎;雲母、粗砂粒、礫含む 焼;良好 色;(A) 7.5YR6/6 橙 (R) 7.5YR6/6 橙		張りのある胴部より屈曲して 口縁部に至る	(A) ナデ(ヨコ) (R) ナデ(ヨコ)
SB-25 20	甕 土師	口径(16.2) 残高 3.2 底径 — 口縁部一部	胎;雲母、粗砂粒、礫含む 焼;良好 色;(A) 5YR4/6 赤褐 (R) 5YR4/6 赤褐		口縁部は屈曲外反する 口唇部に面取りを施す	(A) ナデ(ヨコ) (R) ナデ(ヨコ)
SB-25 21	甕 土師	口径(22.6) 残高 4.0 底径 — 口縁部一部	胎;雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 7.5YR5/3 にぶい褐 (R) 7.5YR5/3 にぶい褐		口縁部はやや外反する	(A) ナデ(ヨコ)の後ヘラミガキ (タデ) (R) ナデ(ヨコ)
SB-25 22	甕 土師	口径(16.6) 残高 3.5 底径 — 口縁部一部	胎;石英、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 10YR5/3 にぶい黄褐 (R) 10YR5/3 にぶい黄褐		直線的に開き、外面に緩い稜 を有する	(A) ヘラケズリの後ヘラミガキ (R) ヘラケズリの後ヘラミガキ
SB-25 23	甕 土師	口径(18.0) 残高 1.8 底径 — 口縁部一部	胎;雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 5YR5/4 にぶい黒褐 (R) 5YR3/1 黒褐		口唇部に面取りを施す	(A) ナデ(ヨコ)の後ヘラミガキ (R) ヘラミガキ
SB-25 24	甕 土師	口径 13.6 残高 3.2 底径 — 口縁部一部	胎;雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 7.5YR6/4 にぶい橙 (R) 7.5YR4/3 褐		口縁部は直線的に開く 口唇部に面取りを施す	(A) (R)
SB-25 25	甕 土師	口径 — 残高 3.9 底径 — 口縁部一部	胎;雲母、粗砂粒、礫含む 焼;良好 色;(A) 5YR6/6 橙 (R) 5YR6/6 橙		口唇部に面取りを施す	(A) 刷毛調整 (R) ヘラケズリ
SB-25 26	甕 土師	口径(17.4) 残高 2.5 底径 — 口縁部一部	胎;石英、雲母、粗砂粒、礫含む 焼;良好 色;(A) 5YR4/4 にぶい赤褐 (R) 7.5YR3/4 暗褐		口縁部は折り返して作る	(A) (R)
SB-25 27	甕 土師	口径 — 残高 6.6 底径 — 胴部一部	胎;石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 10YR3/2 黒褐 (R) 5YR6/6 橙		丸みのある胴部	(A) 刷毛調整 (R) 刷毛調整 ヘラミガキ
SB-25 28	甕 土師	口径 — 残高 4.0 底径 — 胴部一部	胎;粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 7.5YR6/4 にぶい橙 (R) 7.5YR6/4 にぶい橙		丸みのある胴部	(A) 襷描文を施す (R)
SB-25 29	高環 弥生	口径 — 残高 6.1 裾径 — 環部	胎;雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 10R5/6 赤 (R) 10R5/6 赤		環底部を突出させて胴部に接 合する	(A) ヘラミガキ 赤色塗彩 (R) ヘラミガキ 赤色塗彩
SB-25 30	高環 弥生	口径 — 残高 4.4 裾径 — 接合部	胎;石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 2.5YR4/6 赤褐 (R) 5YR5/6 赤褐		接合部より緩やかに開く	(A) ヘラミガキ 赤色塗彩 (R) ヘラミガキ 赤色塗彩 環部赤色塗彩
SB-25 31	高環 弥生	口径 — 残高 4.9 裾径 — 接合部	胎;雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 10R4/6 赤 (R) 10R4/6 赤		接合部より直線的に開く	(A) ヘラミガキ 赤色塗彩 (R) ヘラミガキ 赤色塗彩 環部赤色塗彩
SB-25 32	高環 弥生	口径 — 残高 5.5 裾径 — 接合部	胎;石英、粗砂粒、礫含む 焼;良好 色;(A) 2.5YR4/6 赤褐 (R) 7.5YR5/4 にぶい褐		接合部より直線的に開く	(A) ヘラミガキ 赤色塗彩 (R) ヘラミガキ 赤色塗彩 環部赤色塗彩
SB-25 33	高環 弥生	口径 — 残高 10.7 裾径 — 脚部一部	胎;石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 10R3/6 暗赤 (R) 5YR5/6 明赤褐		接合部より直線的に開く	(A) ヘラミガキ 赤色塗彩 (R)

第 22 表 遺物観察表(20)

通称NO 図版NO	器種 種類	法 残	量 存	器 質	成形・形態ほか	整 形 ほか
SB-25 3 4	高坏 土師	口径 一 残高 6.8 裾径(17.8) 胴部一部	胎;雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 10YR5/2 灰黄褐 (B) 10YR5/2 灰黄褐		胴部は緩やかに開く	(A) ヘラケズリの後粗いナデ ヘラミガキ (B) 刷毛調整 ヘラケズリ
SB-25 3 5	鉢 弥生	口径 11.2 残高 4.9 底径 5.0 ほぼ完存	胎;石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 2.5YR5/6 明赤褐 (B) 2.5YR5/6 明赤褐		平底より立ち上がり、直線的 に開く 断面は全体的に厚みがある	(A) ヘラミガキ(タテ) (B) ヘラミガキ(ヨコ)
SB-25 3 6	蓋 弥生	抓み径 4.8 残高 7.0 裾径 一 胎部一部	胎;石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 5YR3/3 暗赤褐 (B) 5YR3/1 黒褐		天井部に1孔を穿つ	(A) ヘラミガキ(タテ) 抓み部ナデ(ヨコ) (B) ヘラミガキ(ヨコ) 抓み部ナデ(ヨコ)
SB-25 3 7	蓋 弥生	抓み径 4.5 残高 4.8 裾径 一 胎部一部	胎;石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 7.5YR3/3 暗褐 (B) 7.5YR3/1 黒褐		抓み部より緩やかに開く	(A) ヘラミガキ
SB-25 3 8	蓋 弥生	抓み径 5.6 残高 3.8 裾径 一 抓み部	胎;雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 2.5YR4/6 赤褐~5YR6/6 橙 (B) 2.5YR4/6 赤褐		天井部に1孔を穿つ	(A) ヘラミガキ 赤色塗彩 (B) ヘラミガキ 赤色塗彩
SB-25 3 9	蓋 弥生	抓み径 3.7 残高 2.3 裾径 一 抓み部	胎;石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 5YR4/4 におい赤褐 (B) 5YR3/2 暗赤褐		抓み部より緩やかに開く	(A) ヘラミガキ (B) ヘラミガキ
SB-25 4 0	ミニ チュ ア 弥生	口径 一 残高 2.3 底径 3.0 底部	胎;石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 10R4/6 赤 (B) 10R4/6 赤			(A) ヘラミガキ(タテ) 底部まで赤色塗彩 (B) ヘラミガキ(ヨコ) 赤色塗彩
SB-25 4 1	深鉢 縄文	口径 一 残高 5.0 底径 一 胴部一部	胎;石英、粗砂粒、礫含む 焼;良好 色;(A) 5YR4/4 におい赤褐 (B) 5YR4/8 赤褐			(A) 横位のLR縄紋を施す (B) ヘラケズリ
SB-25 4 2	深鉢 縄文	口径 一 残高 4.8 底径 一 胴部一部	胎;石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 7.5YR5/6 明褐 (B) 7.5YR6/4 におい橙			(A) 横位のR.L縄紋を回転して施 す (B)
SB-26 1	壺 弥生	口径(35.0) 残高 11.4 底径 一 口縁部 1/4	胎;石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 7.5YR6/6 橙 (B) 5YR5/6 明赤褐		口縁部は大きく外反する	(A) ヘラミガキ(タテ) (B) ヘラミガキ(ヨコ、ナナメ)
SB-26 2	壺 弥生	口径(22.8) 残高 5.3 底径 一 口縁部一部	胎;雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 10R4/6 赤 (B) 10R4/6 赤		口縁部は大きく開く	(A) ヘラミガキ(タテ) 赤色塗彩 (B) ヘラミガキ(ヨコ) 赤色塗彩
SB-26 3	壺 弥生	口径 一 残高 12.3 底径 一 頸部一部	胎;石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 5YR5/8 明赤褐 (B) 5YR5/6 明赤褐			(A) 頸部に撫描文を施す 刷毛調整の後ヘラミガキ (B) 刷毛調整
SB-26 4	壺 弥生	口径 一 残高 6.0 底径 一 頸部一部	胎;石英、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 7.5YR7/4 におい橙 (B) 5YR5/6 明赤褐			(A) 撫描羽状文、ボタン状貼付文 を施す 赤色塗彩 (B) 刷毛調整
SB-26 5	壺 弥生	口径 一 残高 3.2 底径 一 頸部一部	胎;石英、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 5YR6/6 橙 (B) 5YR5/6 明赤褐			(A) 撫描文、ボタン状貼付文を施 す (B) 剥落
SB-26 6	壺 弥生	口径 一 残高 18.8 底径 7.7 頸部~底部	胎;石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 7.5YR6/6 浅黄橙 (B) 7.5YR7/4 におい橙		平底より立ち上がり、胴部よ り緩やかに外反する	(A) 刷毛調整の後ヘラミガキ (B) 刷毛調整

第 23 表 遺物観察表(21)

遺構 NO 図版 NO	器種 種類	法 残	量 存	器	質	成形・形態ほか	整 形 ほか
SB-26 7	甌 弥生	口径 残高 底径	— 23.2 8.3	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(A) 2.5YR5/6 明赤褐 (A) 2.5YR5/6 明赤褐		平底より立ち上がり、胴部 より緩やかに外反する	(A) 刷毛調整、ヘラミガキ (A) 刷毛調整
SB-26 8	甌 弥生	口径 残高 底径 胴部一部	— 20.5 12.8 —	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(A) 10R3/6 暗赤 (A) 7.5YR6/3 に近い褐		丸みのある胴部下位に最大 径を有する	(A) ヘラミガキ 赤色塗彩 (A) 刷毛調整
SB-26 9	甌 土師	口径 残高 底径	— 38.0 12.8	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(A) 5YR5/6 明赤褐 (A) 5YR5/6 明赤褐		胴部の最大径に緩い稜を有 する	(A) ヘラミガキ (A) 刷毛調整
SB-26 10	甌 弥生	口径 残高 底径 胴部1/2-部	— 17.6 7.4 —	胎；石英、粗砂粒含む 焼；良好 色；(A) 2.5YR7/2 暗-2.5YR4/1 赭 (A) 2.5YR4/1 黄灰		平底より立ち上がり、胴部 中で強く張る	(A) 刷毛調整の後ヘラミガキ (A) ヘラミガキ (ヨコ)
SB-26 11	甌 土師	口径 残高 底径 胴部-部	12.6 4.9 — —	胎；石英、粗砂粒含む 焼；良好 色；(A) 7.5YR7/4 に近い橙 (A) 7.5YR6/4 に近い橙		張りのない胴部より、屈曲 して口縁部に至る 口縁部は外側に肥厚する	(A) 刷毛調整、ヘラケズリ (A) 刷毛調整、ヘラケズリ
SB-26 12	甌 土師	口径 残高 底径 底部	— 5.9 6.6 —	胎；雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(A) 7.5YR5/4 に近い褐 (A) 7.5YR4/1 赭-7.5YR5/6 赭		平底より立ち上がり、丸み を持つ胴部に移行する	(A) ヘラミガキ (タテ) (A) ヘラケズリの後ヘラミガキ
SB-26 13	甌 弥生	口径 残高 底径 口縁部	23.7 12.4 — —	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(A) 7.5YR4/4 褐 (A) 7.5YR4/6 赤褐		緩やかに外反する *床着	(A) 波状文を施す 2 連止めの縹状文を施す (A) ヘラミガキ (ヨコ)
SB-26 14	甌 弥生	口径 残高 底径 胴部-部	12.0 12.6 — —	胎；石英、粗砂粒含む 焼；良好 色；(A) 2.5YR5/4 に近い赭-2.5YR4/2 赭 (A) 2.5YR4/1 赤灰		胴部より緩やかに外反する	(A) 波状文を施す (A) ヘラミガキ (ヨコ)
SB-26 15	甌 弥生	口径(19.4) 残高 底径 胴部1/3	14.2 — — —	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(A) 7.5YR5/4 に近い褐 (A) 7.5YR4/3 褐		胴部より緩やかに外反する	(A) 波状文を施す 頸部には 2 連 止めの縹状文を施す (A) ヘラミガキ (ヨコ)
SB-26 16	甌 弥生	口径 残高 底径 胴部-部	— 15.6 — —	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(A) 5YR6/6 橙 (A) 5YR5/1 赭-5YR6/6 赭		緩やかに外反する	(A) 波状文を施す 頸部には 2 連 止めの縹状文を施す (A) ヘラミガキ (ヨコ)
SB-26 17	甌 弥生	口径 残高 底径 胴部一部	— 15.0 — —	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(A) 5YR6/6 橙 (A) 7.5YR4/2 灰褐		張りのある胴部	(A) 波状文と縹状文を施す (A) ヘラミガキ (ヨコ)
SB-26 18	甌 弥生	口径(22.0) 残高 底径 胴部-部	15.4 — — —	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(A) 5YR5/6 明赤褐 (A) 5YR5/6 明赤褐		胴部より緩やかに外反し口 縁部に至る	(A) ヘラケズリ ナデ (A) 刷毛調整の後ヘラミガキ
SB-26 19	台付 甌 土師	口径 残高 裾径 脚部	— 5.1 8.8 —	胎；雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(A) 10YR6/4 に近い赭-10YR5/1 赭 (A) 10YR5/4 に近い黄橙			(A) (A) ヘラケズリ ナデ
SB-26 20	台付 甌 弥生	口径 残高 裾径 接合部	— 5.4 — —	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(A) 2.5YR4/8 赤褐 (A) 2.5YR5/6 明赤褐			(A) 脚部ヘラケズリ (A) ヘラケズリ
SB-26 21	高坏 弥生	口径 残高 裾径	— 13.0 14.0	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(A) 10R4/6 赤 (A) 5YR4/8 赤褐			(A) 脚部ヘラミガキ 赤色塗彩 (A) 坏部ヘラミガキ 坏部赤色塗彩

第 24 表 遺物観察表 (22)

遺標NO 図版NO	器種 種類	法 残	量 存	器	質	成形・形態ほか	整 形 ほか
SB-26 2 2	高坏 弥生	口径 — 残高 5.5 菊径 — 接合部	—	胎; 雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (K) 10R3/6 暗赤 (A) 5YR4/6 赤褐		緩やかに開く	(K) 脚部ヘラミガキ 赤色塗彩 (A) 坏部ヘラミガキ 坏部赤色塗彩
SB-26 2 3	高坏 弥生	口径 — 残高 6.0 菊径 — 接合部	—	胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (K) 10R3/6 暗赤 (A) 5YR5/6 明赤褐			(K) 脚部ヘラミガキ (クテ) 赤色塗彩 (A) 坏部ヘラミガキ 坏部赤色塗彩
SB-26 2 4	高坏 弥生	口径 — 残高 4.8 菊径 — 胎径—器径	—	胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (K) 2.5YR5/6 明赤褐 (A) 5YR6/6 橙			(K) 脚部ヘラケズリの後ヘラミガキ 赤色塗彩 (A) 坏部ヘラミガキ 坏部赤色塗彩
SB-26 2 5	鉢 弥生	口径(13.8) 器高 5.8 底径(6.0) 胎径—器径1/3	—	胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (K) 10R4/8 赤 (A) 10R4/3 赤		平底より立ち上がり、直線的 に開いて口縁部に至る	(K) ヘラミガキ (ヨコ) 赤色塗彩 (A) ヘラミガキ (ヨコ) 赤色塗彩
SB-26 2 6	鉢 弥生	口径(18.4) 残高 7.5 底径 — 胎径—器径1/4	—	胎; 雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (K) 2.5YR4/6 赤褐 (A) 2.5YR4/6 赤褐		体部は直線的に開いて口縁部 に至る	(K) ヘラミガキ 赤色塗彩 (A) ヘラミガキ 赤色塗彩
SB-26 2 7	鉢 土師	口径(28.6) 残高 9.0 底径 — 口縁部一部	—	胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (K) 5YR4/6 赤褐 (A) 5YR4/4 に近い赤褐		体部は直線的に開き、先端で 折れて内傾して口縁部に至る	(K) 刷毛調整の後ヘラミガキ (A) 刷毛調整の後ヘラミガキ
SB-26 2 8	片口 鉢 弥生	口径 20.0 残高 8.5 底径 — 胎径3/4—器径	—	胎; 石英、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (K) 7.5R4/6 赤 (A) 7.5R4/6 赤		片口を有する	(K) ヘラミガキ (ヨコ) 赤色塗彩 (A) ヘラミガキ (ヨコ) 赤色塗彩
SB-26 2 9	深鉢 弥生	口径(10.2) 残高 2.5 底径 — 口縁部1/4	—	胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (K) 10R4/6 赤褐 (A) 10R4/4 赤褐		口縁部は小さく外反する	(K) ヘラミガキ (ヨコ) 赤色塗彩 (A) ヘラミガキ (ヨコ) 赤色塗彩
SB-26 3 0	深鉢 弥生	口径 — 残高 2.4 底径 — 口縁部一部	—	胎; 雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (K) 2.5YR4/6 赤褐 (A) 2.5YR4/6 赤褐		口縁部に1孔を穿つ	(K) ヘラミガキ 赤色塗彩 (A) ヘラミガキ 赤色塗彩
SB-26 3 1	深鉢 弥生	口径 14.5 残高 13.0 底径 — 胎径—器径	—	胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (K) 10R4/6 赤 (A) 10R5/6 赤		丸みのある胴部より緩やかに 外反して、口縁部に至る	(K) 刷毛調整の後ヘラミガキ 赤色塗彩 (A) ヘラミガキ 赤色塗彩
SB-26 3 2	甗 弥生	口径 21.6 器高 14.0 底径 6.0 ほぼ完全	—	胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (K) 2.5YR5/6 明赤褐 (A) 2.5YR5/6 明赤褐		平底より直線的に開き、口縁 部でやや内寄する 底部に1孔を穿つ	(K) 刷毛調整の後ナデ (A) 刷毛調整の後ヘラミガキ
SB-26 3 3	蓋 弥生	抓み径 8.6 残高 8.5 菊径 — 胎径—器径	—	胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (K) 5YR4/6 赤褐 (A) 5YR4/3 に近い赤褐		天井部に1孔を穿つ	(K) ヘラケズリ 刷毛調整 (A) ヘラケズリ
SB-26 3 4	蓋 弥生	胎径(5.4) 残高 12.0 菊径(23.6) 胎径—器径	—	胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (K) 10R5/6 赤 (A) 7.5YR6/6 橙		天井部に1孔を穿つ 抓み部より直線的に開いて、 緩やかに裾部に至る	(K) ヘラミガキ 赤色塗彩 (A) 刷毛調整 赤色塗彩
SB-26 3 5	蓋 弥生	抓み径 5.4 残高 6.9 菊径 — 胎径—器径	—	胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (K) 7.5YR4/4 褐 (A) 7.5YR3/4 暗褐		天井部に1孔を穿つ	(K) ナデ (A) ヘラケズリ 刷毛調整
SB-26 3 6	ミニ チュ ア 土師	口径 7.2 器高 8.7 底径(4.7) 胎径—器径	—	胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (K) 5YR5/6 明赤褐~2.5Y2/1 黒 (A) 2.5YR5/6 明赤褐		平底より立ち上がり、緩やか に外反する 口縁部は短く外に肥厚する	(K) ヘラケズリ 刷毛調整の後ナデ (A) ヘラケズリ

第 25 表 遺物観察表 (23)

遺構 NO 図版 NO	器種 種類	法 残	量 存	器 器	實 成 形 ・ 形 態 ほか	整 形 形 態 ほか
SB-26 37	ミニ チュア 弥生	口徑 器高 底径 口縁部一 部	4.2 5.6 2.6 — —	胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (A) 10YR6/4 黒 (A) 7.5YR7/6 黒-10YR1.7/1 黒 (A) 7.5YR7/6 黒-10YR1.7/1 黒	ツボのミニチュア	(A) ヘラケズリ (A)
SB-27 1	壺 弥生	口徑 残高 底径 口縁部一 部	14.6 (3.0) — — —	胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (A) 10R3/4 暗赤 (A) 10R3/4 暗赤	口縁部は受け口状を呈する 2か所に孔を穿つ	(A) 縞状文を施す ヘラミガキ 赤色塗彩 (A) ヘラミガキ 赤色塗彩
SB-27 2	壺 弥生	口徑 残高 底径 頸部一 部	— 3.9 — —	胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (A) 5YR5/6 明赤褐 (A) 7.5YR7/4 にふい橙	平底	(A) 頸部にT字文を施す ボタン状貼り付け文を有する 赤色塗彩 (A)
SB-27 3	壺 弥生	口徑 残高 底径 底部	— 4.6 (7.6) 1/3	胎; 石英、粗砂粒、礫含む 焼; 良好 色; (A) 10R5/6 赤 (A) 2.5GY2/1 黒	平底	(A) ヘラミガキ (タテ) 赤色塗彩 (A) 刷毛調整
SB-27 4	瓶 土師	口徑 残高 底径 頸部	— 2.9 — 1/4	胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (A) 10R3/2 暗赤褐 (A) 10R3/2 暗赤褐	二重口縁 連続して刻目を施す	(A) ヘラミガキ 頸部上部のみ赤色塗彩 (A) 頸部上部のみ赤色塗彩
SB-27 5	壺 土師	口徑 残高 底径 頸部	— 4.7 — 1/2	胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (A) 2.5YR5/6 明赤褐 (A) 2.5YR4/4 にふい赤褐	張りのある体部より屈曲して 長く外傾して口縁部に至る	(A) ヘラケズリの後ヘラミガキ (A) 胴部ヘラケズリ 口縁部ヘラミガキ
SB-27 6	甕 弥生	口徑 残高 底径 口縁部	12.3 6.4 — 3/4	胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (A) 10YR3/2 黒褐 (A) 7.5YR4/2 灰褐	張りのある胴部より外反して 口縁部に至る	(A) 波状文と縞状文を施す (A) 刷毛調整
SB-27 7	甕 弥生	口徑 残高 底径 口縁部一 部	14.8 3.5 — —	胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (A) 5YR3/3 暗赤褐 (A) 5YR3/3 暗赤褐		(A) 4条1組の波状文を下から上 に施す (A) ヘラミガキ
SB-27 8	甕 弥生	口徑 残高 底径 口縁部一 部	7.7 5.0 — —	胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (A) 7.5YR3/4 暗褐 (A) 7.5YR4/4 褐	緩やかに外反する	(A) 波状文を施す (A) ヘラミガキ
SB-27 9	甕 弥生	口徑 残高 底径 口縁部一 部	— 5.2 — —	胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (A) 5YR4/3 にふい赤褐 (A) 5YR4/6 赤褐	外反する	(A) 縞描文を施す (A) ヘラミガキ (ヨコ)
SB-27 10	甕 土師	口徑 残高 底径 口縁部一 部	14.6 4.3 — —	胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (A) 2.5YR5/6 明赤褐 (A) 2.5YR6/6 橙	張りのある胴部より屈曲し直 線的に短く外反して口縁部に 至る	(A) (A) ナデ (ヨコ)
SB-27 11	甕 土師	口徑 残高 底径 口縁部一 部	14.4 8.6 — —	胎; 雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (A) 7.5YR3/2 黒-5YR5/6 黒 (A) 5YR5/4 にふい赤褐	張りのある胴部より屈曲して 外反し口縁部に至る	(A) 刷毛調整 口縁部ナデ (A) ヘラミガキ
SB-27 12	甕 土師	口徑 残高 底径 口縁部一 部	16.1 19.7 — —	胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (A) 7.5YR2/1 黒 (A) 5YR4/6 赤褐	張りのある胴部より屈曲して 外反し口縁部に至る *床着	(A) ヘラケズリ ナデ (A) ナデ ヘラケズリの後ヘラミ ガキ
SB-27 13	甕 土師	口徑 残高 底径 口縁部一 部	19.6 3.5 — —	胎; 雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (A) 7.5YR4/3 褐 (A) 7.5YR3/3 黒-5YR5/6 黒	二重口縁	(A) ナデ (ヨコ) (A) ナデ (ヨコ)
SB-27 14	台付 甕 土師	口徑 残高 底径 口縁部	8.0 6.5 — 1/4	胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (A) 5YR5/6 赤褐 (A) 5YR6/6 橙	脚部の先端は内側に折り返す	(A) 刷毛調整 (A)

第 26 表 遺物観察表 (24)

遺構 NO 図版 NO	器種 種類	法 残	量 存	器	質	成形・形態ほか	整形 ほか
SB-27 15	高坏 土師	口径 残高 裾径 接合部	— 5.0 — —	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(K) 7.5YR6/6 橙 (H) 5YR5/6 明赤褐		脚部に透かしを有する	(K) ヘラミガキ (H) ヘラケズリ
SB-27 16	高坏 土師	口径 残高 裾径 接合部	— 3.5 — —	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(K) 5YR4/6 赤褐 (H) 5YR4/6 赤褐		脚部に3か所の円形の透かしを有する	(K) ヘラミガキ (H) 脚部ヘラケズリ
SB-27 17	高坏 土師	口径 残高 裾径 裾部3/4	— 3.9 8.5 —	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(K) 5Y4/1R-5YR5/6 緑 (H) 2.5Y5/2 緑-5YR5/6 緑		直線的に開く	(K) (H) 脚部刷毛調整
SB-27 18	高坏 土師	口径 残高 裾径(17.6) 裾部一部	— 3.3 — —	胎；石英、雲母、粗砂粒、礫含む 焼；良好 色；(K) 5YR6/6 橙 (H) 5YR6/6 橙		脚部に透かしを有する	(K) ヘラミガキ (H) ヘラミガキ
SB-27 19	器台 土師	口径 器高 裾径 脚部	8.4 8.7 9.4 —	胎；雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(K) 7.5YR7/4 に近い橙 (H) 7.5YR7/4 に近い橙		脚部に6か所の透かしを有する	(K) ヘラミガキ (H) 脚部刷毛調整 環部ヘラミガキ
SB-27 20	器台 弥生	口径 残高 裾径 脚部一部	— 3.2 — —	胎；石英、粗砂粒含む 焼；良好 色；(K) 10R4/6 赤 (H) 2.5YR3/4 暗褐		脚部に透かしを有する	(K) ヘラミガキ 赤色塗彩 (H) 刷毛調整
SB-27 21	鉢 土師	口径(10.8) 器高 底径 口縁部一部	— 5.2 2.7 —	胎；雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(K) 5YR6/4 に近い橙 (H) 5YR6/4 に近い橙		平底より立ち上がり、直線ぎみに開いて口縁部に至る	(K) ヘラケズリ (H) ヘラミガキ
SB-27 22	鉢 土師	口径(12.4) 残高 底径 口縁部1/4	— 3.9 — —	胎；雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(K) 2.5YR6/6 橙 (H) 2.5YR6/6 橙		口唇部の内側に面取りを施す	(K) ヘラミガキ (H) ヘラミガキ
SB-27 23	鉢 土師	口径(9.8) 残高 底径 口縁部一部	— 3.6 — —	胎；石英、粗砂粒含む 焼；良好 色；(K) 2.5YR5/6 明褐 (H) 2.5YR6/6 橙		張りのある胴部より屈曲して口縁部に至る	(K) ヘラミガキ 赤色塗彩 (H) ヘラミガキ
SB-27 24	甌 弥生	口径 残高 底径 底部一部	— 2.3 8.0 —	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(K) 7.5YR6/4 に近い橙 (H) 7.5YR6/6 橙		平底に1孔を穿つ	(K) 刷毛調整の後ヘラミガキ (H) 刷毛調整の後ヘラミガキ
SB-27 25	蓋 土師	孤み径 器高 裾径(17.4) 口縁部1/4	4.2 5.2 — —	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(K) 5YR6/6 橙-7.5YR5/2 緑 (H) 5YR6/4 に近い橙-2/3 緑		天井に1孔を穿つ	(K) ヘラケズリの後ナデ (H) ヘラケズリの後ナデ
SB-27 26	ミニ チュア 土師	口径 器高 底径 口縁部2/3	7.1 2.6 5.5 —	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(K) 7.5YR6/4 に近い橙 (H) 7.5YR5/4 に近い橙-10YR3/1 緑		平底で浅い	(K) ナデの後ヘラミガキ (H) ナデの後ヘラミガキ
SB-28 1	壺 弥生	口径(21.0) 残高 底径 口縁部一部	— 5.5 — —	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(K) 5YR6/6 橙 (H) 5YR6/6 橙		口縁は大きく外反する	(K) 刷毛調整 (H) ヘラミガキ(ヨコ)
SB-28 2	甕 弥生	口径 残高 底径 口縁部一部	— 1.8 — —	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(K) 2.5YR3/2 暗赤褐 (H) 2.5YR3/4 暗赤褐		口縁部を折り返して作る	(K) 波状文を施す (H) ヘラミガキ
SB-28 3	甕 土師	口径(11.6) 残高 底径 口縁部一部	— 5.0 — —	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(K) 10YR5/3 に近い黄褐 (H) 7.5YR4/6 褐		張りのある胴部より屈曲して外反する口縁部に至る 口唇部に面取りを施す	(K) ヘラケズリ ナデ (H) 刷毛調整

第 27 表 遺物観察表(25)

遺物 図版 NO	器種 種類	法 残	量 存	器	質	成形・形 部 ほか	整 形 部 ほか
SB-28	甕	口径(15.8) 残高 2.8 底径 —	胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (A) 7.5YR3/3 暗褐 (A) 7.5YR4/4 褐	胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (A) 5YR3/3 暗赤褐 (A) 5YR3/4 暗赤褐	張りのある胴部より屈曲して 外反する	(A) 刷毛調整 (A)	
4	土師	口径(15.6) 残高 4.0 裾径 —	胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (A) 5YR3/3 暗赤褐 (A) 5YR3/4 暗赤褐	胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (A) 5YR3/3 暗赤褐 (A) 5YR3/4 暗赤褐	S字状口縁台付甕	(A) 刷毛調整 (A) ヘラミガキ	
5	土師	口径 — 残高 4.5 底径 —	胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (A) 7.5YR6/4 におい橙 (A) 7.5YR5/3 におい橙	胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (A) 7.5YR6/4 におい橙 (A) 7.5YR5/3 におい橙	丸みのある胴部	(A) 刷毛調整 (A) ナデ	
6	土師	口径 — 残高 2.9 裾径 7.0	胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (A) 7.5YR4/3 褐 (A) 2.5YR4/6 赤褐	胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (A) 7.5YR4/3 褐 (A) 2.5YR4/6 赤褐	緩やかに開く	(A) (A)	
7	七師	口径 — 残高 7.1 裾径 —	胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (A) 10R4/4 赤褐 (A) 10R2/1 赤黒	胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (A) 10R4/4 赤褐 (A) 10R2/1 赤黒	環部は直線的に開く	(A) ヘラミガキ 赤色塗彩 (A) ヘラミガキ	
8	弥生	口径 — 残高 5.4 裾径(10.8)	胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (A) 10YR4/1 褐灰 (A) 10YR3/1 黒褐	胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (A) 10YR4/1 褐灰 (A) 10YR3/1 黒褐	直線的に開く	(A) ヘラミガキ (タテ) (A) 刷毛調整 ヘラクスリ	
9	弥生	口径 — 残高 4.3 裾径 —	胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (A) 7.5YR5/3 におい橙 (A) 7.5YR6/4 におい橙	胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (A) 7.5YR5/3 におい橙 (A) 7.5YR6/4 におい橙	胴部に透かしを有する 環部は横を有して折れて開く	(A) ヘラミガキ (A) 脚部ヘラクスリ	
10	土師	口径 — 残高 4.5 底径 —	胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (A) 5YR4/4 におい赤褐 (A) 5YR4/6 赤褐	胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (A) 5YR4/4 におい赤褐 (A) 5YR4/6 赤褐	外反する	(A) 波状文と簾状文を施す 波状文は下から上に向かって 施文する (A)	
1	弥生	口径 — 残高 4.4 底径 —	胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (A) 5YR4/6 赤褐色 (A) 5YR4/6 赤褐色	胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (A) 5YR4/6 赤褐色 (A) 5YR4/6 赤褐色	外反する	(A) 波状文と簾状文を施す 波状文は下から上に向かって 施文する (A)	
2	弥生	口径 — 残高 4.0 底径 —	胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (A) 7.5YR3/2 黒褐 (A) 5YR4/8 赤褐	胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (A) 7.5YR3/2 黒褐 (A) 5YR4/8 赤褐	緩やかに外反する	(A) 櫛指文を施す (A) ヘラミガキ	
3	弥生	口径(21.0) 残高 10.7 底径 —	胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (A) 5YR5/6 明赤褐 (A) 5YR5/6 明赤褐	胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (A) 5YR5/6 明赤褐 (A) 5YR5/6 明赤褐	張りのある胴部より屈曲し外 反して口縁に至る ※床着	(A) 刷毛調整 (A) 刷毛調整	
4	土師	口径 — 残高 3.0 底径 —	胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (A) 2.5YR5/6 明赤褐 (A) 2.5YR4/6 赤褐	胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (A) 2.5YR5/6 明赤褐 (A) 2.5YR4/6 赤褐	段を有する	(A) (A)	
5	土師	口径 — 残高 2.2 底径 —	胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (A) 5YR5/6 明赤褐 (A) 7.5YR5/4 におい橙	胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (A) 5YR5/6 明赤褐 (A) 7.5YR5/4 におい橙	口唇部に面取りを施す	(A) ナデ (ヨコ) (A) ナデ (ヨコ)	
6	土師	口径(15.6) 残高 3.2 裾径 —	胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (A) 5YR6/4 におい橙-7.5YR4/1 黒 (A) 5YR6/4 におい橙-7.5YR4/1 黒	胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (A) 5YR6/4 におい橙-7.5YR4/1 黒 (A) 5YR6/4 におい橙-7.5YR4/1 黒	丸みをもって開く	(A) ヘラミガキ 赤色塗彩 (A)	
7	弥生	口径 — 残高 2.5 裾径 —	胎; 雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (A) 5YR4/6 赤褐 (A) 5YR4/6 赤褐	胎; 雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (A) 5YR4/6 赤褐 (A) 5YR4/6 赤褐	脚部を環部に埋め込む	(A) ヘラミガキ (A) 環部ヘラミガキ	
8	土師	口径 — 残高 2.5 裾径 —	胎; 雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (A) 5YR4/6 赤褐 (A) 5YR4/6 赤褐	胎; 雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (A) 5YR4/6 赤褐 (A) 5YR4/6 赤褐			

第 28 表 遺物観察表 (26)

遺構 NO 掘版 NO	器種 種類	法 規	量 存	器	質	成形・形態ほか	整 形 ほ か
SB-29 9	甕 弥生	抓み径 4.2 残高 3.3 裾径 — 抓み部		胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (N) 5YR6/6 橙 (R) 5YR6/6 橙		天井部に1孔を穿つ	(N) ナデ (R) ヘラケズリ
SB-29 10	ミニ チュ ア 土師	口径 — 残高 3.0 底径 2.8 底部~胴部		胎; 雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (S) 5YR5/6 明赤褐 (R) 5YR5/6 明赤褐		手捏ね土器	(N) (R)
SB-30 1	壺 弥生	口径(24.2) 残高 6.0 底径 — 口縁部一部		胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (N) 10R3/4 暗赤 (R) 10R4/6 赤		外反して大きく開く	(N) 赤色塗彩 (R) 赤色塗彩
SB-30 2	壺 弥生	口径 18.5 残高 6.9 底径 — 口縁部		胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (N) 5YR6/6 橙 (R) 7.5YR6/4 に近い橙		口縁部は受け口状を呈する *床着	(N) ヘラミガキ(タテ、ヨコ) (R) ヘラミガキ(ヨコ)
SB-30 3	壺 土師	口径(11.0) 残高 6.3 底径 — 口縁部 1/4		胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (S) 10YR7/4 に近い黄橙 (R) 7.5YR7/4 に近い橙		胴部より屈曲して直線的に開き 口縁部に至る	(N) ヘラミガキ(タテ) (R) 刷毛調整 ナデ
SB-30 4	壺 土師	口径(11.4) 残高 4.9 底径 — 口縁部一部		胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (S) 7.5YR7/4 に近い橙 (R) 7.5YR7/4 に近い橙		胴部より屈曲し直線的に長く 外反する	(N) 口縁部ナデ(ヨコ) 刷毛調整 (R)
SB-30 5	壺 弥生	口径 — 残高 2.8 底径 2.3 底部		胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (N) 10R5/6 赤 (R) 10YR7/2 に近い黄橙			(N) ヘラミガキ 底部まで赤色塗彩 (R) ヘラケズリ 刷毛調整
SB-30 6	壺 弥生	口径 — 残高 1.4 底径 3.7 底部		胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (S) 7.5R4/8 赤 (R) 10R4/6 赤		*床着	(N) 底部は刷毛調整 赤色塗彩 (R) 赤色塗彩
SB-30 7	壺 土師	口径 — 残高 3.0 底径 — 胴部一部		胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (S) 7.5YR7/6 橙 (R) 7.5YR7/6 橙-7.5YR6/2 緑		張りのある胴部	(N) 横描文を施す (R)
SB-30 8	甕 土師	口径(13.8) 残高 15.5 底径 — 口縁部 1/4		胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (S) 5YR6/4 に近い赤-7.5YR4/2 緑 (R) 2.5YR6/6 橙		口縁部で外反する	(N) 刷毛調整 (R) ヘラケズリ
SB-30 9	甕 土師	口径(18.9) 残高 7.0 底径 — 口縁部一部		胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (S) 5YR6/6 橙 (R) 5YR7/6 橙		張りのある胴部より屈曲外反 して口縁部に至る	(N) 口縁部ナデ(ヨコ) (R) 口縁部ナデ(ヨコ)
SB-30 10	甕 土師	口径(11.5) 残高 8.2 底径 — 口縁部 1/4		胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (S) 5YR6/4 に近い橙 (R) 7.5YR6/4 に近い橙		口縁部で屈曲し外反する	(N) ヘラケズリ (R) 口縁部刷毛調整 胴部ヘラケズリ
SB-30 11	甕 土師	口径 12.8 器高 13.4 底径 6.4 口縁部 2/3		胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (S) 10YR7/2 に近い赤-7.5YR3/1 緑 (R) 10YR7/3 に近い黄橙		平底より立ち上がり、緩やかに やや外反して口縁部に至る 口縁部は折り返す *床着	(N) 刷毛調整 (R) 口縁部ヘラミガキ(ヨコ) 胴部ヘラミガキ(タテ)
SB-30 12	甕 土師	口径(20.2) 残高 2.8 底径 — 口縁部一部		胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (S) 5YR6/6 橙 (R) 5YR6/6 橙		段を有して外反する	(N) ナデ(ヨコ) (R) ナデ(ヨコ)
SB-30 13	甕 土師	口径 — 残高 2.0 底径 — 口縁部一部		胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (S) 2.5YR6/6 橙 (R) 5YR4/3 に近い赤褐		口唇部に面取りを施す	(N) ナデ(ヨコ) (R) ナデ(ヨコ)

第 29 表 遺物観察表(27)

遺構 NO 図版 NO	器種 種類	法 残	量 存	器	質	成形・形態ほか	整形 ほか
SB-30 14	甕 土師	口径 - 残高 3.9 底径 - 口縁部一部	-	胎;石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 7.5YR7/6 黄-7.5YR3/1 黒 (B) 5YR6/8 橙		口縁部を折り返して作る	(A) ナデ (B) ヘラミガキ
SB-30 15	高坏 弥生	口径 - 残高 7.2 口径 - 坏部一部	-	胎;石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 10R4/6 赤 (B) 10R4/6 黄-7.5YR6/6 黄	*土器敷戸		(A) ヘラミガキ (タテ) 赤色塗彩 (B) 赤色塗彩
SB-30 16	高坏 土師	口径 9.8 器高 6.9 口径 6.0 口径 1/2-部	-	胎;石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 5YR7/6 橙 (B) 5Y4/1 灰		口縁部に面取りを施す *床着	(A) 坏部ヘラミガキ (タテ) 脚部刷毛調整 (B) 坏部ヘラミガキ (タテ)
SB-30 17	高坏 土師	口径 13.9 残高 8.0 口径 - 坏部 3/4	-	胎;石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 5YR5/6 明赤褐 (B) 5YR6/6 橙		縁を有して内湾する	(A) ヘラミガキ (ヨコ) (B) ヘラミガキ (ヨコ)
SB-30 1	高坏 土師	口径 - 残高 4.8 口径 (13.3) 脚部 1/4	-	胎;石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 7.5YR6/6 橙 (B) 5YR5/6 明赤褐		脚部に面取りを有し、ラッパ 状に開く	(A) ヘラケズリの後ヘラミガキ 赤色塗彩 (B) 刷毛調整
SB-30 19	甕 弥生	口径 - 残高 5.7 口径 6.2 底部	-	胎;石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 2.5YR5/6 黄-2.5YR2/1 黒 (B) 5YR5/8 橙		平底に1孔を穿つ	(A) ヘラミガキ (タテ) (B) ヘラミガキ (ヨコ)
SB-30 20	甕 弥生	口径 - 残高 2.0 口径 5.9 底部 1/2	-	胎;石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 5YR6/6 橙 (B) 5YR6/6 橙		平底に1孔を穿つ	(A) ヘラミガキ (B) ヘラミガキ
SB-30 21	蓋 弥生	掴み径 4.7 残高 3.3 口径 - 胎部-縁部	-	胎;石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 5YR6/6 橙 (B) 5YR6/6 黄-5YR5/2 緑		掴み部より開く	(A) 刷毛調整 (B) 刷毛調整
SB-30 22	蓋 弥生	掴み径 5.9 残高 2.1 口径 - 掴み部	-	胎;石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 5YR4/4 赤 (B) 5YR4/3 赤		天井部に1孔を穿つ	(A) ヘラケズリ ナデ (B) ヘラケズリ ナデ
SB-31 1	壺 弥生	口径 - 残高 24.6 口径 - 胴部一部	-	胎;石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 2.5YR6/6 黄-7.5YR6/6 黄 (B) 5YR5/6 黄-10YR3/2 黒		やや張りのある胴部より緩や かに頸部ですぼまる	(A) 頸部にT字文を施す 赤色塗彩 (B) 赤色塗彩
SB-31 2	壺 弥生	口径 - 残高 11.8 口径 - 口径 1/2	-	胎;雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 2.5YR5/6 黄-2.5YR4/3 赤 (B) 2.5YR7/6 黄-2.5YR4/2 緑		大きく外反して開く	(A) 頸部にT字文を施す ヘラミガキ (タテ) 赤色塗彩 (B) ヘラミガキ (ヨコ) 赤色塗彩
SB-31 3	壺 弥生	口径 - 残高 8.0 口径 - 胴部一部	-	胎;石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 10R4/4 赤褐 (B) 10R3/4 暗赤			(A) 頸部に横線文を施す ヘラミガキ (タテ) 赤色塗彩 (B) ヘラミガキ (ヨコ) 赤色塗彩
SB-31 4	甕 弥生	口径 16.6 器高 20.1 口径 6.2 口径 - 口径 -	-	胎;石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 2.5YR5/4 黄-5YR5/6 黄 (B) 5YR5/6 明赤褐		平底より立ち上がり、丸みの ある胴部より強く外反して口 縁部に至る	(A) 波状文を施す (B)
SB-31 5	甕 弥生	口径 - 残高 21.0 口径 6.0 口径 - 口径 -	-	胎;石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 5YR5/4 赤 (B) 7.5YR5/3 赤		平底より立ち上がり、丸みの ある胴部に移行する 胴部上位が張る *床着	(A) 波状文と横線文を施す (B) ヘラミガキ (ヨコ)
SB-31 6	甕 弥生	口径 (15.8) 残高 9.0 口径 - 口径 -	-	胎;石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 5YR5/4 赤 (B) 5YR5/4 赤		胴部より緩やかに外反して口 縁部に至る	(A) 波状文を施す 2連止めの横線文を施す (B) ヘラミガキ (ヨコ)

第 30 表 遺物観察表 (28)

遺構 NO 図版 NO	器種 種類	法 量 容 存	器 質	成形・形態ほか	整 形 ほ か
SB-31	甕	口径(15.0) 残高 7.7 底径 — 口縁部一部	胎; 雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (※) 7.5YR6/4 にふい橙 (R) 7.5YR6/4 にふい橙	口縁部は緩やかに外反する	(※) 波状文を口縁部は下から上へ 胴部は上から下へ施す (R) ヘラミガキ
SB-31	甕	口径(17.2) 残高 8.0 底径 — 胴1/4 胴2/4	胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (※) 7.5YR4/3 褐 (R) 10YR3/2 黒褐	口縁部は緩やかに外反する	(※) 簾状文を施した後、波状文を 施す (R) ヘラケズリ ヘラミガキ (ヨコ)
SB-31	甕	口径(13.5) 残高 9.0 底径 — 胴1/3 胴2/3	胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (※) 5YR5/6 明赤褐 (R) 5YR5/4 にふい赤褐	胴部より緩やかに外反して口 縁部に至る	(※) 波状文と簾状文を施す (R) ヘラミガキ (ヨコ)
SB-31	甕	口径 — 残高 9.8 底径 (8.0) 胴1/3 胴2/3	胎; 石英、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (※) 5YR5/4 にふい赤褐 (R) 7.5YR4/3 褐	平底より立ち上がり、直線的 に開く胴部に移行する	(※) ヘラミガキ (R)
SB-31	甕	口径 — 残高 1.6 底径 6.4 底部 1/2	胎; 雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (※) 5YR4/3 にふい赤褐 (R) 5YR4/3 にふい赤褐	平底	(※) ヘラケズリ (R) 刷毛調整
SB-31	甕	口径 — 残高 3.0 底径 6.6 底部 3/4	胎; 雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (※) 5YR6/4 にふい橙 (R) 5YR6/4 にふい橙	平底	(※) ヘラケズリの後ヘラミガキ (R) ヘラケズリ
SB-31	壺	口径 — 残高 2.5 底径 7.0 底部	胎; 雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (※) 5YR5/4 にふい赤褐 (R) 5YR5/4 にふい赤褐	平底	(※) ヘラミガキ (R) ヘラケズリの後ヘラミガキ
SB-31	高環	口径 — 残高 3.1 裾径 — 接合部	胎; 石英、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (※) 2.5YR6/6 橙 (R) 5YR6/4 にふい橙	脚部を環部に埋め込み接合す る	(※) ヘラミガキ (R) 環部ヘラミガキ 脚部ヘラケズリ ナデ
SB-31	鉢	口径(21.4) 残高 6.8 底径 — 胴1/3 胴2/3	胎; 粗砂粒含む 焼; 良好 色; (※) 2.5YR4/1 赤灰 (R) 2.5YR4/1 赤灰	直線的に開く	(※) ヘラケズリの後ヘラミガキ (R) 刷毛調整
SB-32	壺	口径 — 残高 48.5 底径 13.0 胴2/3 胴3/3	胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (※) 5YR6/4 にふい橙-5YR4/1 藍 (R) 2.5YR5/6 明赤褐	胴部は下服れの形態を呈する	(※) 頸部に T 字文を施す 刷毛調整の後ヘラミガキ 赤色塗彩 (R) 刷毛調整
SB-32	壺	口径 — 残高 4.4 底径 — 頸部一部	胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (※) 2.5YR5/6 明赤褐 (R) 2.5YR4/8 赤褐	外反する	(※) 櫛状文を施す 赤色塗彩 (R) ヘラミガキ (ヨコ)
SB-32	壺	口径 — 残高 7.1 底径 6.0 胴1/2 胴2/2	胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (※) 5YR6/6 橙 (R) 5YR7/6 橙	胴部は下位で外反する	(※) ヘラミガキ (タテ) (R) 刷毛調整
SB-32	壺	口径 — 残高 6.3 底径 5.8 胴部一部	胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (※) 5YR4/3 にふい赤褐 (R) 7.5YR5/4 にふい褐	平底より立ち上がり、直線的 に開いて胴部に移行する	(※) ヘラミガキ (ナナメ) (R)
SB-32	壺	口径 — 残高 3.0 底径 — 口縁部	胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (※) 7.5YR6/4 にふい橙 (R) 7.5YR6/4 にふい橙	段を有する	(※) ボタン状貼付文を連続して施 す ヘラミガキ (R) ヘラミガキ
SB-32	壺	口径(18.0) 残高 6.5 底径 — 口縁部一部	胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (※) 7.5YR6/4 にふい橙 (R) 7.5YR6/4 にふい橙	口縁部は胴部より屈曲し、縁 を経て外反する 口唇部に面取りを施す	(※) 刷毛調整の後ヘラミガキ 口唇部赤色塗彩 (R) 刷毛調整の後ヘラミガキ 口唇部赤色塗彩

第 31 表 遺物観察表 (29)

遺構NO 図版NO	器種 複製	法 残	量 存	器	質	成形・形態ほか	整 形 ほか
SB-32 7	壺 土師	口径10.0 残高6.3 底径— 口縁部1/2		胎;石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A)7.5YR6/4にぶい赤褐 (B)7.5YR6/4にぶい赤褐 (C)7.5YR6/4にぶい赤褐		体部より折れて、内寄ぎみに 長く開く口縁部に至る	(A)ヘラケズリの後ヘラミガキ (B)ヘラミガキ
SB-32 8	甕 弥生	口径(11.6) 残高7.4 底径— 口縁部—		胎;石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A)2.5YR4/8赤褐 (B)5YR4/6緑-5YR3/4黄緑		丸みのある胴部より強く外 反して口縁部に至る	(A)波状文を施す (B)ヘラミガキ(ヨコ)
SB-32 9	甕 弥生	口径(19.8) 残高6.5 底径— 口縁部—		胎;雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A)5YR5/4にぶい赤褐 (B)5YR5/4にぶい赤褐		胴部より緩やかに外反し て、口縁部に至る 口縁部は受け口さみである	(A)胴部に2連止めの縞状文を施 す 波状文を施す (B)ヘラミガキ(ヨコ)
SB-32 10	甕 弥生	口径(14.2) 残高7.5 底径— 口縁部—		胎;石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A)5YR5/4にぶい赤褐 (B)5YR4/2灰褐		緩やかに外反する	(A)波状文を施す (B)ヘラミガキ(ヨコ)
SB-32 11	甕 弥生	口径(16.8) 残高5.9 底径— 口縁部1/4		胎;石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A)5YR6/6橙 (B)5YR6/6橙		口唇部に面取りを施す	(A)刷毛調整 (B)刷毛調整
SB-32 12	甕 土師	口径(26.4) 残高16.5 底径— 口縁部—		胎;石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A)7.5YR5/4にぶい褐 (B)7.5YR4/6褐		張りのある胴部より外反し て口縁部に至る	(A)縞描文を施す (B)ヘラミガキ(ヨコ)
SB-32 13	甕 土師	口径(14.7) 残高12.1 底径— 口縁部—		胎;石英、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A)2.5YR5/6明赤褐 (B)2.5YR4/4にぶい赤褐		丸みのある胴部より折れて 外反して口縁部に至る	(A)刷毛調整 (B)刷毛調整
SB-32 14	甕 土師	口径11.5 残高9.5 底径— 口縁部1/2		胎;石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A)2.5YR4/8赤褐 (B)7.5YR4/3褐		丸みのある胴部より外反し て口縁部に至る	(A)刷毛調整 (B)ヘラケズリ
SB-32 15	甕 土師	口径12.0 残高9.2 底径— 口縁部—		胎;石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A)5YR3/3暗赤褐 (B)5YR4/2灰褐		張りのある胴部より折れ て、直線的に開いて口縁部 に至る 口唇部に加取りを施す	(A)口縁部ナデ(ヨコ) 胴部刷毛調整 (B)ヘラケズリ (C)口縁部ナデ(ヨコ) 胴部刷毛調整
SB-32 16	甕 土師	口径(15.4) 残高4.0 底径— 口縁部一部		胎;石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A)2.5YR3/3暗赤褐 (B)5YR5/4にぶい赤褐		張りのある胴部より折れ て、直線的に開いて口縁部 に至る 口唇部に加取りを施す	(A)ナデ(ヨコ) (B)刷毛調整
SB-32 17	甕 土師	口径(16.8) 残高4.3 底径— 口縁部1/3		胎;石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A)2.5YR4/3にぶい赤褐 (B)5YR5/4にぶい赤褐		口縁部は外反する	(A)口縁部ナデ(ヨコ) 胴部刷毛調整 (B)口縁部ナデ(ヨコ) 胴部刷毛調整
SB-32 18	甕 土師	口径(18.0) 残高2.9 底径— 口縁部一部		胎;石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A)10YR3/1黒褐 (B)7.5YR5/3にぶい褐		胴部より屈折して外反し口 縁部に至る 口唇部に加取りを施す	(A)刷毛調整 (B)ヘラケズリ ナデ(ヨコ)
SB-32 19	甕 土師	口径(14.3) 残高3.7 底径— 口縁部1/4		胎;石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A)5YR4/3にぶい赤褐 (B)7.5YR4/2灰褐		口縁部は外反する 口唇部に加取りを施す	(A)ナデ(ヨコ) 刷毛調整 (B)ナデ(ヨコ) 刷毛調整
SB-32 20	甕 土師	口径(17.4) 残高3.1 底径— 口縁部1/2		胎;雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A)2.5YR6/4にぶい橙 (B)2.5YR6/4にぶい橙		張りのある胴部より緩やか に 外反して口縁部に至る	(A)口縁部ナデ(ヨコ) 胴部刷毛調整 (B)ヘラケズリ 刷毛調整
SB-32 21	甕 土師	口径(12.0) 残高5.2 底径— 口縁部—		胎;石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A)5YR6/6橙 (B)5YR6/4にぶい橙		胴部より緩やかに外反する	(A)刷毛調整 (B)刷毛調整

第32表 遺物観察表(30)

遺構 NO 図版 NO	器種 種類	法 量 存	器 質	成形・形態ほか	整 形 ほか
SB-32	甕 2 2	口径 - 残高 4.2 底径 - 口縁部一部	胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (R) 7.5YR5/4 にふい褐色 (R) 7.5YR5/4 にふい褐色	口縁部を外側へ折り返す	(R) 刷毛調整 赤色塗彩 (R) 刷毛調整 赤色塗彩 ヘラミガキ
SB-32	甕 2 3	口径 - 残高 3.4 底径 - 口縁部一部	胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (R) 2.5YR5/6 明赤褐 (R) 2.5YR5/6 明赤褐	口縁部を外側へ折り返す	(R) ハゲナデ (R) ヘラミガキ
SB-32	甕 2 4	口径 - 残高 1.9 底径 - 口縁部一部	胎; 雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (R) 2.5YR5/6 明赤褐 (R) 5YR4/6 赤褐	口縁部の先端に稜を有する	(R) ナデ (ヨコ) (R) ナデ (ヨコ)
SB-32	甕 2 5	口径 10.2 残高 10.0 底径 - 口縁部一部	胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (R) 7.5YR6/4 にふい橙 (R) 5YR4/6 赤褐	胴部より緩やかに「コ」の字状に外反する	(R) 刷毛調整 (R) 刷毛調整
SB-32	甕 2 6	口径 - 残高 15.2 底径 - 口縁部1/2	胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (R) 2.5YR4/4 にふい赤褐 (R) 5YR5/4 にふい赤褐	球形の胴部より折れて、短く外反して口縁部に至る	(R) 刷毛調整 ヘラズリ (R) ヘラズリ
SB-32	甕 2 7	口径 - 残高 10.7 底径 - 胴部一部	胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (R) 2.5YR5/8 暗赤-2.5YR3/2 暗赤 (R) 2.5YR5/8 明赤褐	球形を呈する	(R) ヘラズリの後ナデ (R) ヘラズリの後ナデ
SB-32	甕 2 8	口径 - 残高 5.5 底径 5.2 口縁部一部	胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (R) 2.5YR3/1 暗赤灰 (R) 2.5YR5/4 にふい赤褐	平底より立ち上がり、胴部に移行する	(R) ヘラズリ (R) ヘラズリ ナデ
SB-32	台付 甕 2 9	口径(16.0) 残高 5.0 裾径 - 口縁部一部	胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (R) 2.5YR3/3 暗赤褐 (R) 5YR4/4 にふい橙	S字状口縁	(R) 刷毛調整 (R) 刷毛調整
SB-32	台付 甕 3 0	口径 - 残高 1.8 裾径 - 口縁部一部	胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (R) 10YR3/2 黒褐 (R) 10YR3/2 黒褐	S字状口縁	(R) 刷毛調整 ヘラミガキ (R) 刷毛調整
SB-32	台付 甕 3 1	口径 - 残高 1.9 裾径 - 口縁部一部	胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (R) 7.5YR7/3 にふい橙 (R) 7.5YR7/3 にふい橙	S字状口縁	(R) 刷毛調整 (R) ナデ
SB-32	台付 甕 3 2	口径 - 残高 2.0 裾径 - 接合部	胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (R) 5YR5/6 明赤褐 (R) 5YR5/6 明赤褐		(R) 脚部ヘラズリ、刷毛調整 (R) 坏部刷毛調整
SB-32	高环 3 3	口径(19.0) 残高 8.7 裾径 - 形-2軸	胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (R) 2.5YR5/6 明赤褐 (R) 2.5YR5/6 明赤褐	坏部は接合部より直線的に開き、先端で緩く内側に折れる	(R) ヘラミガキ (タテ) (R) ヘラミガキ (ヨコ)
SB-32	高环 3 4	口径(22.2) 残高 7.9 裾径 - 坏部1/2	胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (R) 10R3/6 暗赤 (R) 10R3/6 暗赤	坏部は接合部より内湾ぎみに開き、先端でさらに内湾する	(R) ヘラミガキ (ヨコ) 赤色塗彩 (R) ヘラミガキ (ヨコ) 赤色塗彩
SB-32	高环 3 5	口径(17.0) 残高 7.8 裾径 - 坏部1/4	胎; 石英、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (R) 10R5/6 赤 (R) 10R5/6 赤	坏部部を突出させて接合する 坏部は内湾する	(R) ヘラミガキ (ヨコ) 赤色塗彩 (R) ヘラミガキ (ヨコ) 赤色塗彩
SB-32	高环 3 6	口径 19.8 残高 8.5 裾径 - 坏部 3/4	胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (R) 2.5YR6/6 暗赤-2.5YR3/1 暗赤 (R) 2.5YR6/6 暗赤-2.5YR3/1 暗赤	坏部は段を経て、外反して口縁部に至る 口縁部に突起を有する	(R) ヘラミガキ 赤色塗彩 (R) ヘラミガキ 赤色塗彩

第 33 表 遺物観察表 (31)

通稱 NO 図版 NO	器種 種類	法 残	量 存	器 質	成形・形態ほか	整 形 ほ か
SB-32 3 7	高坏 弥生	口径(15.8) 残高 5.8 裾径 一 口縁部一部	胎:石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 10E4/8 赤 (B) 10E4/8 赤	胎:石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 10E4/8 赤 (B) 10E4/8 赤	坏部は直線的に開き、先端で 緩く内側に折れる	(A) ヘラミガキ (ヨコ) 赤色塗彩 (B) ヘラミガキ (ナナメ) 赤色塗彩
SB-32 3 8	高坏 弥生	口径(25.0) 残高 3.8 裾径 一 口縁部一部	胎:石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 10E5/6 赤 (B) 10E5/6 赤	胎:石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 10E5/6 赤 (B) 10E5/6 赤	坏部に段を有して屈曲して外 反し、口縁部に至る 口縁部に突起を有する	(A) ヘラミガキ 赤色塗彩 (B) ヘラミガキ 赤色塗彩
SB-32 3 9	高坏 土師	口径 一 残高 3.3 裾径(24.0) 脚部一部	胎:石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 5YR6/8 赤-2.5YR4/2 緑 (B) 5YR6/8 緑	胎:石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 5YR6/8 赤-2.5YR4/2 緑 (B) 5YR6/8 緑	脚部に円形の透かしを有する	(A) ヘラミガキ 沈線文による文様を施す (B) 刷毛調整の後ヘラミガキ
SB-32 4 0	高坏 土師	口径 一 残高 4.7 裾径(7.2) 脚部一部	胎:石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 5YR5/6 明赤褐 (B) 5YR5/6 明赤褐	胎:石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 5YR5/6 明赤褐 (B) 5YR5/6 明赤褐	脚部に3か所の透かしを有す る	(A) ヘラケズリ (B) ヘラケズリ
SB-32 4 1	高坏 土師	口径 一 残高 4.3 裾径 一 脚部一部	胎:石英、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 7.5YR6/4 におい橙 (B) 7.5YR6/4 におい橙	胎:石英、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 7.5YR6/4 におい橙 (B) 7.5YR6/4 におい橙	脚部に3か所の透かしを有す る	(A) ヘラミガキ (B) 脚部ヘラケズリ ナデ 坏部ヘラミガキ
SB-32 4 2	高坏 土師	口径 一 残高 3.7 裾径 一 脚部一部	胎:石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 5YR5/6 明赤褐 (B) 7.5YR5/4 におい褐	胎:石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 5YR5/6 明赤褐 (B) 7.5YR5/4 におい褐	脚部に4か所の透かしを有す る	(A) 脚部ヘラケズリの後ヘラミガ キ 赤色塗彩 (B) ヘラケズリ
SB-32 4 3	高坏 土師	口径 一 残高 3.5 裾径(18.2) 脚部一部	胎:石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 5YR6/6 赤-5YR3/3 緑 (B) 5YR6/6 赤-5YR3/3 緑	胎:石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 5YR6/6 赤-5YR3/3 緑 (B) 5YR6/6 赤-5YR3/3 緑	脚部に円形の透かしを有する	(A) ヘラミガキ (B) 刷毛調整
SB-32 4 4	舞台 土師	口径(10.6) 残高 2.3 裾径 一 坏部 1/4	胎:石英、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 5YR6/4 におい橙 (B) 5YR6/4 におい橙	胎:石英、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 5YR6/4 におい橙 (B) 5YR6/4 におい橙	口唇部に面取りを施す	(A) ナデ (ヨコ) (B) ヘラミガキ
SB-32 4 5	鉢 弥生	口径(16.3) 残高 13.0 底径(5.3) 口縁部 1/4	胎:石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 10E4/6 赤 (B) 5YR6/6 橙	胎:石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 10E4/6 赤 (B) 5YR6/6 橙	平底より立ち上がり、直線的 に開いてそのまま口縁部に至 る	(A) ヘラミガキ (タテ) 赤色塗彩 (B) ヘラミガキ (ヨコ) 赤色塗彩
SB-32 4 6	鉢 弥生	口径(20.8) 残高 8.6 底径 一 口縁部一部	胎:石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 10YR4/1 褐灰 (B) 7.5YR6/4 におい橙-7.5YR5/2 緑	胎:石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 10YR4/1 褐灰 (B) 7.5YR6/4 におい橙-7.5YR5/2 緑	坏部は直線的に開き、口縁部 の先端で緩く内屈する	(A) 刷毛調整の後ヘラミガキ (B) ヘラミガキ (ナナメ)
SB-32 4 7	鉢 弥生	口径(13.4) 残高 5.4 底径 一 口縁部一部	胎:石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 10E3/3 暗赤褐 (B) 10E3/3 暗赤褐	胎:石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 10E3/3 暗赤褐 (B) 10E3/3 暗赤褐	内湾する	(A) 精緻なヘラミガキ (ヨコ) 赤色塗彩 (B) 精緻なヘラミガキ (ヨコ) 赤色塗彩
SB-32 4 8	片口 鉢 弥生	口径(19.7) 残高 4.6 底径 一 口縁部一部	胎:雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 5YR6/6 橙 (B) 5YR6/6 橙	胎:雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 5YR6/6 橙 (B) 5YR6/6 橙	口縁部に片口を有する	(A) ヘラミガキ (ヨコ) (B) ヘラミガキ (ヨコ)
SB-32 4 9	鉢 弥生	口径(15.4) 残高 5.4 底径 一 口縁部一部	胎:石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 10E3/4 暗赤 (B) 10E4/6 赤	胎:石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 10E3/4 暗赤 (B) 10E4/6 赤	内湾する	(A) ヘラミガキ (タテ) 赤色塗彩 (B) ヘラミガキ (ヨコ) 赤色塗彩
SB-32 5 0	深鉢 弥生	口径(16.8) 残高 2.8 底径 一 口縁部一部	胎:石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 10E3/6 暗赤褐 (B) 10E3/6 暗赤褐	胎:石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 10E3/6 暗赤褐 (B) 10E3/6 暗赤褐	脚部より緩やかに外反する	(A) ヘラミガキ (ヨコ) 赤色塗彩 (B) ヘラミガキ (ヨコ) 赤色塗彩
SB-32 5 1	鉢 土師	口径(9.8) 残高 5.5 底径 一 口縁部一部	胎:石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 2.5YR5/6 明赤褐 (B) 2.5YR5/8 明赤褐	胎:石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 2.5YR5/6 明赤褐 (B) 2.5YR5/8 明赤褐	丸い体部より屈折して段を越 て、開いて口縁部に至る	(A) ヘラケズリ ナデ (B) ヘラケズリ ナデ

第 34 表 遺物観察表(32)

遺構 NO 図版 NO	器種 種類	法 式	量 寸	器 質	成形・形態ほか	整 形 ほ か
SB-32	片口 鉢	口径 - 残高 2.3 底径 - 口径部一部	胎; 石英、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (8) 5YR5/6 明赤褐 (9) 5YR3/2 暗赤褐	質	口径部に片口を有する	() ヘラミガキ (9) ヘラミガキ
SB-33	壺	口径(16.3) 残高 4.1 底径 - 口径部一部	胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (8) 10R4/4 赤褐 (9) 10R4/4 赤褐	質	外反する	(8) 頸部に縞状文を施す 赤色塗彩 (9) ヘラミガキ 赤色塗彩
SB-33	壺	口径 - 残高 2.4 底径 5.6 底部	胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (8) 10R3/3 暗赤褐 (9) 5YR3/3 暗赤褐	質	平底	(8) ヘラケズリの後ヘラミガキ 赤色塗彩 (9) ヘラミガキ
SB-33	甕	口径(14.8) 残高 11.3 底径 - 口径部一部	胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (8) 5YR3/2 暗赤褐 (9) 2.5YR4/6 赤褐	質	口径部は緩やかに外反する 口径部と胴部最大径はほぼ同じ	(8) 波状文を施す (9) ヘラミガキ(ヨコ)
SB-33	甕	口径(19.3) 残高 12.5 底径 - 口径部一部	胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (8) 10YR5/2 灰黄褐 (9) 10YR5/2 灰黄褐	質	張りのある胴部より外反して 口径部に至る	(8) 波状文を上から下へ施す 赤色塗彩 (9) ヘラミガキ(ヨコ)
SB-33	高坏	口径(25.2) 残高 4.5 裾径 - 口径部一部	胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (8) 10R3/6 暗赤 (9) 10R3/6 暗赤	質	口径部の先端で折れて、更に 開く	(8) ヘラミガキ(ヨコ) 赤色塗彩 (9) ヘラミガキ(ヨコ) 赤色塗彩
SB-33	高坏	口径(24.0) 残高 4.1 裾径 - 口径部一部	胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (8) 10R4/6 赤 (9) 10R4/6 赤	質	口径部の先端で折れて、更に 開く 口径部に突起を有する	(8) ヘラミガキ(ヨコ) 赤色塗彩 (9) ヘラミガキ(ヨコ) 赤色塗彩
SB-33	高坏	口径(14.4) 残高 3.4 裾径 - 口径部一部	胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (8) 10R4/6 赤 (9) 10R3/4 暗赤	質	体部は内弯きみ 口径部の先端で更に内弯する	(8) ヘラミガキ(ヨコ) 赤色塗彩 (9) ヘラミガキ(ヨコ) 赤色塗彩
SB-33	鉢	口径 - 残高 2.9 底径(5.4) 口径部一部	胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (8) 10R3/4 暗赤 (9) 10R4/4 赤褐	質	平底	(8) ヘラミガキ(ヨコ) 底部まで赤色塗彩 (9) ヘラミガキ(ヨコ) 赤色塗彩
SB-33	鉢	口径 - 残高 3.6 底径 2.7 体部~底部	胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (8) 7.5YR6/4 橙 (9) 7.5YR3/1 黒褐	質	小さい底部より立上がり、大 きく開いて体部に移行する	(8) ヘラケズリ (9) ヘラケズリ
SB-33	ミニ チュ ア	口径 7.0 器高 4.2 底径 4.0 完形	胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (8) 5YR4/6 赤褐 (9) 7.5YR5/4 に近い	質	平底 手控ね	(8) ナデ (9) ナデ
SB-34	壺	口径 - 残高 2.3 底径 7.8 底部	胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (8) 5YR5/6 明赤褐 (9) 2.5YR5/6 明赤褐	質	平底	(8) ヘラミガキ(タテ) 赤色塗彩 (9) ヘラミガキ(タテ)
SB-34	壺	口径(10.8) 器高 14.5 底径 4.6 口径部一部	胎; 石英、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (8) 2.5YR5/8 明赤褐 (9) 5YR6/4 に近い	質	平底より立ち上がり、強く強 った留平の胴部より折れて、 直線的に開口部に至る	(8) ヘラケズリの後ヘラミガキ (9) ヘラケズリの後ヘラミガキ
SB-34	甕	口径(22.2) 残高 2.5 底径 - 口径部一部	胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (8) 7.5YR5/4 に近い (9) 7.5YR3/1 黒	質	外反する	(8) 波状文を下から上へ施す 赤色塗彩 (9) ヘラミガキ(ヨコ)
SB-34	甕	口径(19.6) 残高 3.6 底径 - 口径部 1/4	胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (8) 5YR5/4 に近い (9) 5YR6/6 橙	質	段を有する	(8) 刷毛調整 (9) 刷毛調整の後ヘラミガキ

第 35 表 遺物観察表(33)

遺構NO 図版NO	種類 種類	法 残	量 存	器	質	成 形 ・ 形 態 ほ か	整 形 ほ か
SB-34 5	甕 土師	口径(16.3) 残高 2.9 底径 - 胴部一部	胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (A) 2.5YR6/6 橙 (R) 5YR6/6 橙	胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (A) 2.5YR6/6 橙 (R) 5YR6/6 橙		口縁部は強く外反する 口唇部に面取りを施す	(A) ナデ (ヨコ) (R) ナデ (ヨコ) ヘラケズリ
SB-34 6	甕 土師	口径 - 残高 15.5 底径 - 胴部1/2	胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (A) 5YR3/4 暗赤褐 (R) 5YR4/2 灰褐	胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (A) 5YR3/4 暗赤褐 (R) 5YR4/2 灰褐		球形胴	(A) 刷毛調整 (R) 刷毛調整
SB-34 7	甕 土師	口径(12.2) 残高 7.3 底径 - 胴部1/4	胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (A) 7.5YR4/3 暗赤褐 (R) 2.5YR4/6 橙-2.5YR3/1 暗赤	胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (A) 7.5YR4/3 暗赤褐 (R) 2.5YR4/6 橙-2.5YR3/1 暗赤		胴部より屈折して、直線的に 開いて口縁部に至る	(A) 刷毛調整 (R) 刷毛調整 ヘラケズリ
SB-34 8	甕 土師	口径 - 残高 6.8 底径 - 胴部一部	胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (A) 7.5YR5/4 にぶい褐 (R) 7.5YR6/4 にぶい橙	胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (A) 7.5YR5/4 にぶい褐 (R) 7.5YR6/4 にぶい橙		丸みのある胴部	(A) 刷毛調整 (R) ナデ
SB-34 9	甕 土師	口径 - 残高 4.8 底径 - 胴部一部	胎; 雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (A) 7.5YR4/2 灰褐 (R) 5YR5/4 にぶい赤褐	胎; 雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (A) 7.5YR4/2 灰褐 (R) 5YR5/4 にぶい赤褐		丸みのある胴部	(A) 刷毛調整 (R) 刷毛調整
SB-34 10	高坏 土師	口径 - 残高 5.6 裾径 - 鉢部	胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (A) 5YR5/6 明赤褐 (R) 7.5YR6/4 にぶい橙	胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (A) 5YR5/6 明赤褐 (R) 7.5YR6/4 にぶい橙		胴部に3か所の透かしを有す る	(A) 胴部ヘラミガキ 杯部ヘラミガキ (R) 胴部ヘラケズリ 杯部ヘラミガキ
SB-35 SB-36 1	壺 弥生	口径 28.0 残高 16.5 底径 - 胴部3/4-胴部	胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (A) 10R4/6 赤 (R) 10R4/6 赤	胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (A) 10R4/6 赤 (R) 10R4/6 赤		口縁部はアサガオの花状に開 き先端で更にめくれるように 深く *床着	(A) 胴部に櫛櫛羽状文を施す タン状貼付文を施す 純縁 (R) 刷毛調整 ヘラミガキ 赤色塗彩
SB-35 SB-36 2	壺 弥生	口径 - 残高 11.5 底径 (8.4) 胴部1/2-胴部	胎; 粗砂粒含む 焼; 良好 色; (A) 7.5YR7/3 にぶい橙 (R) 7.5YR7/3 にぶい橙	胎; 粗砂粒含む 焼; 良好 色; (A) 7.5YR7/3 にぶい橙 (R) 7.5YR7/3 にぶい橙		平底 胴部低位はくびれる	(A) 刷毛調整 (R) ナデ
SB-35 SB-36 3	甕 弥生	口径 - 残高 6.3 底径 - 胴部一部	胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (A) 7.5YR3/4 暗褐 (R) 7.5YR5/6 明褐	胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (A) 7.5YR3/4 暗褐 (R) 7.5YR5/6 明褐		緩やかに外反する 胴部上位に最大径を持つ	(A) 櫛状文と波状文を施す (R) ヘラミガキ (ヨコ)
SB-37 1	甕 土師	口径(19.6) 残高 15.5 底径 - 胴部1/3	胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (A) 5YR6/6 橙 (R) 5YR6/6 橙	胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (A) 5YR6/6 橙 (R) 5YR6/6 橙		強く張った胴部より折れて、 口縁部に至る 口縁部は段を有する	(A) 刷毛調整 (R) 刷毛調整
SB-37 2	甕 土師	口径(23.6) 残高 5.8 底径 - 胴部一部	胎; 粗砂粒、礫含む 焼; 良好 色; (A) 5YR5/4 にぶい赤褐 (R) 5YR6/6 橙	胎; 粗砂粒、礫含む 焼; 良好 色; (A) 5YR5/4 にぶい赤褐 (R) 5YR6/6 橙		口縁部は張りのある胴部より 折れて外反する	(A) 刷毛調整の後ナデ (ヨコ) (R) ナデ (ヨコ)
SB-37 3	甕 土師	口径 - 残高 9.0 底径 (8.2) 胴部1/2-胴部	胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (A) 2.5YR5/4 にぶい赤褐 (R) 5YR6/6 橙-5YR3/3 暗赤	胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (A) 2.5YR5/4 にぶい赤褐 (R) 5YR6/6 橙-5YR3/3 暗赤		平底より立ち上がり、胴部下 位は少し丸みを持つ	(A) ヘラミガキ (タテ) (R) ヘラミガキ (タテ)
SB-37 4	甕 土師	口径 - 残高 5.0 底径 - 胴部一部	胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (A) 5YR4/3 にぶい赤褐 (R) 5YR4/3 にぶい赤褐	胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (A) 5YR4/3 にぶい赤褐 (R) 5YR4/3 にぶい赤褐			(A) 刷毛調整 (R) ナデ
SB-37 5	台付 甕 土師	口径(12.3) 残高 9.1 裾径 - 胴部1/2-胴部	胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (A) 7.5YR7/4 にぶい橙 (R) 7.5YR7/4 にぶい橙	胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (A) 7.5YR7/4 にぶい橙 (R) 7.5YR7/4 にぶい橙		口縁部はS字状を呈する	(A) 刷毛調整 (R) ナデ
SB-37 6	台付 甕 土師	口径 - 残高 2.4 裾径 6.2 台部 3/4	胎; 雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (A) 5YR6/6 橙 (R) 5YR6/6 橙	胎; 雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (A) 5YR6/6 橙 (R) 5YR6/6 橙		台部	(A) ナデ (R) ナデ

第 36 表 遺物観察表 (34)

遺構 NO 図版 NO	器種 種類	法 残	量 存	器	質	成形・形態ほか	整 形 ほか
SB-37	高坏	口径 — 残高 5.3 裾径 —	7	胎:石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 10R4/6 赤 (B) 10R4/6 赤-5YR5/6 橙	灰	坏部を突出させて接合する	(A) ヘラミガキ 赤色塗彩 (B) 坏部ヘラミガキ、赤色塗彩 脚部ヘラケズリ
SB-37	高坏	口径 19.2 残高 12.3 裾径 —	8	胎:石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 10R4/6 赤 (B) 10R4/6 赤-5YR6/4 に近い橙	灰	坏部は接合部より直線的に開き、口縁部に至る	(A) ヘラミガキ (ナナメ) 赤色塗彩 (B) ヘラミガキ (タテ) 赤色塗彩
SB-37	高坏	口径 — 残高 6.7 裾径 11.4 脚部 3/4	9	胎:石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 7.5YR7/4 に近い橙 (B) 7.5YR7/4 に近い橙	土師	脚部に円形の透かしを有する	(A) ヘラミガキ (タテ) (B) ヘラケズリ
SB-37	器台	口径 — 残高 2.7 裾径 —	10	胎:粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 10R5/6 赤 (B) 2.5YR5/4 に近い赤褐	土師	脚部に3か所の透かしを有する	(A) ヘラミガキ 赤色塗彩 (B) ヘラケズリ
SB-37	甌	口径 — 残高 2.7 底径 5.7 底部	11	胎:石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 5YR5/6 明赤褐 (B) 2.5YR5/6 明赤褐	土師	底部に1孔を穿つ	(A) ヘラミガキ (B) ヘラミガキ
SB-38	甕	口径(18.3) 残高 6.8 底径 — 口縁部一部	1	胎:石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 7.5YR5/4 に近い褐 (B) 5YR4/2 灰褐	赤生	口縁部は細く外反する	(A) 波状文を施した後頸部に扇状文を施す (B) ヘラミガキ (ヨコ)
SB-38	甕	口径 — 残高 9.0 底径 — 胴部一部	2	胎:石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 10YR3/2 黒褐 (B) 10YR4/2 灰黄褐	赤生		(A) 刷毛調整 (B) 刷毛調整
SB-38	高坏	口径 — 残高 17.0 裾径(16.2) 胎部-脚部	3	胎:石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 10R3/6 暗赤 (B) 10R3/6 暗赤	赤生	脚部は接合部より直線的に開き、裾部先端で大きく開く	(A) ヘラミガキ (タテ) 赤色塗彩 (B) ヘラミガキ (タテ) 脚部は刷毛調整 坏部赤色塗彩
SB-38	鉢	口径 — 残高 3.3 底径 4.9 縁部一部	4	胎:石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 10R4/6 赤 (B) 10R4/6 赤	赤生	平底	(A) ヘラミガキ (ヨコ) 底部まで赤色塗彩 (B) 刷毛調整の後ヘラミガキ (ヨコ) 赤色塗彩
SB-38	甌	口径 — 残高 2.8 底径 6.0 底部	5	胎:石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 5YR4/6 赤褐 (B) 5YR4/8 赤褐	赤生	平底に1孔を穿つ	(A) ヘラケズリの後ヘラミガキ (B) ヘラケズリの後ヘラミガキ
SB-38	蓋	抓み径 6.7 残高 3.8 裾径 — 抓み部一部	6	胎:石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 5YR4/6 赤褐 (B) 7.5YR4/3 褐	赤生	天井部に1孔を穿つ	(A) ヘラケズリ (B) ヘラケズリ
SB-40	壺	口径 30.5 残高 14.8 底径 — 口縁部1/2-脚部	1	胎:石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 10R4/6 赤 (B) 10R4/6 赤	赤生	口縁部は大きく外反する	(A) 頸部に丁字文を施す 赤色塗彩 (B) ヘラミガキ (ヨコ) 口縁部のみ赤色塗彩
SB-40	壺	口径(22.6) 残高 10.3 底径 — 口縁部一部	2	胎:石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 7.5YR5/6 明褐 (B) 7.5YR6/6 橙	赤生	大きく外反する	(A) 頸部に扇状文を施す ヘラミガキ (タテ) 赤色塗彩 (B) 刷毛調整 赤色塗彩
SB-40	壺	口径(13.8) 残高 5.2 底径 — 口縁部一部	3	胎:石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 5YR6/6 橙 (B) 5YR6/6 橙	土師	外反する	(A) ヘラミガキ (タテ) (B) ヘラミガキ (ヨコ)
SB-40	壺	口径 — 残高 11.6 底径 10.2 底部~胴部	4	胎:石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 5YR5/6 明赤褐 (B) 7.5YR6/4 に近い橙	赤生	平底 胴部低位は直線的に開く *土器数取	(A) 精緻なヘラミガキ (タテ) (B) 剥落 ヘラミガキ

第 37 表 遺物観察表 (35)

遺構 NO 図版 NO	器種 種類	法 残	量 存	器	質	成形・形態ほか	整 形	ほ か
SB-40 5	壺 弥生	口径— 残高 5.3 底径 (9.5) 底部 1/4	胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (A) 5YR5/6 明赤褐 (R) 5YR6/6 橙				(A) 刷毛調整の後ヘラミガキ (R) 刷毛調整の後ヘラミガキ	
SB-40 6	台付 壺 弥生	口径(14.8) 残高 14.0 裾径— 脚部-脚部-B	胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (A) 7.5YR5/3 灰黄褐-10YR4/1 藍 (R) 10YR5/2 灰黄褐			口縁部は緩やかに外反する	(A) 波状文を施す (R) ヘラミガキ (ヨコ)	
SB-40 7	壺 弥生	口径(17.0) 残高 5.0 底径— 口縁部一部	胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (A) 5YR6/6 橙 (R) 5YR6/6 橙			口縁部は外反する	(A) 波状文を上から下へ施す (R) ヘラミガキ (ヨコ)	
SB-40 8	壺 土師	口径— 残高 3.0 底径— 口縁部一部	胎; 石英、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (A) 5YR6/6 橙 (R) 5YR6/6 橙			口唇部に面取りを施す	(A) ナデ (ヨコ) (R) ナデ (ヨコ)	
SB-40 9	高坏 弥生	口径— 残高 5.5 裾径— 接合部	胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (A) 7.5R4/6 赤 (R) 7.5R4/6 赤-2.5YR5/6 緑			坏部は底部を突出させて接合する	(A) ヘラミガキ 赤色塗彩 (R) 坏部ヘラミガキ 赤色塗彩	
SB-40 10	高坏 弥生	口径— 残高 6.9 裾径 12.7 脚部-脚部 1/2	胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (A) 10R4/6 赤 (R) 5YR6/6 橙				(A) ヘラミガキ (タテ) 赤色塗彩 (R) ナデ ヘラケズリ	
SB-40 11	高坏 土師	口径— 残高 4.7 裾径— 接合部	胎; 雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (A) 2.5YR5/6 明赤褐 (R) 2.5YR4/2 緑-2.5YR5/6 緑				(A) ヘラミガキ 脚部ナデ	
SB-40 12	台付 深鉢 弥生	口径— 残高 7.0 裾径 6.7 脚部-脚部	胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (A) 2.5YR5/8 明赤褐 (R) 2.5YR4/3 におい赤褐			脚部は接合部より直線的に開く	(A) ヘラケズリの後ヘラミガキ 赤色塗彩 (R) ヘラミガキ (タテ) 脚部ヘラケズリ	
SK-01 1	壺 弥生	口径(28.6) 残高 8.0 底径— 口縁部一部	胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (A) 2.5YR4/6 赤褐 (R) 2.5YR4/6 赤褐			口縁部は大きく外反する	(A) ヘラミガキ (タテ) 赤色塗彩 (R) ヘラミガキ (ヨコ) 赤色塗彩	
SK-01 2	壺 弥生	口径— 残高 10.5 底径— 頸部一部	胎; 石英、雲母、粗砂粒、礫含む 焼; 良好 色; (A) 10R4/8 赤 (R) 2.5YR5/6 明赤褐				(A) 頸部に T 字文を施す ヘラミガキ (ナナメ) 赤色塗彩 (R) 剥落	
SK-01 3	壺 弥生	口径— 残高 6.5 底径— 頸部一部	胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (A) 5YR4/6 赤褐 (R) 5YR4/8 赤褐			頸部に罫を有する	(A) ヘラケズリ (R) ナデ	
SK-01 4	壺 弥生	口径— 残高 7.5 底径 (8.0) 脚部-脚部-B	胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (A) 5YR4/4 におい赤褐 (R) 5YR4/6 赤褐			平底より立ち上がり、脚部下位から直線的に開く	(A) ヘラミガキ (タテ) (R) 刷毛調整	
SK-01 5	壺 弥生	口径(17.8) 残高 9.3 底径— 脚部-脚部 1/3	胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (A) 10YR3/2 黒褐 (R) 7.5YR5/4 におい褐			口縁部は小さく折り返す	(A) 波状文、頸部に T 字文を施す (R) ヘラミガキ (ヨコ)	
SK-01 6	壺 弥生	口径(21.0) 残高 13.3 底径— 口縁部 1/4	胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (A) 5YR6/6 橙 (R) 5YR5/6 明赤褐			口縁部を外側へ折り返す	(A) 波状文を施す (R) ヘラミガキ (ヨコ)	
SK-01 7	壺 弥生	口径 18.6 残高 21.0 底径— 脚部-脚部 1/	胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (A) 7.5YR5/3 におい褐 (R) 7.5YR5/4 におい褐			脚部から緩やかに外反して口縁部に至る 口径と頸部最大径は同じ	(A) 波状文を上から下へ施す (R) 精緻なヘラミガキ (ヨコ)	

第 38 表 遺物観察表 (36)

遺構NO 図版NO	器種 種類	法 残	量 存	器 質	成 形 ・ 形 態 ほ か	整 形 ほ か
SK-01 8	鉢 弥生	口径 15.6 残高 7.8 底径 7.2 H1/2-H2		胎:石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 10R4/6 赤 (B) 10R4/8 赤	平底より立ち上がり直線的に 開き、口縁部先端で僅かに内 弯する	(A) ヘラミガキ (タテ) 底部まで赤色塗彩 (B) ヘラミガキ (ヨコ) 赤色塗彩
SK-01 9	蓋 弥生	抓み径 4.2 残高 6.3 裾径 (16.6) H1-H2 1/3		胎:石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 5YR4/6 赤褐 (B) 5YR4/8 赤褐	天井部に1孔を穿つ	(A) ヘラケズリの後ヘラミガキ (B) 粗いヘラミガキ
SK-01 10	蓋 弥生	抓み径 6.8 残高 6.2 裾径 1 H1-H2 1/3		胎:石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 2.5YR3/6 暗赤褐 (B) 5YR4/6 赤褐	天井部に1孔を穿つ	(A) ヘラミガキ (タテ) 赤色塗彩 (B) ナデ ヘラケズリ
SK-01 11	蓋 弥生	抓み径 4.4 残高 2.5 裾径 1 抓み部		胎:石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 7.5YR4/1 褐灰 (B) 5YR5/6 明赤褐	天井部に1孔を穿つ	(A) ヘラケズリ (B) ヘラケズリ
SK-01 12	蓋 弥生	抓み径 4.4 残高 1.1 裾径 1 抓み部		胎:石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 5YR5/6 明赤褐 (B) 5YR5/6 明赤褐	天井部に1孔を穿つ	(A) 刷毛調整 (B) 刷毛調整
SK-02 1	壺 弥生	口径 1 残高 8.6 底径 7.6 H1-H2 1/2		胎:石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 2.5YR4/6 赤褐 (B) 5YR6/6 橙	平底より立ち上がり、胴部下 位から直線的に開く	(A) ヘラミガキ (タテ) 赤色塗彩 (B) 刷毛調整
P-01 1	壺 弥生	口径 1 残高 7.8 底径 7.4 H1-H2 1/2		胎:雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 5YR5/6 明赤褐 (B) 5YR4/1 灰 (C) N3/ 暗灰	平底より立ち上がり、胴部下 位から直線的に開く	(A) ヘラミガキ ヘラケズリ 赤色塗彩 (B) ヘラミガキ 赤色塗彩
H1-F4 1	甕 弥生	口径 15.0 残高 10.1 底径 10.2 H1-H2 1/2		胎:石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 7.5YR5/4 におい褐 (B) 7.5YR5/4 明褐	張りぎみの胴部より屈曲して 外反して口縁部に至る	(A) 簾状文を施した後、波状文を 施す (B) ヘラミガキ
H1-F4 2	甕 弥生	口径 1 残高 7.1 底径 5.8 H1-H2 1/2		胎:石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 5YR6/4 におい橙-N3/ 暗灰 (B) 2.5YR6/4 におい橙	平底より立ち上がり、丸みを 持った胴部に移行する	(A) ヘラケズリ (B) ヘラミガキ
H1-F7 1	甕 弥生	口径(21.4) 残高 12.2 底径 1 H1-H2 1/2		胎:石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 5YR5/6 明赤褐 (B) 5YR6/6 橙~5YR4/2 灰褐		(A) 波状文、2連止めの簾状文を 施す (B) 刷毛調整
H1-F7 2	ミニ チュ ア 土師	口径(6.4) 残高 5.5 底径 1 H1-H2 1/3		胎:石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 5YR6/6 橙~5YR6/4 におい 橙 (B) 5YR6/6 橙	丸みのある胴部より屈折して 外傾して口縁部に至る	(A) ヘラケズリ ナデ 口縁部赤色塗彩 (B) ヘラケズリ ナデ 口縁部赤色塗彩
H1-F8 1	壺 土師	口径 1 残高 6.7 底径 1 胴部一部		胎:石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 5YR6/4 におい赤褐 (B) 5YR6/4 におい赤褐	突起を有する	(A) 刷毛調整 (B) ヘラミガキ
H1-F8 2	甕 弥生	口径(22.1) 残高 14.6 底径 1 H1-H2 1/2		胎:石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 7.5YR5/4 におい褐~7.5YR4/3 褐 (B) 7.5YR7/4 におい橙	口縁部は外反する	(A) 頸部に簾状文、胴部に波状文 を施す (B) ヘラケズリの後ヘラミガキ (ヨコ)
H1-F8 3	甕 弥生	口径(20.9) 残高 11.4 底径 1 口縁部一部		胎:石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 5YR5/6 明赤褐~10YR7/2 におい 橙 (B) 5YR5/6 明赤褐~5YR3/1 灰	口縁部は長く緩やかに外反す る	(A) 口縁部に波状文を施した後、 頸部に簾状文を施す (B) ヘラミガキ (ヨコ)
遺構外 1	鉢 土師	口径 11.0 残高 6.0 底径 1 H1/2-H2		胎:石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 7.5YR6/4 におい橙 (B) 7.5YR6/4 におい橙	扁平の体部より屈折して口縁 部に至る	(A) ヘラケズリ (B) 刷毛調整の後ヘラミガキ

第 39 表 遺物観察表 (37)

遺構NO 図版NO	器種 種類	法 残	量 存	器	質	成 形 ・ 形 態 ほ か	整 形 ほ か
遺構外 2	甕	口径(8.5) 残高 6.3 底径 — 口縁部—	胎;石英、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 5YR6/6 赤~5YR4/1 赭 (B) 5YR6/4 におい橙			丸みのある胴部より折れて、 外傾して口縁部に至る	(A) ヘラケズリ (B) ヘラケズリ
遺構外 3	甕	抓み径 4.7 残高 3.2 底径 — 抓み部 2/3	胎;石英、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 10YR6/3 におい黄橙 (B) 10YR6/3 におい赭~10YR3/2 赭			天井部に1孔を穿つ	(A) ヘラミガキ (B) ヘラケズリ
遺構外 4	甕	口径(13.5) 残高 6.0 底径 — 口縁部—	胎;雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 2.5YR6/6 橙 (B) 5YR6/6 橙			口縁部は緩やかに外反する	(A) 波状文と簾状文を施す (B) ヘラミガキ(ヨコ)
遺構外 5	甕	口径(20.0) 残高 2.6 底径 — 口縁部一部	胎;粗砂粒、硬含む 焼;良好 色;(A) 7.5YR6/3 におい褐 (B) 7.5YR6/3 におい褐			口唇部に面取りを施す	(A) ナデ(ヨコ) (B) ナデ(ヨコ)
遺構外 6	甕	口径 — 残高 7.1 底径 — 胴部一部	胎;石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 5YR4/3 におい赤褐 (B) 5YR3/2 暗赤褐			丸みのある胴部	(A) 刷毛調整 (B) ナデ
遺構外 7	壺	口径(20.2) 残高 1.9 底径 — 口縁部一部	胎;雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 7.5YR6/4 におい黄~7.5YR5/2 赭 (B) 7.5YR6/4 におい橙			口縁部の先端を掴み上げて 作る	(A) ナデ(ヨコ) (B) ナデ(ヨコ)
遺構外 8	器台	口径(11.2) 残高 2.5 裾径 — 口縁部一部	胎;石英、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 5YR7/4 におい橙 (B) 5YR7/4 におい橙			口唇部に面取りを施す 口縁部の先端を掴み上げて作 る	(A) ヘラミガキ (B) ヘラミガキ
遺構外 9	壺	口径 — 残高 6.5 底径 — 口縁部一部	胎;石英、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 2.5YR5/6 明赤褐 (B) 2.5YR5/6 明赤褐			段を有する	(A) 刷毛調整の後ヘラミガキ (ヨコ) 赤色塗彩 (B) 刷毛調整の後ヘラミガキ (ヨコ) 赤色塗彩
遺構外 10	台付 甕	口径(14.0) 残高 5.2 底径 — 口縁部一部	胎;石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 2.5YR4/6 赤褐 (B) 2.5YR4/6 赤褐			S字状口縁	(A) 刷毛調整 (B) ヘラミガキ
遺構外 11	甕	口径 11.2 器高 7.8 底径 5.4 口縁2/3~縁	胎;石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 7.5YR6/4 におい橙 (B) 7.5YR6/6 におい橙			底部に1孔を穿つ 胴部は直線的に開き、口縁部 の先端で僅かに内側に折れる	(A) 刷毛調整の後ヘラミガキ (B) 刷毛調整の後ヘラミガキ
遺構外 12	甕	口径 14.8 残高 11.7 底径 — 口縁部—	胎;石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 7.5YR4/6 褐 (B) 7.5YR5/4 におい褐			口縁部は緩やかに外反する 胴部最大径は口径より大きい	(A) 波状文を上から下へ施す (B) ヘラミガキ(ヨコ)
遺構外 13	甕	口径(10.8) 残高 9.0 底径 — 口縁部—	胎;石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 7.5YR5/6 明褐 (B) 7.5YR6/6 橙			胴部最大径は口径より大きい	(A) 波状文、簾状文を施す (B) ヘラミガキ
遺構外 14	壺	口径 — 残高 8.7 底径 6.8 口縁部—	胎;石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 10R5/6 赤 (B) 10R5/6 赤			平底より立ち上がり、胴部下 位で直線的に開く	(A) ヘラミガキ(ヨコ) 赤色塗彩 (B) ヘラミガキ(ヨコ) 赤色塗彩
遺構外 15	壺	口径 — 残高 1.0 底径 — 口縁部一部	胎;石英、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 5YR5/6 明赤褐 (B) 5YR5/6 明赤褐			口唇部に面取りを施す	(A) 波状文を施す 口唇部にボタン状貼付文を施 す (B)
遺構外 16	高坏	口径(14.0) 残高 14.1 裾径 — 口縁1/4~縁	胎;石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 10R4/8 赤 (B) 10R4/8 赤~5YR5/6 明赤褐			坏部は直線的に開き、傾きは 小さい	(A) 刷毛調整の後ヘラミガキ (ヨコ) 赤色塗彩 (B) ヘラミガキ(ヨコ) 坏部赤色塗彩

第 40 表 遺物観察表(38)

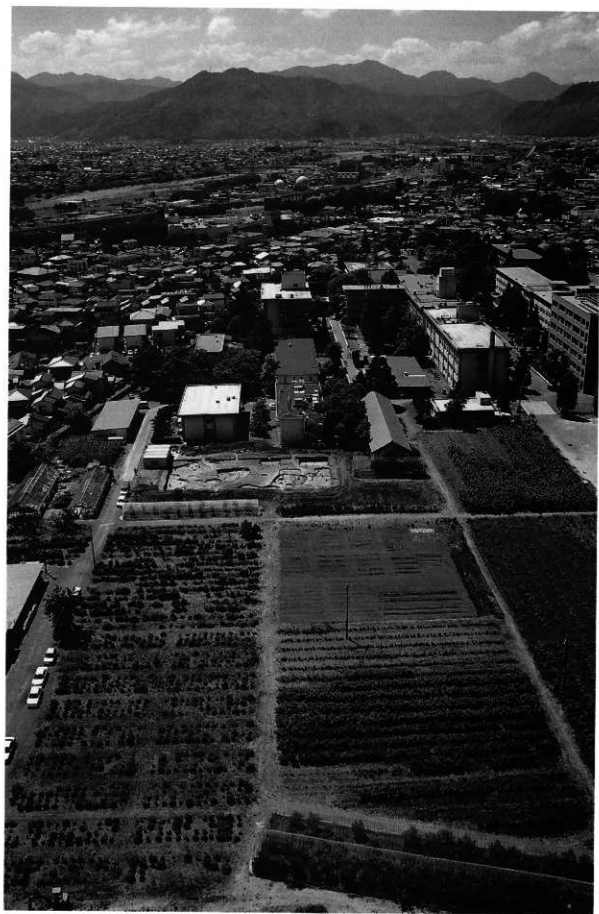
遺構 NO 図版 NO	器種 種類	法 残	量 存	器	質	成形・形態ほか	整 形 ほ か
遺構外 17	高坏 土師	口径 残高 唇径 胎身-器	— 9.4 12.4	胎; 雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (A) 5YR6/6 橙 (R) 5YR6/6 橙		脚部に透かしを3孔有する	(A) ヘラミガキ(タテ) (R) 脚部刷毛調整
遺構外 18	鉢 土師	口径 器高 底径 胎身-器1/2	11.2 5.7 2.4	胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (A) 2.5YR5/6 明赤褐 (R) 2.5YR5/6 明赤褐		底部は上げ底状を呈す 丸みのある体部より緩い線を 経て、小さく外反する山線部 に至る	(A) ヘラミガキ(タテ) (R) ヘラミガキ(ヨコ)
遺構外 19	玩具 土師	残高	2.7	胎; 細砂粒含む 焼; 良好 色; (A) 5YR6/6 橙 (R) 5YR6/6 橙		型出し 鬼の面が表現されていると認 まれる	(A) (R)

第 41 表 遺物観察表 (39)

写真番号	遺構番号	器種	長さ cm	幅 cm	厚さ cm	重さ g	材 質	備 考
1	SB-23	石鏡	2.5	1.3	0.7	2.1	黒曜石	
2	SB-23	石鏡	(1.7)	1.3	0.4	0.9	黒曜石	
3	SB-16	石包丁	(7.0)	4.0	0.4	20.5	頁岩	
4	SB-32	石戈	(4.7)	3.2	0.5	13.4	頁岩	
5	SB-40	打製石斧	12.2	5.2	1.8	114.9	頁岩	
6	SB-26	打製石斧	(5.0)	3.7	1.1	29.3	砂質泥岩	
7	SB-30	砥石	16.3	5.8	5.6	662.0	砂岩	
8	遺構外	砥石	10.2	3.8	1.5	103.4	シルト岩	S52E59
9	遺構外	磨石	9.5	8.7	2.8	403.0	石英ひん岩	S61E52
10	遺構外	破片	6.0	4.4	1.3	36.6	石英	
11	SB-22	破片	3.5	3.0	2.0	35.0	石英	
12	遺構外	破片	4.3	1.3	1.0	6.5	石英	S52E57
13	トレンチ3	磨石	18.5	6.8	5.5	1056.0	安山岩	
14	SB-31	砥石	14.7	4.5	3.0	421.0	石英ひん岩	
15	SB-25	蓋	6.5	4.5	2.0	77.8	安山岩	
16	遺構外	磨石	5.2	4.3	2.5	81.7	安山岩	S59E55
17	トレンチ3	くぼみ石	9.8	8.1	4.0	396.0	安山岩	
18	SB-33	不明	(9.6)	(7.7)	5.2	470.0	頁岩	
19	SB-25	磨石	9.5	6.0	3.2	240.0	ひん岩	
20	SB-23	磨石	(11.3)	8.0	3.2	352.0	石英斑岩	
21	SB-24	磨石	7.8	7.0	5.0	324.0	安山岩	
22	SB-23	砥石	9.3	2.7	2.7	133.0	安山岩	
23	SB-22	磨石	(11.0)	7.5	3.6	439.0	安山岩	
24	SB-17	磨石	11.0	6.8	4.4	520.0	安山岩	
25	SB-17	磨石	6.6	4.7	2.7	119.6	安山岩	

第 42 表 遺物観察表 (石器等)

写 真 图 版



下町田道跡周辺航空写真（上が西）